

日本史探求(予習・復習用)

[原 始] 旧石器・縄文・弥生時代(予習・復習用)	102
[古 代] 古墳時代(予習・復習用)	105
飛鳥時代(予習・復習用)	108
奈良時代(予習・復習用)	112
平安時代(予習・復習用)	114
[中 世] 鎌倉時代(予習・復習用)	122
室町時代(予習・復習用)	126
[近 世] 安土・桃山時代(予習・復習用)	134
江戸時代(予習・復習用)	138
[近 代] 明治時代(予習・復習用)	158
大正時代(予習・復習用)	170
昭和時代[戦前](予習・復習用)	176
[現 代] 昭和時代[戦後](予習・復習用)	184
[導 入] 授業形式	194

※このP101から、「通年テキスト」とは別に「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」として切り離して
2冊に分冊しておくことをお奨めします(予習時の頻度の check, 復習時のアウトプットが便利になります)。

[A] 旧石器時代・縄文時代

区分	旧石器時代	縄文時代
考古学	時代()時代・時代)→	時代()時代(1万3000年前～紀元前5世紀頃の約 年間)
地質学	()→	()★年代測定法= 法→ 法・ 法
気候	時代(寒冷な 期と温暖な 期が交互に繰り返される)→	温暖化(氷が溶けて海面が上昇する→日本列島の形成)
植物	針葉樹林(ex. マツ・スギ)→ [草創期の土器(文様のない無文土器などがある)] 土器(長崎県福井洞穴で出土した世界最古の土器) 土器(長崎県福井洞穴で出土した1万年前の土器) 土器(爪・ヘラなどで文様を描く縄文草創期の土器)	落葉広葉樹林(東日本のブナ・ナラ)・照葉樹林(西日本のカシ・シイ) ★ドングリ・木の実を実らす→アーク抜き・食料の煮炊き・貯蔵用に土器を制作 縄文土器(黒褐色・厚手)★縄文時代は土器の形式から6期に区分される 期→期→期→期→期→期 (土器)(土器)(土器)(火炎土器)(注口土器)(土器) 
動物	大型動物(大型動物を追って人類も日本列島に渡来)→ 北方系= ・ 南方系= ・	中小動物(大型動物が死滅) ・
道具	(石を打ち欠いた石器)→ ()・石斧(打撃用) ★(刃部のみを磨いた石斧) () (切断用) (刺突用の槍先形) (木や骨に細石刃をはめ込む) ★細石器が多く用いられた時代を特に 時代とすることもある	(石を研ぎ磨いた石器) ()の先端につける) (動物などの皮をはぐ) ・ (押しつぶす) ・ () (網のおもり) (動物の骨・角・牙を利用した ・ など) (丸木を焼きえぐった舟) ★海面が上昇する の結果、入り江が増えて漁労が盛んになり、また丸木舟を用いた外洋航海術を縄文人が持っていたことがわかる
生活	移住生活(狩猟・植物性食料の採取の生活)→ 獲物や植物性の食料がなくなると食料を求めて移住 →簡単なテント式住居や洞穴・岩陰などに一時的に居住	定住生活 → (内部に食料の を設けた掘立式の奈良時代までの一般住居) 台地上に中央の広場を囲む形で10戸程度の堅穴住居が営む を形成
遺跡	①人類の進化(人→ 人→ 人→ 人) ②化石人骨(主に石灰岩層から発見される新人段階の人骨) 人骨(県) 人骨(県)(中国南部の 人と似た特徴) 人骨(県)(約3万2000年前の日本最古の人骨) 人骨(兵庫県)(が発見→太平洋戦争で焼失) ③旧石器時代の遺跡 遺跡(県)(1946年に が発見) (更新世末期の地層)から を発見 ★かつて日本には旧石器時代は存在しないと考えられていた 遺跡(県)(湖底から の化石発見) 遺跡(県)(下層からナイフ形石器など発見)	①縄文時代の遺跡 遺跡(県)(縄文前期～中期の遺跡) 500人規模の集落で1500年定住・6本の木柱を使用した掘立柱建物が出土 遺跡(県)(縄文晩期の遺跡) 土器(精巧な文様をもつ縄文晩期の土器)・遮光器土偶などが出土 ② (墓地も兼ねた居住地周辺の廃棄物の捨て場) 貝塚()… (アメリカ人)が1877年に発見 貝塚(県)…国内最大の貝塚(ドーナツ形と馬蹄形) 貝塚(神奈川県)…日本で初めて放射性炭素 ¹⁴ C法を実施 貝塚(福井県)…丸木舟・ヒョウタンの果皮・種子が出土 栗・稗・山芋・豆類・ヒョウタンなどを栽培した可能性も考えられる 貝塚(岡山県)…170体ほどの人骨が出土し、ほとんどが屈葬



[習俗・信仰(縄文時代)]

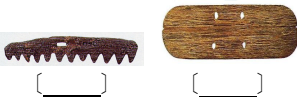
- ① (死者の手足を折り曲げる埋葬形式)
★ (貝製の)などの装身具が共同墓地から出土
- ② (大小の石を円形に配列した墓地) ex. 遺跡(県)
- ③ (成人通過儀礼としての風習)・ (呪術者の証としての風習)
- ④ () (自然物・自然現象を畏怖する)
- ⑤ (女性をかたどった土人形)
- ⑥ (男性性器をかたどった磨製石器)

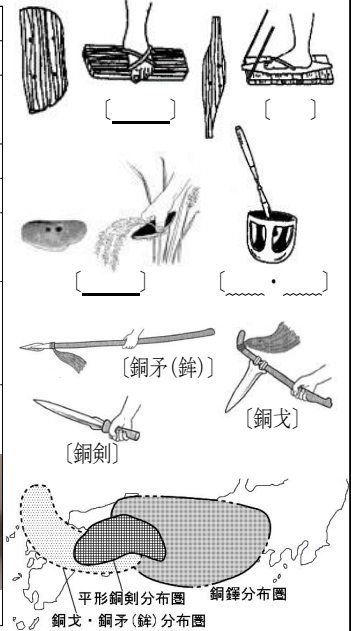
[B] 弥生時代

水
稲
耕
作
の
開
始

- ① 弥生文化 (紀元前4世紀?～紀元後3世紀に____～____まで栄えた文化)
 (1) ____年に____本郷弥生町の____から発見されたことが由来
 (2) 2003年に____により紀元前10世紀とする説が出された
- ② 非農耕文化 (農耕を行わない狩猟・採集・漁労文化)
 北海道＝____文化 (縄文土器をとまう食料採取文化)
 →____文化 (擦文土器をとまう食料採取文化)
 ★樺太・南千島沿岸部では____文化 (海洋狩猟民文化) が栄える
 沖縄＝____文化 (島嶼性を反映した食料採取文化)

- [水田遺構 (水稲耕作の技術が中国の____(____)下流域から伝来)] —
 (朝寝鼻貝塚 (岡山県) (縄文前期の____ (稲の化石) が検出)
 (____遺跡 (____県) (縄文中期の雑穀の焼畑農耕が進展＝原始農耕)
 (____遺跡 (____県) (縄文晩期の水田跡を発掘) 縄文時代晩期には
 (____遺跡 (____県) (縄文晩期の水田跡を発掘) 稲作が開始された
 (____遺跡 (____県) (弥生前期の水田跡を発掘) 約100年間で稲作が
 (____遺跡 (____県) (弥生中期の水田跡を発掘) 東北地方まで伝わる
 (____遺跡 (____県) (弥生後期の水田跡・高床倉庫跡・畦畔を発掘)

	弥生前期	弥生後期
水田	____ (排水施設をもつ生産性の低い水田) → ____ (灌漑施設をもつ生産性の高い水田)	
種 粳	____ (種粳を直接水田に播く方法) ★田植えも始まっていた ex. ____ 遺跡 (岡山県)	
農 具	木製農具 (石包丁・太型蛤刃石斧を除く)	鉄製農具
工 具	____ (木材伐採用の大陸系磨製石斧) → 鉄斧 (伐採用)・____ (加工用)	
(耕作用)	木鍬・木鋤 (田を掘り起こす) → 鉄鍬・鉄鋤 (鉄の刃先をつける) ____ (水田の土をならす)	
(湿田用)	____ (田に足がめり込むを防ぐ) ____ (田に肥料を踏み込む) ____ (稲や肥料を運ぶ小型の舟)	
(収穫用)	____ (稲穂をつみとる大陸系磨製石器) → ____・石鎌 → ____ で収穫 ★収穫した穀物は____や____に収納	→ ____ で収穫
(脱穀用)	____・____ (穀物を臼に入れて杵でつく)	
土 器	弥生土器 (赤褐色・薄手・硬質) ex. ____ (煮炊き用)・____ (貯蔵用) ____ (米蒸し用)・____ (盛付け用)	 [壺・甕・鉢・高杯・甕 (左順)]



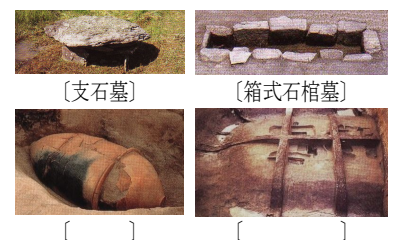
社
会
の
変
容

- ① 日本人の形成 (縄文系の____・弥生系の____の混血)
 ex. ____ 遺跡 (山口県) から矢が刺さった戦士など弥生系の人骨が出土
- ② 牧畜の始まり (ブタの飼育が行われたことが知られる)
- ③ 機織り技術の伝来 (織機によりをかけ糸を巻きとる____を使用)
- ④ 金属器の使用 (銅と____の合金の青銅器・鉄器はほぼ同時に伝来)
 (1) ____ (実用的な工具・農具・武器として使用)
 (2) ____ (非実用的な祭器・宝器として使用→のち大型化)
 ____ (瀬戸内海中心に出土)
 ____ (近畿地方中心に出土)
 ____ (九州北部中心に出土)
 ____ (九州北部中心に出土)
- ⑤ 墓制 (地域に応じて墓制の形態が異なる)
 → ____ (死者の手足を伸ばす埋葬形式→集落近くの共同墓地内に葬る)

- [青銅器の代表的な遺跡] —
 ① ____ 遺跡 (____県) (銅劍・銅矛・銅鐃が出土)
 ★各種の青銅器が特定の地域にしか出土しないという定説を覆す
 ② ____ 遺跡 (____県) (日本最多の39個の銅鐃が出土)

- [集落 (軍事的・防衛的施設を整えた集落)] —
 ① ____ 集落 (瀬戸内地方中心に、山頂・丘陵上にある集落)
 ex. ____ 遺跡 (香川県)・会下山遺跡 (兵庫県)
 ② ____ 集落 (九州～関東中心に、周りを溝で取り囲んだ集落)
 ex. ____ 遺跡 (____県)・____ 遺跡 (____県)
 ★大塚遺集落で、物見壇 (魏志倭人伝の楼観か) を発掘 (1986)
 ____ 遺跡 (____県)・____ 遺跡 (____県)
 ★大塚遺集落で、多数の弥生土器・木製農具を発掘 (1937))

- (1) 九州北部＝____ (二つの甕を合わせた甕形の棺)
 朝鮮半島南部の____ (支石の上に大きな板石を載せる)
 影響が大きい ★ ____ 遺跡 (____県) に多くの甕棺墓・支石墓が存在
 (2) 西日本＝____ (板石を長方形の箱状に組み合わせた棺)
 ★特定の甕棺墓・支石墓・箱式石棺墓から銅劍・銅鐃などの____が出土
 (3) 近畿地方＝____ (方形の低い墳丘の周りに溝をめぐらす)
 (4) 西日本＝____ (共同墓地外に造られた墳丘をもつ→最大級は ____ 遺跡 (____県))
 ★____ (山陰・北陸地方に広がる方形の四隅が突出した墳丘墓)

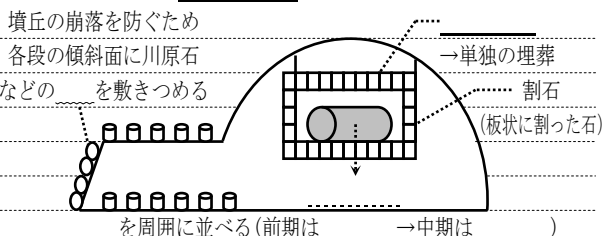
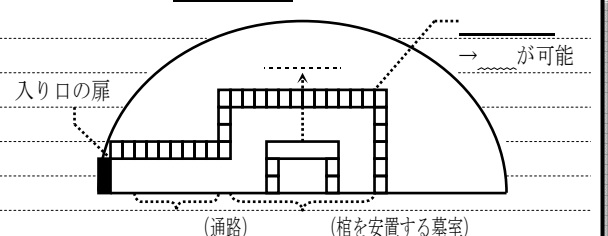


[NOTE]

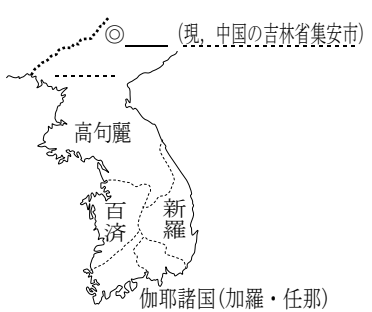
- 104 -

[A] 古墳の変遷

	前期 (3 世紀後半～4 世紀)	中期 (4 世紀末～5 世紀)	後期 (6 世紀～7 世紀)
支配体制	① <u>家を中心に畿内・瀬戸内の豪族が連合したヤマト政権が成立</u> ② 結束のため画一的な前方後円墳を築造	① ヤマト政権の支配地域が <u>関東～九州まで全国的に拡大</u> (古墳が東北地方にも分布) ② 特に畿内中央部の <u>勢力が強大化</u>	① 大王 (ヤマト政権) に各地の豪族が <u>服属</u> ② 農業生産力の向上→ <u>有力農民の台頭</u> →ヤマト政権の支配下に組み込む
地域	<u>畿内中心</u> (丘陵・台地に多い) ★瀬戸内海沿岸にも発生	<u>全国に拡大</u> (平野に巨大な墳墓)	<u>全国に分布</u> (山間にも築造)
形態	<u>前方後方墳</u> (東日本に多い) <u>円墳</u> (円形の古墳)・ <u>方墳</u> (方形の古墳)	規模が <u>巨大化</u>	規模が <u>縮小</u> (小規模な <u> </u> の集まり)
埋葬構造	★墳丘の崩落を防ぐために <u> </u> を葺く (木棺の周りを粘土で固める)		(朝鮮半島の影響を受ける) ★内部に <u> </u> (通路)・ <u> </u> (棺を安置する室) (丘陵の斜面などに水平に掘る)
—	(筒形のものなど) ★土留め・葬列模倣・殉死代用などの説	(家・動物・人物などをかたどる) ★家形埴輪・器材埴輪・人物埴輪・動物埴輪	減少
内部		長持形石棺	
副葬品	<u>銅鏡・勾玉</u> (呪術的・宗教的なもの) ★副葬品として <u> </u> (装身具) も出土 ex. <u> </u> (約 400 面発見) ★ <u> </u> (同じ鋳型で作った鏡) 船載鏡 (中国などで作った鏡) 仿製鏡 (船載鏡を模倣して作った鏡)	<u>武器・馬具</u> (軍事的なもの) ★高句麗の騎馬軍団との戦いで、倭人たちは騎馬技術を学び、馬具が副葬されるようになる cf. 騎馬民族征服王朝説 (<u> </u> が提唱) →大陸から騎馬民族が九州へ渡来し、近畿へ移動して征服王朝をつくったとする説	<u>日常生活用具</u> (須恵器・土師器などの土器) [土器] (弥生土器の系譜→赤褐色) (朝鮮半島から伝来→黒灰色) ★ <u> </u> を使用し、 <u> </u> で焼成
被葬者	<u>司祭者的性格の首長</u>	<u>武人的性格の首長</u>	<u>有力農民の台頭</u> ★古墳時代に農業生産力が向上したことが背景 ex. 渡来人の伝えた <u> </u> 鋸先・鋤先や <u> </u> など鉄製農具の普及、 <u> </u> の普及
代表例	<u>古墳</u> (<u> </u> 県) <u> </u> 遺跡 (<u> </u> 県) の遺跡内にある 前期古墳の中で最大・最古の前方後円墳 →倭迹迹日百襲姫命が被葬者 椿井大塚山古墳 (京都府) 32 面の三角縁神獣鏡が出土した前方後円墳 浦間茶臼山古墳 (岡山県) 前期古墳としては中国地方最大の前方後円墳	<u>古墳</u> (<u> </u>) (全国 1 位) <u> </u> の中心で <u> </u> 天皇陵とされる <u>古墳</u> (大阪府) (全国 2 位) <u> </u> の中心で <u> </u> 天皇陵とされる <u>古墳</u> (大阪府) (全国 3 位) 百舌鳥古墳群の一つで履中天皇陵とされる <u>古墳</u> (<u> </u> 県) (全国 4 位・中国地方最大) <u>古墳</u> (岡山県) (全国 9 位・中国地方 2 位) <u>古墳</u> (群馬県) (全国 27 位) 東日本で最大の前方後円墳	<u>古墳</u> (<u> </u> 県) (群集墳) <u>古墳</u> (奈良県) (群集墳) <u>古墳</u> (埼玉県) (横穴墓) <u>古墳</u> (奈良県法隆寺の西にある円墳) <u>金銅製の服飾具・精巧な馬具などの副葬品が出土</u> <u>古墳</u> (墓室に彩色画・彫刻を施した古墳) 高松塚古墳 (奈良県)・竹原古墳 (福岡県) が代表
終末期古墳	<u> </u> 年 <u> </u> (大化の改新に際して、身分に応じた墳墓の大きさ・築造日数を定める＝墳墓の築造を簡素化) 薄葬令により巨大古墳が禁止されたこと、仏教の伝来により火葬が一般化、寺院や仏院が豪族の権威の象徴となったため、以降古墳は衰退 → <u>終末期古墳</u> (7 世紀後半～8 世紀にかけての特殊な古墳) ex. <u> </u> 古墳 (<u> </u> の墓?)・ <u> </u> 古墳・ <u> </u> 古墳・ <u> </u> 遺跡 (斉明天皇期の遺跡) (全て <u> </u> 県 <u> </u> (飛鳥の中心地域) で発見) <u> </u> (7 世紀後半の正八角形の古墳で、御園野古墳 (京都府の天智天皇陵)・野口王墓古墳 (奈良県明日香村の天武・持統天皇陵) が有名)		

図解 NOTE① []図解 NOTE② []

[A] ヤマト(大和)政権(王権)

	国内・対外関係	古墳文化
4世紀	____年 ____県 (____ [____氏の氏神]に所蔵されている) (秦和4年) ____の____が倭王に贈った、表裏に金石文で61文字の銘文がある鉄剣 ____年 朝鮮出兵 (目的=朝鮮半島の先進技術と鉄資源の獲得のため) → (辛卯の年) 百済・新羅・加羅に侵攻してきた高句麗の____ (____)の軍に敗れる in 「____」 (子の____が高句麗の都の____に建立)	「____の来日 (____天皇期の5世紀初め)」 ____ (秦氏の祖) ★養蚕・機織りを伝える ____ (東漢氏の祖) } ★東漢氏と西文氏は東・西 ____ (西文氏の祖) } ____ (文筆を担当)を管理 ★『____』『____』(識字・習字テキスト)を伝える
5世紀	5世紀 倭の五王が南朝の____へ遣使 in 『____』 目的=朝鮮半島南部をめぐる外交・軍事上の立場を有利にするため 421年 倭国王____ (応神天皇 or 仁徳天皇 or 履中天皇) が宋に遣使 438年 倭国王____ (仁徳天皇 or 反正天皇) が宋に遣使 443年 倭国王____ (____天皇) が宋に遣使 462年 倭国王____ (____天皇) が宋に遣使 ____年 倭国王____ (____天皇) が宋に遣使 (順帝の昇明二年) 宋の____から6国の軍事的支配権を持つ「____倭王」に叙任される →以前から南朝に朝貢し、軍事的支配権を認められていた百済は除かれた	「ヤマト政権の支配拡大」 ____県 古墳出土鉄刀 ____が「獲□□□歯大王」に典曹人として仕える ____県 古墳出土鉄剣(____年)(辛亥年) ____臣が「獲加多支歯大王」に杖刀人首として仕える ★「獲加多支歯大王」→____天皇に比定される ____県 (____年?) 銅鏡に48字の銘文を記す(即位前の____天皇時?)
	507年 ____天皇が即位(____天皇の死後, ____ [大連]が越前から迎える) ← ★6世紀以降、国家体制を固めていった新羅が高句麗・百済・伽耶へ勢力拡大 ____年 ____ [大連]が任那(伽耶諸国)4県を____に割譲 ↓ ★のち, ____から賄賂を受け取っていたことなどを糾弾され失脚(____年) ____年 ____の乱(____と通じていた____ [____]が起こした反乱) ____を将とするヤマト政権の任那救援・新羅征討軍を阻むため反乱 →____が鎮圧(福岡県の____古墳は磐井の墓と推定される)	513年~ ____から____が来日(儒教の伝来) ★五経=「____」「____」「____」「____」「____」 →のち, ____博士・____博士・____博士も来日 ____年 ____が私宅で仏像を礼拝(仏教私伝) in 『____』(皇円が著した歴史書)
	____年 ____により伽耶諸国(加羅・任那)滅亡 ____ [崇仏論争] (崇仏派) ____ VS (排仏派) ____ ____ VS ____	「仏教公伝(6世紀)」 ____の____が____天皇に仏教を伝える ____年(____)説=『____』 ____年(____)説=『____』
	____年 丁未の乱(____が____を滅ぼす) ____天皇(厩戸王(聖徳太子)の父)の死後、皇位継承争いをめぐり対立 →戦後、厩戸王(聖徳太子)は難波に____寺・蘇我馬子は____寺(飛鳥寺)を建立	
	____年 ____が____天皇を暗殺(実行犯は東漢直駒) ★____古墳(____県)は蘇我馬子の墓と比定される	

「____(氏の祖先神である____・自然神を祀る)」

____(三重県)(____を祀る)★____(伊勢神宮の建築様式)

____大社(島根県)(____を祀る)★大社造(出雲大社の建築様式)

____大社(大阪府)(____を祀る)★住吉造(住吉大社の建築様式)

____神社(奈良県)(____を神体とする)

____大社(____県)(____を神体とする)

★沖ノ島=玄界灘に浮かぶ島で、海の正倉院と呼ばれる

「習俗」

____(けがれなどを水で清める)・____(けがれなどを払い除ける)

____(鹿の肩甲骨を焼いて、その割れ具合で今後の吉凶を占う)

____(熱湯に手を入れて、火傷の有無によって真偽を確かめる原始的裁判)

____(春に行う豊作を祈願する農耕儀礼)

____(秋に行う収穫を感謝する農耕儀礼)

★天皇即位の年に行われるものを特に____という(天武朝から開始か?)

[B] ヤマト政権の政治制度

氏
姓
制
度

ヤ
マ
ト
政
権
の
職
制

(豪族を大王家中心の支配体制に組み入れるための政治的身分秩序)

＝血縁の結びつきを中心に構成された擬制的同族集団 (もと豪族)

→ (首長)・ (一般構成員) から構成され、部民や (奴隷) を隷属させる

★ (民衆の集落と離れた場所に造営され、周囲に環濠や柵をめぐらした豪族の居住地)

ex. 遺跡 (群馬県で日本で最初に発見された古墳時代後期の豪族の居館跡)

＝それぞれの氏の職務や家柄など社会的地位に応じて、ヤマト政権から与えられた称号 (世襲制)

— (地名を氏の名とし、大王家から分かれたとされる大和地方の有力豪族に与えられる)

ex. 臣 ({ ・ ・ } を管理)・ 臣・ 臣

— (特定の職能で仕えた有力豪族 [有力伴造豪族] に与えられる)

ex. 連・ 連 (軍事)・ 連 (祭祀)

— (地方の有力豪族に与えられる)

— (地方の一般豪族に与えられる)

(中央) (7世紀末に天皇の称号を採用)

(臣姓から任命) (連姓から任命)

大夫 (臣・連の有力者から任命)

(特定の職務を担当する小豪族)

(伴造の補佐)

(特定の職務にあたる技術者集団)

ex. (錦を織る品部)

(鉄製品を製造する品部)

(馬具の鞍を製作する品部)

(土師器を生産する品部)

(須恵器を生産する品部)

(外交文書を作成する品部)

①ヤマト政権は特定の職務を 豪族が分担

(1) 重要職務は有力伴造豪族「連」が担当

ex. 軍事＝ ・ 、祭祀＝

(2) それ以外の職務は一般伴造豪族が担当

ex. 機織＝秦氏・文筆＝ 氏・ 氏

②大王家から分かれたとされる大和地方の

「臣」は特定の職務なし→主な「臣」は衰退

③焦った 氏はヤマト政権の財政を担当

→各地に 、 ・ を設置

→貢納品を (・ ・) で管理

[地方]

(畿内の朝廷の直轄領や、畿外の地方地域を支配)

(ヤマト政権から任命され、複数の郡程度の地方地域を支配)

★ヤマト政権の屯倉、子代・名代を管理→律令制下で郡司となる

(国造・県主と並び地方を支配→八色の姓で最下位となる)

[私地私民制] (大王家と豪族が土地・人民を個別に支配する体制)

大王(朝廷)	豪族
直轄地＝ <u> </u> (<u> </u> が耕作)	私有地＝ <u> </u> (部曲が耕作)
直轄民＝ <u> </u> ・ <u> </u>	私有民＝ <u> </u> (蘇我部など)
<u> </u> (<u> </u>) (労働集団の総称)	<u> </u> (<u> </u>) (氏に隷属する奴隷)

前期 (4世紀)	中期 (5世紀)	後期 (6世紀)
①弥生時代から、武器や農具に加工する鉄資源の確保は豪族にとって必要不可欠 ②鉄資源の入手ルートは中国→百済・新羅→伽耶諸国→九州北部→瀬戸内・畿内であるため、畿内・瀬戸内の豪族は不利 ③鉄資源を確保するため、<u> </u> 家を中心に <u> </u> 畿内・瀬戸内の豪族が連合(ヤマト政権) ④but…4世紀後半から高句麗が南下政策→高句麗が百済・新羅・伽耶諸国を圧迫 ⑤鉄資源を確保するため、朝鮮出兵(<u> </u>年)	①ヤマト政権の支配地域が九州～関東にまで全国に拡大 ex. <u> </u> 県 <u> </u> 古墳出土鉄刀 <u> </u> 県 <u> </u> 古墳出土鉄剣 ②国内の諸豪族の支配を安定させるため、南朝の <u> </u> に朝貢し <u> </u> の称号を賜る	ヤマト政権に各地の豪族が服属 ①服属した豪族たちはヤマト政権の支配下に組み込まれ となる ②それぞれの氏の家柄・地位に応じて <u> </u> などの <u> </u> という称号を与える = <u> </u> (5世紀後半～)

- 108 -

[B] 律令国家の形成

国内情勢		対外関係
(皇極天皇の)	658 年～ _____ の北方遠征(～660) _____ (秋田・津軽方面の部族)・ _____ (北海道南部の部族?) を平定 658 年 _____ (孝徳天皇の子) の謀叛(蘇我赤兄に謀られ挙兵を企てる) 661 年 百済救援軍の派遣(朝鮮半島における倭国の優位性を復活させるため) ← _____ 年 _____ 滅亡(百済の都の _____ 城(____)が陥落) 中大兄皇子・斉明天皇は九州へ向かうが, _____ で斉明天皇死去 鬼室福信(百済の遺臣)が日本に救援を要請	
	_____ 年 _____ (百済を復興させるため) 日本軍が錦江河口で _____ の連合軍に大敗 [中大兄皇子による国政改革] ①内政・国防重視政策へ転換 ②唐にならった律令制を導入 ③ _____ (664)で部曲を一時的に復活 兵隊の主力を徴発した豪族層の不満解消のため	
(大友皇子)	[国防強化] ① _____ (対外防衛のため九州北部に配備された兵) ② _____ (煙火による緊急連絡手段のための施設) ③ _____ (筑紫に設けられた全長約1kmの大堤) ④朝鮮式 _____ (亡命百済人の技術で対馬から大和にかけて築城) ex. _____ 城(大宰府北方)・ _____ 城(大宰府南方)・高安城(飛鳥) 667 年 _____ (近江国)遷都(翌年, 近江大津宮で天智天皇が即位) ← _____ 年 _____ 滅亡	
	_____ 年 _____ (_____ に命じて編纂させた最初の法律? → 存在自体の否定説もある) ← _____ 年 _____ 滅亡 ★中臣鎌足の死去(669) → 死後, _____ の位・ _____ の姓を賜る _____ 年 _____ (氏姓を正す根本台帳として永久保存とされた最初の全国的戸籍) ← _____ 年 _____ _____ 年 _____ (天智天皇死去の翌年に起きた皇位継承争い) _____ (天智天皇の弟) VS _____ (天智天皇の子)	
(大海人皇子)	672 年 _____ (大和国)遷都(翌年, 飛鳥浄御原宮で天武天皇が即位) _____ 年 _____ 編纂開始 [_____ (天皇と皇族を中心とした政治形態)] ①天皇神格化(「大王」→「天皇」号の成立・「倭」→「日本」国号の使用) ②部曲の廃止(675) (→豪族や寺院・神社の山林や原野を朝廷のものにする) ③ _____ (_____ 年) (天皇を中心とした新しい身分秩序に豪族たちを編成) _____ (皇親)・ _____ (旧臣姓)・ _____ (旧連姓)・ _____ ④国史の編纂(_____ 天皇が _____ に『 _____ 』・『 _____ 』の詔習を命ずる) ⑤ _____ (奈良県明日香村の _____ 遺跡から出土した日本最初の鑄造貨幣) _____ 年 _____ 施行 _____ 年 _____ (飛鳥浄御原令に基づいて作成された最初の班田台帳のための戸籍) _____ 年 _____ (大和国)遷都(_____ 天皇の3代天皇が都とする) 大和三山(_____ 山・ _____ 山・ _____ 山)に囲まれた最初の本格的な _____ 制	_____ 年 _____ の朝鮮半島統一 遣新羅使の派遣(新羅を介し唐文化を享受) → _____ 天皇時に遣唐使の派遣は無し

図解NOTE② [改新の詔]

[私地私民制] → [公地公民制]

— 大王(のちの天皇) —

直轄地= _____

直轄民= _____

— 豪族 —

私有地= _____

私有民= _____

図解NOTE③ [壬申の乱]

(弟) (子)
 (地方豪族が味方) VS (中央豪族が味方)
 in _____ で挙兵 in _____

- ①畿内の中央豪族が没落したことにより,
 大王と豪族の差が拡大し, 大王の権威が絶対化
 (1)「大王」→「天皇」へ改称(→天皇神格化)
 (2)天皇と皇族を中心とした政治= _____
 (3)皇族を姓の最上位(_____)におく= _____
 ②天皇を中心とした中央集権化が達成される

[A] _____ (_____ の律令を模範としているが、日本の社会の実情に合わせて改めたところもある)

中央官制
(_____ から構成)

① _____ 年(_____ (総裁)・ _____ (副総裁) が編纂

② _____ 年(_____ が編纂 → _____ 年に _____ が施行

[重要政務は太政官の _____ の合議で決定]

(祭祀)

(行政)

大納言

★ _____

_____ (役人の不正の監察・風俗の肅正)

_____ (京内・宮中の警護 → _____ ・ _____ ・ _____ の5つ)

- 省 (詔勅の作成・天皇側近事務)
- 省 (戸籍・租税など民政一般)
- 省 (文官の人事・ _____ の管理)
- 省 (外交事務・仏事・氏姓関係)
- 兵部省 (軍事一般・武官の人事)
- 刑部省 (裁判・刑の執行)
- 大蔵省 (財政の管理・貨幣)
- 宮内省 (宮中の一般事務)

地方官制

① 全国を畿内(五畿)七道に大別(諸国を大國・上国・中国・下国の四等級に分ける)

— 畿内 = _____ 国 (平安京遷都以前は _____ 国)・ _____ 国・ _____ 国・ _____ 国・ _____ 国

— 七道 = _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道・ _____ 道

② _____ = _____ 関 (東山道の美濃国)・ _____ 関 (東海道の伊勢国)・ _____ 関 (北陸道の越前国)

③ 要地 京 = _____ (左京・右京の民政一般 → 東・西市を管理する _____ を指揮下におく)

難波 = _____ (摂津国の民政 → 国内物資の集散地・遣唐使の発船など重要な _____ を管理)

筑紫 = _____ (「遠の朝廷」と呼ばれ、外交・国防上重要な西海道(九州)諸国を統治)

④ 国内を三階(国・郡・里)に区画

_____ = _____ (国司を通じて中央集権的な地方支配を実現するため、中央の貴族から任命し派遣)

— 任期 = _____ 年 → _____ 年 (地方の実情に精通していない)・国司の役所 = _____ (_____)

_____ = _____ (地方の実情に精通し在地における伝統的な支配力をもつ、旧国造など地方豪族から任命)

— 任期 = _____ (農民との結びつきが強い)・郡司の役所 = _____ (_____)

★ 郡評論争 (_____ が施行される 701 年以前は郡ではなく _____)

→ _____ 出土の _____ 「己亥年(699 年) 上総国阿波」などで明らかになる

_____ = _____ (_____ 戸を 1 里とする → 717 年以降、里を _____ と改称し、里長も郷長となる)

— [_____ (717 年 ~ 740 年頃、里を郷と改称し、郷の下に 2 ~ 3 里を置く)]

戸 = 戸主 (郷戸)

_____ (郷里制施行に伴い編成された行政組織の最末端の戸)

_____ (郷里制施行に伴い、郷戸の下に新設された生活単位)

図解 NOTE [_____]

① _____ (中央と地方の国を結ぶ交通制度)

中央-地方を結ぶ官道(_____)に _____ という施設を約 _____ km ごとに置き、そこに用意してある _____ を公用の役人のみが使用する制度 → 証として _____ を _____ が交付する

② _____ (地方の郡と郡を結ぶ交通制度)

郡衙に置かれた _____ を公用旅行者が使用

[四等官制(各官吏に四等級を置く)]

官職	_____	_____	_____	_____
国司	_____	_____	_____	_____
郡司	_____	_____	_____	_____
八省	卿	輔	丞	録
神祇官	伯	副	祐	史
大宰府	帥	式	監	典

貴族の特権

① _____ (父祖の位階に応じて、子孫は _____ 歳になれば自動的に一定の位階を得られる制度)

→ _____ 以上(公卿)は子と孫、 _____ 以上(貴族)は子が適用を受けられる

② 官吏(官人)の給与(特に五位以上に支給される)

(1) 田地 = _____ (位階に応じて支給される田地)・ _____ (官職に応じて支給される田地)

★ _____ (功績に応じて支給される田地)・ _____ (天皇の命で特別に支給される田地)

(2) 封禄 = _____ (位階に応じて支給される封戸)・ _____ (官職に応じて支給される封戸)

★ _____ (四位・五位に支給される布・綿・絁) cf. 位封は三位以上に支給

★ _____ (全官人に春秋の年 2 季に支給される布・綿・絁)

(3) 供人 = _____ (五位以上に対して位階・官職に応じて支給される従者)

③ 税の免除 (唐・調・雑徭などの負担は免除)

④ 刑法上の減刑措置 (重罪でない限り実刑を受けず、免職や罰金で済む特権)

(1) 五刑(_____ [むちで打つ]・ _____ [つえで打つ]・ _____ [懲役]・ _____)

(2) _____ (天皇に対する謀叛・尊属に対する不孝などの重罪)

[_____]

官吏には一位から初位までの _____ が与えられそれぞれの位階に応じた官職に任命される制度	
位階 (合計 _____ 階)	官職
正(從)一位	→ 太政大臣に任命
正(從)二位	→ 左・右大臣に任命
正(從)三位	→ 大納言などに任命
正(從)四位上下	→ 参議などに任命
正(從)五位上下	→ 少納言などに任命
正(從)六位上下	→ 大國介などに任命
正(從)七位上下	→ 大國掾などに任命
正(從)八位上下	→ 大國目などに任命
大(小)初位上下	→ 中國目などに任命

図解NOTE [律令制度下の税制]

→ **律令国家 (中央政府)**

((里ごとに 2人を徴発し, 年間都で雑用にあてる))
 (日間の代わりに 丈 尺を納める = **中央財源**)
 (織雑製品を中心とする地方の特産物を納める = **中央財源**)
→ (唐・調徴収のための基本台帳として **毎年作成**)

(が徒歩で都へ運ぶ (食料は自弁))

→ (役所 = ()) (→ 収納された (初付き稲) を の に蓄える)

(国司が年間 日間を限度に農民を使役できる労役)
兵役 (3~4人に1人を兵士に徴発し, 各地の に配属)

 (**土地税** として1段につき 束 (収穫の %) の稲を納める = **地方財源**)
 (凶作対策として を国司が徴収し, 国衙の倉に貯蔵して窮民に給与)

 (役所 = ()) (→ 収納された (初付き稲) を の に蓄える)

(1里 = 戸)

 (正倉に蓄えられた正税を利息付きで貸し付ける)
→ (利息 割) ・ (利息 割)

※ → **(成年男子)を中心に課す** (一人ごとに税を課す人別課税)

< 公地 >

(予め土地を区画)

((公田)
(班給した余剰の田)

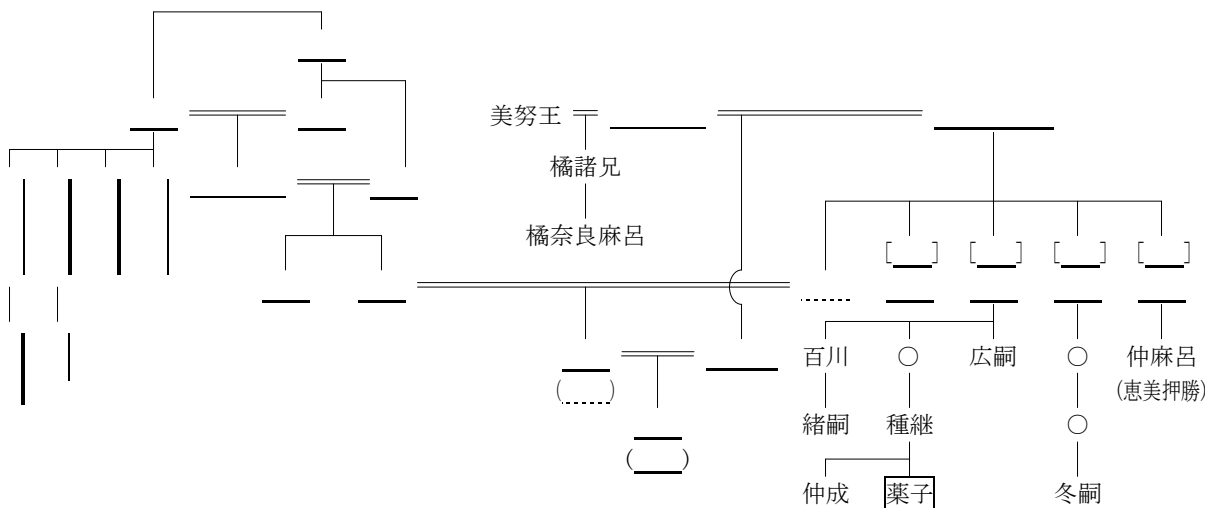
 (年ごとに を班給 = 班田)
死んだら次の班田収授の年に収公(回収) = 収授
→ (口分田班給のため 年ごとに作成)
ex. (年) を作成
→ **最初の班田収授 (692)**
cf. (年) (**最初の全国的戸籍**
氏姓を正す根本台帳として永久保存)

公民 (班田農民)
(歳以上の男女)

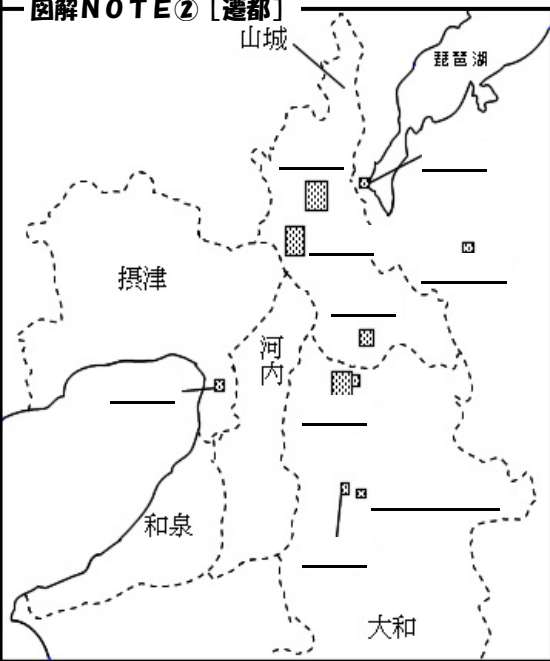
 (1年契約で貸貸し, 収穫の 割を土地代の として徴収)

政権担当者		政治・政争	土地政策
_____ (____の子) 死の際に_____と の姓を賜る	_____年 _____ (日本最初の律令→現存せず) →編纂= _____ (総裁)・ _____ (副総裁)	_____年 _____ 铸造 (____国からの銅の献上が契機→_____と改元) 唐の _____ にならい, _____ が铸造 (銀銭・銅銭の両銭あり) ★ _____ の最初 (律令国家が铸造した12種の銅銭の総称) cf. 皇(本)朝十二銭の最後= _____ (____天皇時の _____ 年に铸造)	708年 _____ (現在の山形県) 設置 → _____ 城に移築(733) 712年 _____ 国 (越後・陸奥国を割いて設置)
720◎ [右大臣→_____]	_____年 _____ 遷都 (唐の _____ にならった本格的都城) _____年 _____ (銭貨の流通を促進するための法令) but 京・畿内を中心とする地域以外はあまり流通しなかった →地方では米や布などが貨幣の代わりに用いられていた	713年 _____ 国 (日向国を割いて設置) のち, _____ 島・ _____ 島も朝廷に帰属 720年 _____ (九州南部の人々) の反乱 → _____ が鎮圧	_____年 _____ 東北地方の開墾計画→成果なし
729◎ 藤原四子 737◎ (天然痘) (皇族出身) [補佐(もと遣唐使)] (僧侶) (豪族)	_____年 _____ 制定 (→現存せず) →編纂= _____ but 大宝律令と内容的に大きな変化はなく、この当時は施行されず	_____年 _____ 天皇が即位 (皇太子時代に入内した光明子が夫人) _____年 _____ (謀反の疑いで自殺させられる) 事件後, _____ が人臣で初の _____ となる ★近年、平城京の長屋王邸宅跡から大量の _____ が発見される	★養老7年の格と呼ばれる ①新たに開墾した土地(墾田)の 3世代までの所有を認める ②旧来の灌漑施設を利用して開墾 した場合は本人一代限りの所有
(藤原仲麻呂の台頭) _____ (家: _____ の子) [_____ (長官)]	_____年 _____ (家: _____ の子) _____ の排除を求め _____ [_____] が _____ で反乱	[遷都] ① _____ (____国) ★紫香楽宮離宮(742) ② _____ (____国) ③ _____ (____国)	_____年 _____ in _____ _____ in _____ (大仏の正式名称) ★ _____ による _____ (のち _____)
764◎ (_____) [_____ (_____)]	745年 _____ の左遷 to _____ 国 _____ (天下三戒壇の一つ)	750年 _____ の左遷 _____年 _____ 大仏開眼供養 (←749年, _____ 国から金が献上され完成) ★聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇など1万人が参列する盛儀 (藤原仲麻呂の打倒をはかるが逆に滅ぼされる) _____ 施行	★天平15年の格と呼ばれる ①開墾地の永代私有を認める ②身分により開墾できる面積を制限 ③開墾は国司への申請が必要 ④申請後3年以内に着手
_____ (_____) [_____ (_____)]	760年 _____ の死去 _____年 _____ (道鏡排除を計画するが先制され滅ぼされる) 事件後、淳仁天皇は _____ に配流される (淡路廃帝)	_____年 _____ (道鏡が皇位をねらうが失敗) → _____ ・ _____ (法均尼) を配流 770年 道鏡の左遷 to _____ 国 _____ (天下三戒壇の一つ)	[_____ (_____)] ①形態= _____ (自ら未開墾地を開墾) _____ (他の開墾地を買収) ②経営= _____ (1年間の契約で土地を賃貸) →収穫の _____ 分の1を _____ として徴収 ③特徴= 専属農民の不在 (労働力は依存) ④例 = _____ 国 _____ 荘 (_____ 領)
_____ (家: _____ の子)	770年 _____ 天皇 (_____ 天皇の孫) 即位 _____ (家: _____ の子)・ _____ (北家: 房前の子) が擁立	_____年 _____ 以外の開墾を禁止 _____年 加墾禁止令の停止 開墾制限を撤廃	_____年 _____ 以外の開墾を禁止 _____年 加墾禁止令の停止 開墾制限を撤廃

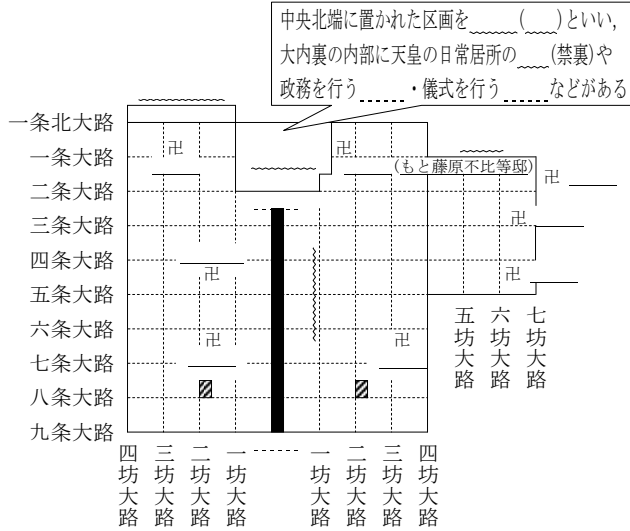
図解NOTE① [天皇・藤原氏系図]



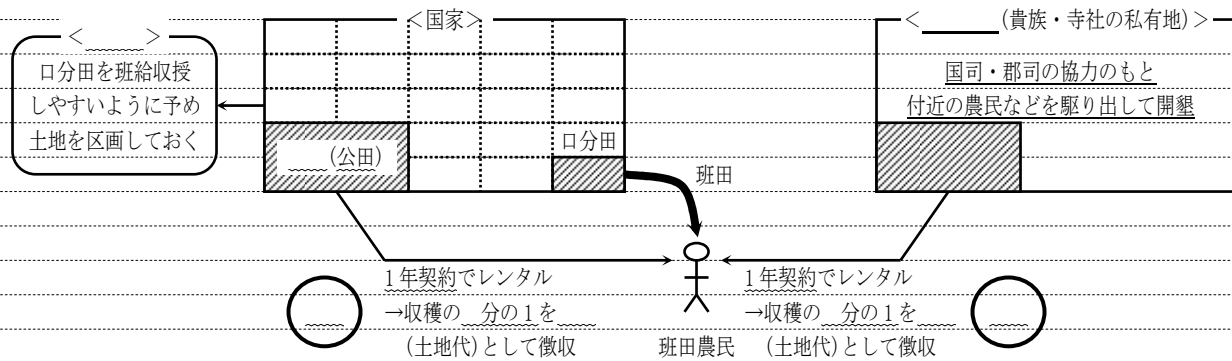
図解NOTE② [遷都]



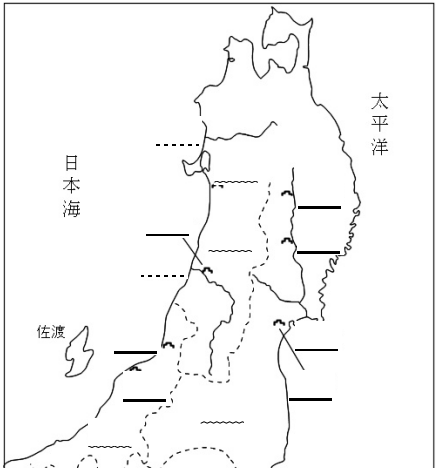
図解NOTE③ [平城京]



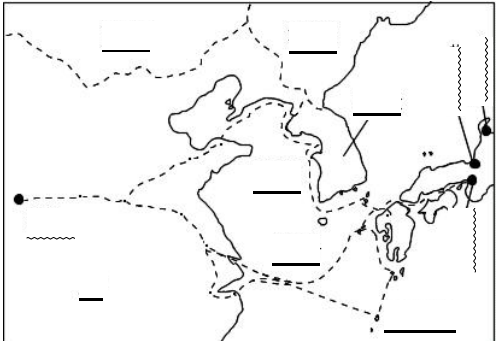
[NOTE]



〔A〕平安京の政治(律令制の再編)

政治・政争	蝦夷征討
781年 _____ 天皇即位(行財政の簡素化や公民の負担軽減など政治再建につとめる) _____ 年 _____ (_____ 国) 遷都(目的=仏教政治の弊害を絶つ・水陸交通の便がよい) 785年 _____ 暗殺事件(造長岡宮使の _____ [家: _____ の孫] が暗殺される) _____ (桓武天皇の弟) に容疑がかかり、皇太子を廃される _____ 年 _____ (_____ 国) 遷都(建議= _____) ★ 国を _____ 国と改称 _____ [延暦の治(桓武天皇の親政)] 農民負担の軽減 ① _____ の制(_____ 年)(東北・九州など辺境の要地を除いた _____ 制を廃止) _____ の子弟を中心に _____ に採用し、国府・兵庫・鈴藏などの警備にあたる ② _____ (_____ 日間→ _____ 日間に軽減) ③ _____ (_____ 割→ _____ 割に利息を軽減) 律令制の再編 ① 班田制(班田収授を _____ 年1班→ _____ 年1班に改める) ② _____ (国司交替時に事務引継ぎの不正を検査する) _____ (後任国司が前任国司に発行する事務引継ぎ完了の証明書)を検査	(780年 _____ の乱(_____ 天皇時)) 紀広純〔睦奥按察使〕を殺害し _____ 城を焼き払う →以後、東北地方では30年余り戦乱状態が続く 789年 _____ [征東大使] の蝦夷征討 797年 _____ [_____] の蝦夷征討 渡来系氏族(_____ 氏の子孫)で _____ を創建? → _____ [蝦夷の族長] らを降伏させる(801) _____ 年 _____ が _____ 城を築城 _____ 年 _____ を _____ 城から _____ 城に移転 _____ 年 _____ が _____ 城を築城 _____ 年 _____ (二大政策(軍事・造作)に関する論争) → _____ (中止派) VS _____ (継続派)
806年 _____ 天皇即位(官司の削減・冗官の整理など官制改革、地方官対策を行う) _____ [家: _____ の子] を寵愛・ _____ [葉子の兄] を重用	
_____ 年 _____ (_____) (家没落・家台頭の契機となる) _____ ・ _____ [藤原式家] が _____ 太上天皇(上皇)の重祚を企てるが失敗 809年、病気のため _____ 天皇に譲位した _____ 上皇は、寵愛した _____ や _____ をはじめとする多数の官人らを伴い平城宮に移った。天皇は _____ 年上皇と葉子らの行動を抑えるため、 _____ に _____ と _____ を任命。これにより対立し、平城上皇が平城旧京への遷都を命じると、嵯峨天皇は迅速に兵を出して勝利。上皇は出家、葉子は自殺。仲成は射殺された。 _____ [弘仁の治(嵯峨天皇の親政)] 律令制の再編 ① _____ (天皇の側近として、天皇の機密文書を扱う機関) → _____ (蔵人所の長官) = _____ [藤原北家] ・ _____ ② _____ (京都の治安維持・訴訟にあたる機関) のち、衛門府の警察権・弾正台の糾弾権・京職の裁判権を吸収し、権限を拡大 法典の整備 ① 格式(→行政を担う貴族・官人はこれらの行政能力の習得が必要になる) _____ (律令の条文を補足・修正した太政官符や詔勅) _____ (律・令・格の施行細則) ② 三代格式の編集 『 _____ 』(_____ 天皇の命で _____ らが編集(_____ 年)) 『 _____ 』(_____ 天皇の命で藤原氏宗らが編集) 『 _____ 』(_____ 天皇の命で藤原時平らが編集→ _____ (_____ 年)は完備現存) ★『 _____ 』(三代格を神祇・仏事など項目別に11世紀に分類・編集) ③ 法典注釈書(養老令の様々な条文の解釈・学説をまとめたもの) 『 _____ 』(_____ が833年に編集した養老令の官撰注釈書) ★『令義解』から養老令の大部分が復元できる 『 _____ 』(_____ が868年頃に編集した養老令の私撰注釈書) ★『令集解』から養老令の大部分・大宝令の一部が復元できる	_____ 年 _____ [征夷将軍] の蝦夷征討 最後の蝦夷征討となる _____ [蝦夷経営] (律令国家に服属した蝦夷に対する呼称) (東国から移住させた開拓と防衛にあたる人々) (878年 _____ (出羽国の俘囚が秋田城を焼打ち)) _____ (百済系渡来人の子孫) _____ 淳和 
淳和	

[B] 東アジアとの外交

中 国 関 係	朝 鮮 関 係
____年 ____の建国(隋を滅ぼし、都を____におく) ____年 最初の遣唐使(皇帝に臣下の礼をとる朝貢形式) → ____を派遣(614年に第4回遣隋使としても渡航) 目的=①唐の先進的な文物・制度の輸入・②日本の国際的地位の向上 ex. 唐の朝貢に際する新羅との席次争いで大伴古麻呂が抗議(753) 8世紀 遣唐使の航路変更(____との関係悪化が背景)← ____→____→____(東シナ海を横断する危険な航路) [遣唐使(隻→隻500名「よつのふね」・19回任命→15回渡航)] ____年 _____遣唐大使として入唐(大宝律令の編纂に参加) ____年 _____遣唐少録として入唐(歌人として『____』が代表) 717年 _____遣唐副使として入唐(藤原不比等の子で式家の祖) ____年 _____帰国して橘諸兄政権を補佐した僧侶→筑紫観世音寺に左遷 ____年 _____帰国して橘諸兄政権を補佐した地方豪族→のち右大臣となる ____年 _____唐朝廷に仕えるが、帰国できず唐で客死(唐名=____) ★____皇帝に重用され、李白・王維らの文人と交際 ____年 _____帰国できず唐で客死(中国の西安で墓誌が発見される) 752年 _____帰国できず唐で客死(藤原房前の子で遣唐大使として入唐) 804年 平安最初の遣唐使(____・____・____らが渡航) ____年 実質最後の遣唐使(藤原常嗣・円仁らが渡航) ____(遣唐副使となるが、乗船を拒否したため____に配流) ____『____』(円仁の渡航日記) ____年 [____]の建議で遣唐使廃止(____天皇時) 廃止理由…①唐の衰退 ex. ____ (____) (755) ②航路の危険性・③新羅の海賊の活動・④派遣費用調達の高額 ⑤唐の民間商人の頻繁な来航(公的な交渉を続ける必要がない) 廃止後…①日本人の海外渡航は原則として禁止(僧侶の渡航は許可制) ex. ____ (983年に入宋した東大寺僧→宋版大蔵経・釈迦像を持ち帰る) 寂照(1003年に入宋した天台宗僧→天台宗疑問の答釈を得るが客死) ____ (1072年に入宋した天台宗僧→多くの經典を日本に送るが客死) ②唐・新羅の民間商船が____に来航(遣唐使廃止後も中国の文物は流入) ★____(平安京・大宰府(博多津)に設けられた外国使節の迎接施設) ____年 ____滅亡→____(____)建国(____年)	____年 ____の滅亡(____・____の連合軍が滅ぼす) ____年 ____ (____・____の連合軍に大敗) ____年 ____の滅亡(唐・新羅の連合軍が滅ぼす) 668年 新羅使の来日(新羅は朝貢形式で日本と通交を結ぶ) 遣新羅使の派遣(天武・持統朝に遣唐使の派遣はなし) ____年 ____の朝鮮半島統一(唐の勢力を追い出す) ____のち、新羅が対等な立場を主張したため緊張関係  698年 ____の建国(沿海州の____族と高句麗遺民が建国)← 唐・新羅との対抗関係から日本に通交を求める ____年 渤海使の来日(渤海が日本に派遣した外交使節) 日本からも遣渤海使を派遣するなど交易を行う ★渤海の宮都跡から____が発見されている [渤海使滞在施設] ____(____国____津におかれた渤海使滞在施設) ____(____国福浦津におかれた渤海使滞在施設) ____年 ____の滅亡(____族に滅ぼされる→のち____を建国) ★のち、遼も____族に滅ぼされる→のち____を建国 935年 ____の滅亡→____の建国(918)

[NOTE]

〔A〕他氏排斥

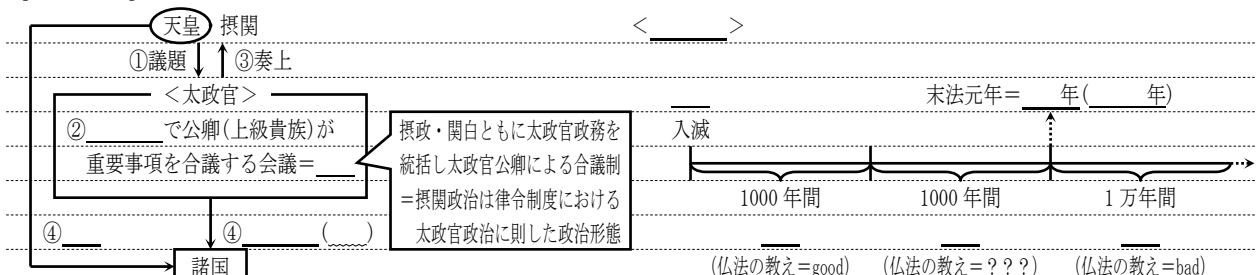
政権担当者	政治・政争	図解NOTE〔外戚〕
(冬嗣の子)	年 (伴健岑・橘逸勢が恒貞親王を奉じて謀反を計画?) → (隠岐配流)・ (伊豆配流) (廃太子)・ (皇太子)	① (別居で夫が妻の家に通う婚姻形態) ② (夫が妻の実家に住む婚姻形態) ()
850年	天皇即位 → 良房=人臣初の (857)	③ (妻が夫の実家に住む婚姻形態)
年	天皇即位 → 良房=事実上の (年) ↓ 良房=正式に 任命 (年)	①摂関の地位 (天皇が幼少の期間に政務を代行する) (天皇の成人後に、後見役をつとめる)
年	(平安京の正門である応天門が炎上) 容疑者= [左大臣] → 真犯人= [] → (配流)・ (関連して配流) ★『 (応天門の変を題材にした絵巻物)	②摂関の権限 (役人の任免権を持つ) (位階の授与)・ (官職の任命)
872年	天皇即位 (のち、殿上で殺人事件を起こし退位させられる)	淳和 嵯峨 平城
(良房の養子)	884年 天皇即位 → 基経=事実上の	高子
年	天皇即位 → 基経=正式に () (～888) 基経を関白に任じた際の詔勅の中の「阿衡」の語句に基経が抗議 →天皇は起草者の を処罰し、訂正した詔勅を発して解決	師輔
891年	〔宇多天皇の親政〕 ①基経死後、宇多天皇は摂政・関白を置かず ② (宮中の警備にあたる武者) を設置 ③ [] を登用 (もと漢詩文・歴史を教える) →遣唐使廃止 (年) by [] ★『 (道真の漢詩文集)・『 (六国史を部門別に分類) ④『 (宇多天皇が譲位に際、醍醐天皇に与えた訓戒書)	高子
(基経の子)	899年 []・ [] 年 ([] (左大臣) が [] (右大臣) を讒言) →醍醐天皇が [] を [] に左遷 [] 年 ([] の設置を禁止) 最後の班田収授 (班田収授法が廃絶) 年 「 ★日本三代実録(901)・古今和歌集(905)・延喜式(927)	高子
年	930年 天皇即位 (幼少のため (摂政・関白) が補佐) 935年～ の乱 (平将門の乱・藤原純友の乱の総称) 年 铸造 (皇朝十二銭の最後)	高子
(基経の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
(忠平の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
年	930年 天皇即位 (幼少のため (摂政・関白) が補佐) 935年～ の乱 (平将門の乱・藤原純友の乱の総称) 年 铸造 (皇朝十二銭の最後)	高子
(基経の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
(忠平の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
年	930年 天皇即位 (幼少のため (摂政・関白) が補佐) 935年～ の乱 (平将門の乱・藤原純友の乱の総称) 年 铸造 (皇朝十二銭の最後)	高子
(基経の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
(忠平の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
年	930年 天皇即位 (幼少のため (摂政・関白) が補佐) 935年～ の乱 (平将門の乱・藤原純友の乱の総称) 年 铸造 (皇朝十二銭の最後)	高子
(基経の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子
(忠平の子)	年 (源満仲が源高明の娘婿が平親王擁立の陰謀計画?を密告) (...国...荘に土着=多源氏)の密告 → (醍醐天皇皇子) [] を [] に左遷 ★『 (朝廷の儀式や年中行事を記した源高明の有職書) →★藤原北家の政治的地位は安定し、摂政・関白が常置されるようになった	高子

【B】摂関政治の確立（天皇に娘を入内させ、天皇家の外戚として天皇を後見し、実権を掌握する政治形態）

政 権 担 当 者		政 治 ・ 政 争	そ の 他
円融・花山	藤原兼通 ↓ 藤原兼家 ↓ 藤原道隆 ↓ 藤原道兼	「_____」をめぐる藤原氏内部の争い ★氏長者は_____（藤原氏の氏長者が代々所有する所領）を継承 ★重要政務は_____（_____における太政官の会議）を参考に決裁 ① _____（弟）VS _____（兄） 関白兼通没後、兼家が摂政・関白となる ② _____（兄）VS _____（弟） 道隆・道兼ともに流行り病で死亡→道長 VS 伊周へ ③ _____（叔父）VS _____（甥） 勝利した道長は_____（関白に准じる役職）に就任(995) →敗れた_____（兄）・_____（弟）は大宰府へ左遷【大宰権帥】	
	（御堂関白） ↓ （宇治殿）	1016 年 _____ に就任 _____ 年 _____ に就任 ★『_____』（藤原道長の日記） _____ 年 _____ が _____ 天皇の中宮に入内 道長が『望月の歌』を詠む in 『_____』（_____の日記） →出家後に _____（阿弥陀堂建築）を建立(1020) ★約 50 年間、摂政・関白をつとめる（後一条・後朱雀・後冷泉天皇時） _____ 年 _____（沿海州の _____ 族(刀伊)が北九州に襲来） → _____【_____】が撃退 _____ 年 _____（阿弥陀堂建築）を宇治に建立 1068 年 _____ 天皇（藤原氏を外戚としない天皇）が即位	

政 変	概 要
_____（ _____ 年）	_____ 年、上皇が没した混乱に乗じ、皇太子 _____ の側近である _____ と _____ が皇太子を奉じて東国に赴き、反乱を企てたと阿保親王(在原業平の父)が密告。首謀者として _____ は隠岐に、_____ が伊豆に配流された。_____ は皇太子を廃され、藤原良房の甥で仁明天皇の子 _____（_____ 天皇）が皇太子となった。伴健岑・橘逸勢らは冤罪の可能性がきわめて高く、権力の確立を図った _____ の陰謀と推定される。
_____（ _____ 年）	_____ 年、平安京 _____ の正門である _____ が炎上。はじめ左大臣 _____ に放火の疑いがかかったが、大宅鷹取という人物が犯人として _____ を告発。善男は尋問に対して強く否認したが、鷹取の女を殺し鷹取を傷つけた事件で調べられた善男の従者 2 名が善男が源信を失脚させるために子の中庸に命じて放火させたと告白。_____ ・ _____ 父子を _____ に、_____ ・ _____ らも関連して流罪となった。事件の真相は不明だが、事件の処理にあたった太政大臣 _____ は、事件後 _____ に任ぜられ、伴善男・紀夏井ら有能な官人を排斥することに成功した。
_____（ _____ 年）	_____ 年に即位した _____ 天皇は、_____ に関白の詔を出した。基経は当時の慣例に従い辞退したが、_____ が起草した詔書に「_____ の任」につけるとあった。基経は「阿衡」は位のみで職掌がないとして以後出仕するのをやめ、天皇の信任の厚かった橘広相の断罪を図った。翌年に宇多天皇は勅書の非を認め、_____ を罰して収拾した。天皇との外戚関係がなかった基経には、関白としての政治的立場を確認する狙いがあった。
_____（ _____ 年）	左大臣藤原時平と右大臣菅原道真、政治を主導する宇多上皇と醍醐天皇には確執があった。_____ 年、宇多上皇が菅原道真の娘婿の齊世親王擁立の陰謀計画があると _____ が _____ 天皇に讒言。宇多上皇や菅原道真の政治手法に不満を抱いていた醍醐天皇は、_____ を _____ に左遷した。
_____（ _____ 年）	_____ 年、病弱の冷泉天皇譲位後の問題に不安を抱いていた藤原氏が、策略によって _____（_____ 天皇の皇子）を失脚させ、_____ に左遷した事件。源高明が娘婿で皇位継承資格のある為平親王(村上天皇の皇子)擁立の陰謀計画があると _____ が密告。満仲は密告の功で昇進した。

【NOTE】

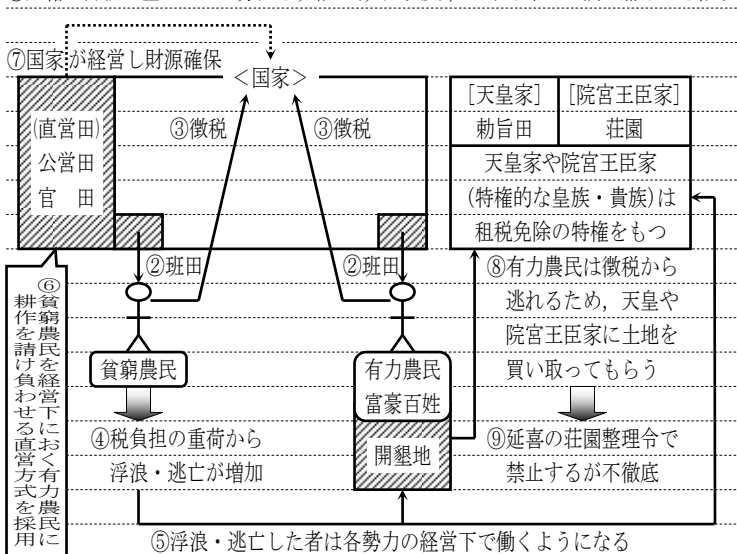


[A] 律令体制の崩壊(9世紀)と負名体制(10世紀)

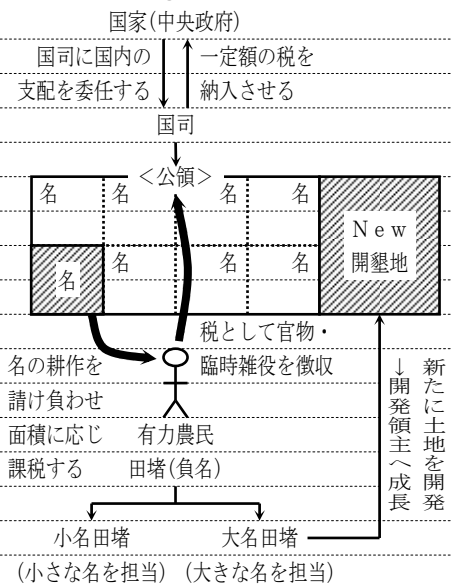
8～9世紀＝律令国家(課税単位＝ <u>税</u>)	10世紀＝王朝国家(課税単位＝ <u>税</u>)
①租税負担の重荷(調・庸・雑徭・兵役などの負担が農民の生活を圧迫) ex. 『<u> </u>』、『<u> </u>』に収録) ②徴税逃れ(有力農民と貧窮農民に階層が分化→課税逃れが相次ぐ) <u> </u>(本籍地を離れ、他国に浮浪する→所在明確で調・庸を納める) <u> </u>(本籍地を離れ、他国に浮浪する→行先不明で調・庸を納めない) <u> </u>(女性などに年齢や性別を偽る) ex. <u> </u>国 <u> </u>郷の戸籍(902) <u> </u>(朝廷の許可なく僧侶になる) <u> </u>(貴族の従者となる) ③朝廷の財政難(浮浪・逃亡・偽籍などにより調・庸などの人頭税が減収) ④律令体制の再編(<u> </u>天皇時)(農民負担の軽減をはかる) (1) 班田収授(班田収授を年班→年班に改める) (2) <u> </u>(政府が貸し付ける種籾の利息を利率割→割に軽減) (3) <u> </u>(国司に使役される労役を年間日間→日間に軽減) (4) <u> </u>の制(東北・九州を除く正丁男子を徴兵する<u> </u>兵士制を廃止) ⑤直営田の設置(国家財政を補うため、有力農民を利用した直営方式を採用) <u> </u>(<u> </u>年)(<u> </u>の建議で大宰府管内に設置された直営田) <u> </u>(879)(中央官司の財源確保のため畿内に設置された直営田) <u> </u>[私的大土地所有の確立] <u> </u>(天皇)・賜田(皇族)・諸司田(諸官司) <u> </u>院宮王臣家(権門勢家)の荘園(少数の皇族・上級貴族) <u> </u>★新たに台頭した有力農民らと結びつき、私的に多くの土地を集積 ⑥律令体制の崩壊(<u> </u>天皇時)(律令体制の復興をめざす) <u> </u>年 <u> </u>(最初の荘園整理令) <u> </u>・院宮王臣家の荘園を禁止するが、<u> </u>に終わる →券契(証拠文書)明らかな荘園を認め、国司に実施を任せため <u> </u>年 最後の班田収授 ★阿波国上郷の戸籍(902) <u> </u>年 「<u> </u>」 by <u> </u> <u> </u>地方政治の混乱ぶりを醍醐天皇に指摘した報告書	① <u> </u>(土地税に基づく徴収制度) ★為政者=<u> </u>(<u> </u>天皇時) (1) 口分田などの公領を収公(班田収授を廃止) (2) 公領を<u> </u>(<u> </u>)という課税単位に編成する (3) <u> </u>(<u> </u>) (有力農民) に一定期間、田地の耕作を請け負わせ、名(名田)の面積に応じて課税する →<u> </u>(租・調・庸の系譜)・<u> </u>(雑徭の系譜)を徴収 ②地方政治の転換(律令体制の崩壊に伴い、国司の権限を強化) <u> </u>国司に一定額の税の納入を請け負わせ、その代わりに一国内の統治を委ねる (1) 国司は中央政府に対する徴税請負人的な性格を強める →以降、地方政治の運営における<u> </u>(<u> </u>)の役割が増大 ★今まで地方政治を担っていた<u> </u>(<u> </u>)の役割は衰退 (2) 国司は租税の課税率を決める権利を認められ、一定額の税を納めればよいため蓄財が可能になる(国司の地位の利権化) → <u> </u>の盛行 <u> </u>[国司の地位の利権化] ① <u> </u>(一定の財物を朝廷に納めて、国司などの官職に任命される) ② <u> </u>(一定の財物を朝廷に納めて、国司などの官職に再任される) ③ <u> </u>(現地に赴任する最上級の国司(守)=貪欲な者が多かった) ex. <u> </u>(<u> </u>守)『<u> </u>』(<u> </u>年) <u> </u>力条にわたる悪政を郡司・百姓に訴えられる <u> </u>(<u> </u>守)「<u> </u>は倒れるところに土をつかめ」 <u> </u>貪欲な受領の例として知られる in 『<u> </u>』 ④ <u> </u>(現地に赴任しない国司→代わりに<u> </u>を派遣し代行させる) <u> </u>(国務の代行者)が現地の<u> </u>(国衙)の国務を担当し、 <u> </u>(国衙の実務にあたる現地の地方役人の総称)を指揮する ①浮浪・逃亡・偽籍の激化+有力農民と院宮王臣家の結びつき =戸籍・計帳の制度が崩壊し、戸籍・計帳に基づいて、 班田収授を実施したり、徴税をするのはもはや不可能 ②成年男子を中心に庸・調などを賦課する人頭税から(～9世紀) 土地の面積に応じて官物などを賦課する土地税へ転換(10世紀)

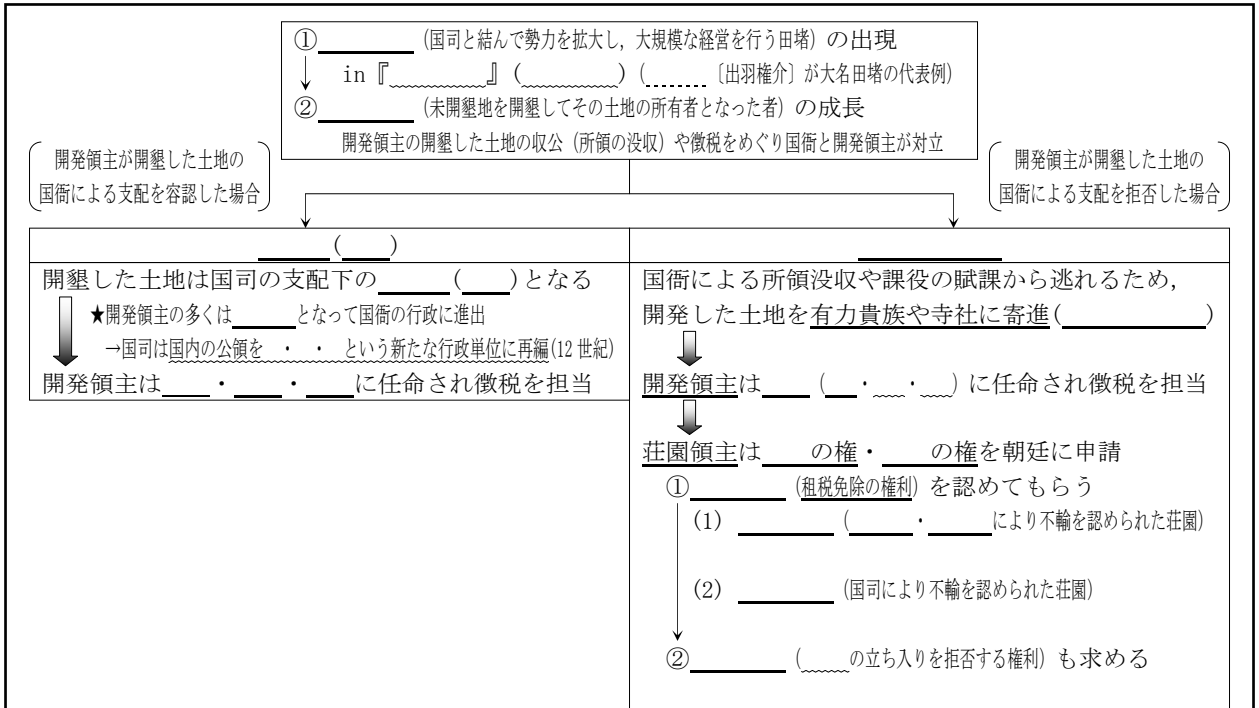
図解NOTE① [律令制度の崩壊]

①戸籍・計帳に基づいて口分田を班給し(班田収授)、正丁を中心に調・庸などを徴収

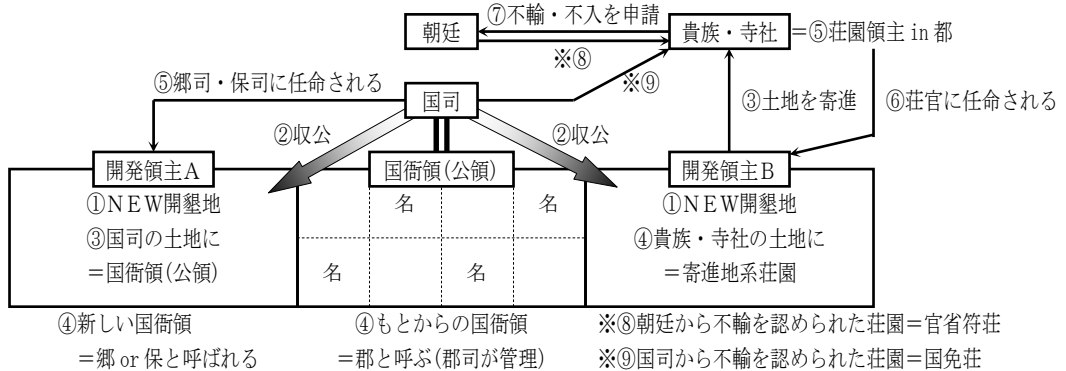
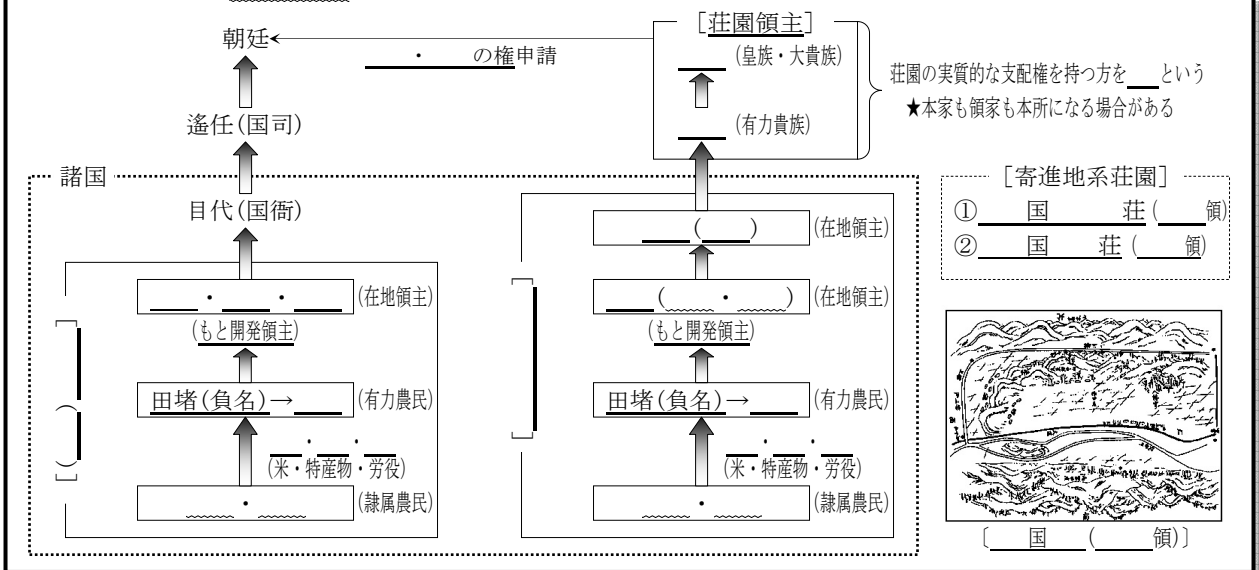


図解NOTE② [地方制度の転換]





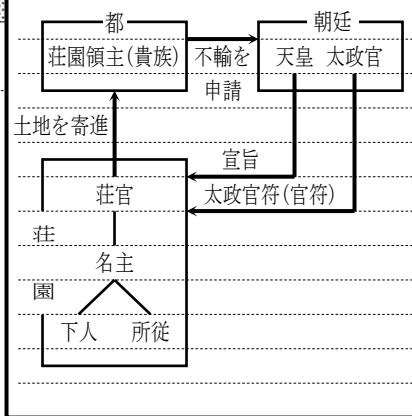
図解NOTE③ [_____ (荘園と公領からなる土地領有体制)]



[A] 院政の開始 (嫡子・嫡孫を天皇とし、天皇家の家長として天皇を後見し、実権を掌握する政治形態)

政治	
年	(従来の荘園整理令は国司に委ねられ、不徹底に終わっていた)
1068 年	天皇 (摂関家を外戚としない) が即位 (登用 =)
↓	→ は宇治に引退 (→ 関白に弟の が就任するも実権はなし)
年	(国衙領(公領)を回復させて国家財政の再建をめざす)
↓	→ () を設置
天皇	荘園領主と国司が共に提出した (証拠文書) を (審査職員) が審理にあたる
	① 年 (年) 以降の新立荘園の禁止
	② 1045 年以前でも券契が不明な荘園や国衙の妨げになる荘園は券契があっても停止
	★ 摂関家の荘園も整理の対象 ex. の荘園も 九所中 九所停止
1072 年	(柁の大きさを公的に統一する→畿内を中心に全国的に使用される)

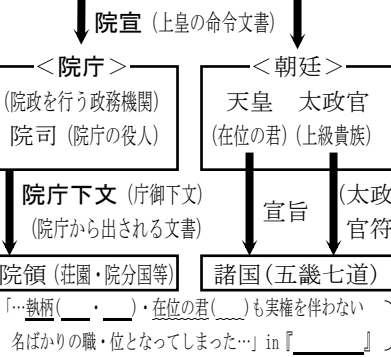
図解 NOTE ① [記録所]



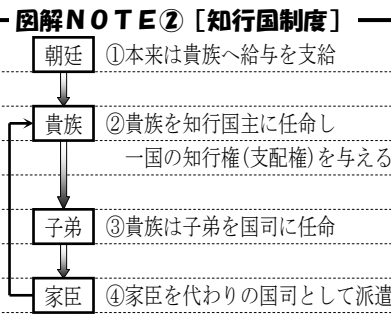
1072 年	天皇が即位 (後三条天皇の譲位後も天皇親政を継続)
↓	天皇に譲位して 上皇が を開始 in 『 』 ()
上皇	= 上皇・法皇が院庁において嫡子・嫡孫の天皇を後見し、実権を掌握する政治形態
	★ 院・院庁は律令に規定されていない存在で、律令制にとらわれない自由な政治

< 院 (治天の君と呼ばれる上皇・法皇) >
(天皇を後見しながら人事権など国政の実権を掌握)
院の近臣 (院の側近→受領層の中下級貴族が多い)
北面の武士 (院の警護・強訴の防衛にあたる武士)

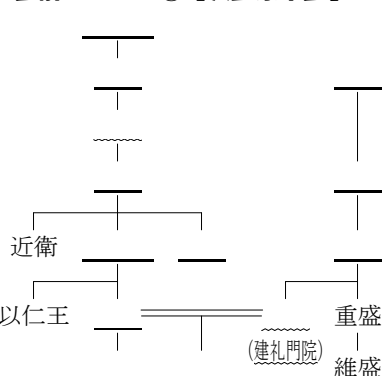
上皇 (法皇)	① 売位・売官 (朝廷に財物を納めた者に位階・官職を与える)
↓	② 皇室領荘園群 (院 (上皇・法皇) 支配下の寄進地系荘園) の増加
院の経済的盤	鳥羽上皇による荘園整理政策の緩和を背景に院 (上皇・法皇) への荘園の寄進が増加
	(上皇が皇女の八条院嬢子に伝えた約 220 カ所に及ぶ荘園群)
	(法皇が持仏堂である長講堂に寄進した約 90 カ所に及ぶ荘園群)
	※ 制度 (貴族への給与の有名無実化が背景)
	↓ 上級貴族・寺社を として一国の支配権を与え、その国からの収益を得させる制度
	③ (院 (上皇・法皇)・女院が所有する知行国→院司を任国に派遣して院庁に納税させる)
	④ (一国内の荘園・公領を問わずに課税された臨時雑役→院政期から開始?)
	国衙が作成する (一国ごとの土地面積を記した土地台帳) をもとに課税



上皇 (法皇)	① 六勝寺の建立など造寺・造仏 (末法思想に基づく浄土信仰の隆盛が背景)
↓	寺 (天皇)・ 寺 (天皇)・最勝寺 (鳥羽天皇)
院による仏教保護	円勝寺 (待賢門院)・成勝寺 (崇徳天皇)・延勝寺 (近衛天皇)
	② 寺社参詣→ (紀伊国の熊野三社・高野山金剛峰寺への参詣)
	③ 南都北嶺の による (集団武装して要求を主張)
	南都 = 寺 () 神社の神木をもちい強訴
	北嶺 = 寺 () 神社の神輿をもちい強訴
	★ 天下三不如意 (法皇の意の儘にならない賀茂川の水・双六の賽・ in 『 』)
武力	※ (院御所の警護にあたる) → 武士の中央政界進出の足場となる



図解 NOTE ③ [天皇家系図]



年	法皇の死去 (白河法皇死後から崇徳・近衛・後白河 3 代にわたる院政を続ける)
↓	年 (皇位継承をめぐる天皇家と、摂関の地位をめぐる藤原氏の対立が背景)
天皇 (上皇・法皇)	★ 軍事衝突化し、保元の乱以後は武士が台頭する「 世」となる in 『 』 ()
	天皇 (弟) VS 上皇 (兄)
	(兄) (弟)
	(子・兄) (父)・ (弟) (鎮西八郎)
	(甥) (叔父) in 『 』
年	(と が 上皇の御所である を襲撃)
	★ () を殺害し、後白河上皇を幽閉するが の反撃を受け敗れる
	VS
	() (院の近臣)

〔B〕平氏政権（律令制に基づいた貴族的性格をもつ一方、西国武士の家人化や日宋貿易など武家的性格を合わせもつ過渡的政権）

平氏政権（六波羅政権）

年 _____（六波羅殿）が _____ に就任

★平氏一門で官職を独占（→旧勢力からの反発を受ける）

ex. _____「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」 in 『 _____ 』

年 _____（後白河法皇らによる平氏打倒計画が漏洩）

→ _____（共に処刑）・ _____（喜界島へ配流）を処罰

年 _____法皇を _____ に幽閉（→のち平清盛による専制政治へ）

★『 _____ 』（ _____ 法皇が愛好した _____ 流行歌謡）を集成（1180 頃）

1180 年 _____ 天皇が譲位 → _____ 天皇（高倉天皇と _____ の子）が即位

〔経済基盤〕

① _____ 国 の 知行国 ・ _____ ケ 所 の 荘園

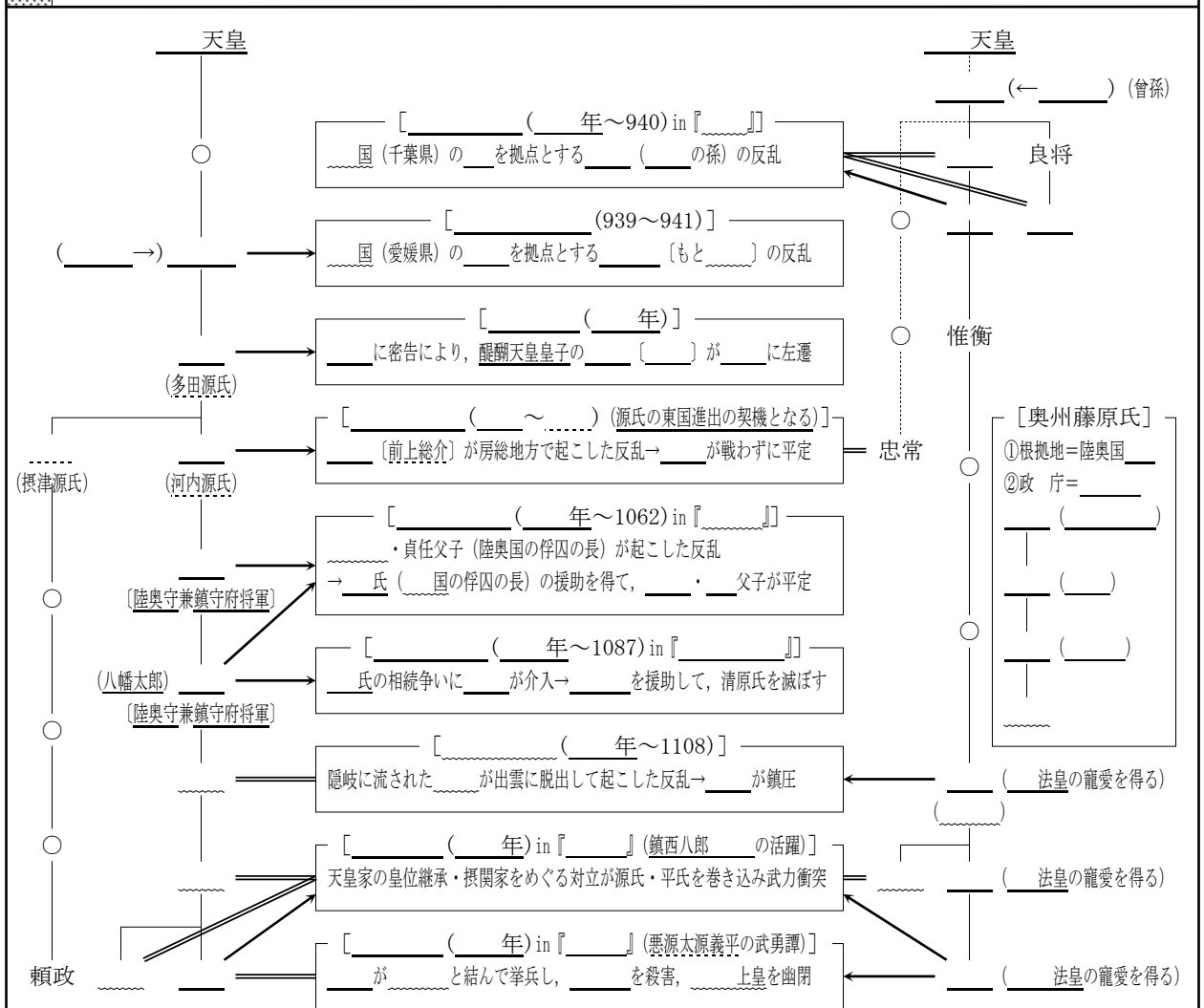
西国の武士と主従関係を結んで平氏の _____ 化し、 _____ に任命

② _____（正式な国交はなく民間商船の往来による私貿易）

輸出 = _____ ⇄ 輸入 = _____（陶磁器・書籍など）

→ _____（ _____ 国）修築（のち _____ と改称 → 現在の _____）

→ _____（ _____ 国）開削（ _____ 国の _____ 参詣のため）



図解NOTE〔武士団の形成(10世紀・11世紀)〕

10世紀

①律令体制の変質（国司の権限強化→国司の課税率に不満をもつ有力農民が増加）

↓ → 地方政治の混乱（収納をめぐる、地方豪族・有力農民と国司の対立が激化）

②各地で紛争が発生（地方豪族・有力農民が勢力を維持・拡大するため武装化）

↓ → 地方豪族が「兵の家」（地方武士団＝小武士団）を形成

③紛争解決・鎮圧のため、国司は地方豪族を国衙に組織

→ _____（諸国の反乱鎮圧や盗賊などの逮捕にあたる国司支配下の武士）

11世紀

④荘園・公領間の紛争が激化（荘園の増加によって荘園領主・国司が対立）

⑤中央から軍事貴族を追討使として派遣（紛争解決・沈静化のため）

↓ → 軍事貴族が土着（地方武士団(小武士団)と主従的関係を結んで大武士団を形成）

⑥武家の _____ となる ex. 桓武平氏・清和源氏

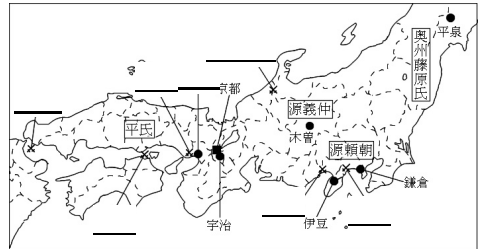
兵（首長）

一族

従者

[A] _____ (源平合戦)

源氏の動向		平氏の動向
天皇	_____年 _____ (後白河法皇皇子) の _____ (天皇以外の皇族からの命令) → _____ の挙兵 (_____ の平等院付近で敗死) _____年 _____ の挙兵 (北条時政の援助により _____ で挙兵) _____ の戦い (敗北) → _____ の戦い (_____ を破る) _____ (御家人統率機関) 設置 (_____ 年) ★ _____ (侍所 _____)	→ 1180 年 _____ (_____ 国) 遷都 _____ 半年後に平安京に戻す → _____ の南都焼き討ち 1181 年 平清盛死去 1181 年 ~ _____ の飢饉 (西国中心)
	_____年 _____ [_____ (木曾で挙兵)] 1180 年 _____ が挙兵 (木曾) 1183 年 _____ の戦い _____ を破る 1183 年 義仲入京 (義仲軍乱行) 翌年 _____ となる	→ 1183 年 平家都落ち _____ 天皇も都落ち
安徳天皇・ 天皇並立 (実権は後白河法皇)	_____年 _____ 頼朝が _____ 道・ _____ 道・ _____ 道の支配権を朝廷に要求 → 朝廷が頼朝の東国 (_____ 道・ _____ 道) 支配権を承認 _____ (一般政務機関) 設置 (_____ 年) ★ _____ [公文所 _____] _____ (訴訟処理機関) 設置 (_____ 年) ★ _____ [問注所 _____] 1184 年 _____ (頼朝の弟) を派遣 宇治川の戦い (山城国で義仲敗死) → _____ の戦い (_____ 国) → _____ の戦い (_____ 国) _____年 _____ の戦い (_____ 国) (平家滅亡) → _____ 設置 (1185) のち、後白河法皇が頼朝追討を義経に命じるが失敗 → 逆に義経追討の院宣を発す _____ ・ _____ 設置 (_____ 年) _____ の建議で _____ 追討の名目で設置 → _____ を朝廷に派遣 _____年 奥州平定 (_____ を滅ぼす) → _____ 設置 (_____ 年) _____年 頼朝が初の上洛 → 頼朝が _____ (右大将) に就任 _____年 _____ 没後 → 頼朝が _____ に就任 1195 年 東大寺大仏再建供養 (_____ による (宋の工人) の協力)	



将軍	_____ (_____ 年) 御家人の統率 _____ = _____
	_____ (_____ 年) 一般政務 _____ = _____
[_____] (朝廷の重要政務)	→ _____ (1191)
	_____ (_____ 年) 訴訟・裁判 _____ = _____
[_____] (_____)	_____ (1225) _____ (1249)
	_____ (_____ 年)
『 _____ 』	_____ (1185) → _____ (1221)
	_____ (1185) → _____ (1293)
	_____ (_____ 年)

— [経済基盤 (幕府は経済的には貴族的な側面を持っていた)] —

- ① _____ (平家没官領など将軍が所有する荘園)
- ② _____ (将軍の知行国)
- ③ _____ (幕府が御家人に課す臨時的公共事業費)

_____ (各国の有力御家人を任命) ★初期は _____ と呼ばれた

任務 = _____ (_____)

給与 = 段 (反) 別 _____ 升の _____ (1185)

_____ (幕府と主従関係を結んだ御家人) ★初期は _____ と呼ばれた

任務 = _____ や _____ (_____) を管理

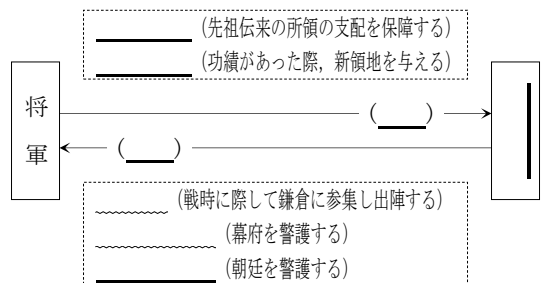
→ 年貢徴収・納入と治安維持

図解NOTE① [公武二元支配]



★ _____ ... 地頭は国司(朝廷)や荘園領主に年貢などを納める一方、幕府と主従関係を結ぶことで公武の二元的支配を受けるようになった。

図解NOTE② [_____ (土地給与を通じた主従関係)]



- 123 -

[A] 執権政治

政 治 ・ 争 乱

年 _____ (執権の補佐→叔父の _____ を任命) } 執権・連署・評定衆による合議制
 年 _____ (重要政務や裁判の評議・裁定) } → _____ (幕府の最高決裁会議)
 1226 年 _____ () 将軍 _____ [関白] の子の _____ が 4 代将軍に就任
 年 _____ () = カ条

趣旨=①右大将家 () 以来の _____ ・武家社会の _____ (慣習) に基づく 日本最初の武家法

②武家社会 (御家人) にのみ適用

→公領 (朝廷の支配下) では _____ ・荘園 (荘園領主の支配下) では _____ が効用

③追加法は _____ (御成敗式目制定後に必要に応じて発布された武家法の法令)

★北条泰時が弟の _____ [六波羅探題] に消息文を送る (in 『 _____ 』)

内容=①守護の職務を _____ のみに限定 (夜討・強盗・山賊・海賊の取締り権を追加)

②地頭の荘園侵略 (年貢横領) を禁止

③ _____ (土地占有が _____ 年経過するとその所有権を認める)

④女人養子 (実子のいない女子は養子に所領を譲与できる)

⑤ _____ (いったん譲与した所領でも、親は子の不孝な行為で取り戻せる)

1246 年 _____ (謀反事件に関連したとして、北条時頼により _____ が京都に追放される)

年 _____ (有力御家人の _____ を減らす)

年 _____ (評定衆の補佐・裁判の公平・迅速を図る)

1252 年 _____ (_____ に代えて, _____ (_____ 天皇皇子) を将軍に迎える)

_____ [モンゴル帝国 (13 世紀初期に _____ がモンゴル統一)] _____

① _____ →都を _____ (現在の ...) に遷都し, 国号を _____ と称す (_____ 年)

② _____ を服属させる (元への服属を拒否し, _____ (特別編成された精鋭軍団) が抵抗)

③蒙古牒状 (1268) (日本に朝貢を何度も要求するが、時宗は無視&拒否)



年 _____ (_____ ①) (元・ _____ 軍が _____ に上陸)

元軍の集団戦法や「 _____ 」などの火器に苦戦→暴風雨(?)のため退却

_____ [対岸防備 (蒙古襲来に備える)] _____

① _____ (_____) (博多湾沿岸に築いた防塁) を設置

② _____ (九州地方の御家人に命じた番役) を制度化

③ _____ (中国地方の御家人に命じた番役) を命令

→ _____ (北条氏一族から任命) 設置

1279 年 元が _____ を減ぼす (文永の役後)

年 _____ (_____ ②) (_____ 軍 (元・高麗軍) ・ _____ 軍 (旧南宋軍) が _____ に襲来)

石塁や日本軍の激しい抵抗で上陸を阻まれる→暴風雨にあい壊滅

_____ [元寇の結果 (元寇の結果、北条氏の権力は拡大)] _____

①神国思想 (日本は神が守っているという思想)

② _____ の動員権 (_____ (荘園領主が完全に支配している土地) の動員権を得る)

③北条氏による _____ カ国に及ぶ守護職の独占

④ _____ (博多に設置した九州地域の統治機関) の設置 (1293)

図解 NOTE [地頭の荘園侵略]

①承久の乱後、新補地頭が西国へ進出
→幕府支配の拡大や幕府の地頭任免権を
背景に荘園領主への年貢滞納者が多発

②後白河法皇が守護・地頭の任免権を幕府に
認めているため朝廷は地頭を罷免できない

③地頭と荘園領主などの間で訴訟激増

but _____ ・ _____ は地域によって異なる

④明確な全国的な裁判基準の必要から

_____ (_____) (_____ 年) を制定

★ _____ (1231) による混乱も背景

⑤室町幕府の法令、戦国大名の分国法

江戸幕府の武家諸法度に影響を与える

[_____] (地頭の荘園侵略への解決法①)

荘園領主が荘園の管理を全面的に地頭に委ね、

その代わりに一定額の税の納入を請け負わせる

[_____] (地頭の荘園侵略への解決法②)

荘園領主 (領家) と地頭で

荘園を折半して分割支配

① _____ 中分

→荘園領主と地頭の和解

ex. _____ 国 _____ 荘

② _____ 中分

→幕府が強制的に裁決

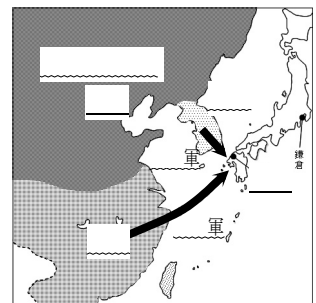
[地頭の非法の例]

_____ 年 _____ 国 _____ 民の訴状

_____ の非道を荘園領主に訴える

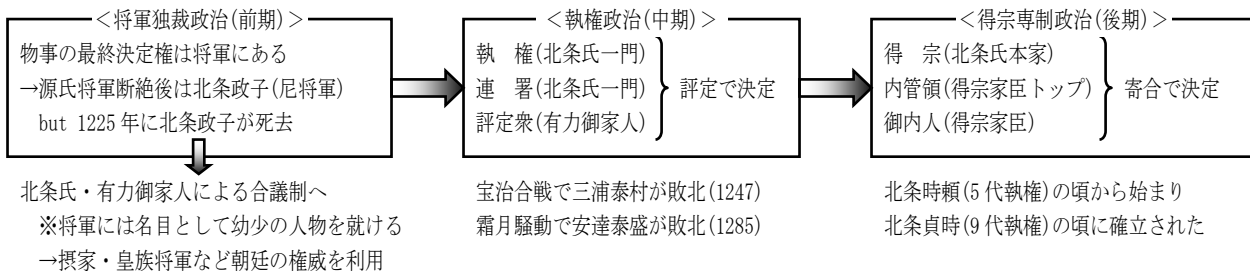


[_____ (_____ 国の御家人)] in 『 _____ 』



[B] 得宗専制政治と鎌倉幕府の滅亡

幕府の動向	朝廷の動向
年 (安達泰盛の乱) (← 年に北条時宗が死去) VS (北条貞時の外戚にあたる有力御家人) → 得宗専制政治 (得宗私邸での政治を決裁) の確立 = (北条氏嫡流の当主) ・ (得宗の家臣) ・ (御内人首座) 1293 年 (が北条貞時に滅ぼされる) [御家人の窮乏] ① 分割相続による所領の細分化 ② 貨幣経済の浸透 (日宋貿易による宋銭の輸入が背景) → 御家人の窮乏 ③ 元寇の恩賞不十分 (所領の質入れ・売却) 年 (北条貞時が発令した最初の徳政令) ① 御家人が既に売却した所領の返還 (1) 御家人から御家人へ所領売却の場合 → → → → 売却後 年未満なら無償返還 (2) 御家人から → → → → 所領売却の場合 → 年限を限らず無償返還 ② 御家人所領の売却・質入れ禁止 ③ (敗訴者の再審請求) の禁止 ④ 金銭訴訟は受理しない	(上皇) (天皇の子) (幕府の要請を受け、補佐機関の を設置して院政を再開 (院政は形式的には江戸時代まで継続)) 天皇 上皇 (を継承) (を継承) [] 大覚寺統と持明院統の両統が交代で皇位につくという幕府の示した原則 幕府に皇位決定権あり → 幕府を巻き込み対立激化
[倒幕の活発化] ① (得宗) ・ (内管領) の専制政治 (無能政治) ② 畿内の (荘園領主・幕府に反抗する地頭や名主) ③ 天皇 (統) の即位 (宋学 (朱子学) の の影響を受ける) → (天皇自らが政治を行うため、上皇 (後醍醐天皇の父) の院政を停止) → 政務機関として を再興 (1321) ↓ (後醍醐天皇による倒幕計画) 年 (後醍醐天皇が ・ らと倒幕を計画するが幕府に露頭) → 日野資朝を佐渡に配流 (後醍醐天皇と日野俊基は処分免除) 年 (再び露頭したため後醍醐天皇は、山に逃れるが、捕えられる) → 後醍醐天皇を → 配流 (→ 幕府は 天皇 (統) を即位させる) [反幕府勢力の挙兵] (国の悪党 → 河内の赤坂城や金剛山の千早城で応戦) (後醍醐天皇の皇子 → 吉野で挙兵し、諸国に令旨を発給) (播磨国の豪族 → 護良親王の令旨に応じて播磨で挙兵) 1333 年 (国の豪族) の援助で後醍醐天皇が隠岐を脱出 ↓ 国船上山で挙兵 → 幕府は足利尊氏を総大将として京都へ派遣するが、尊氏が寝返り 年 鎌倉幕府滅亡 (北条高時が自刃) ★最後の執権は [16代執権] (元弘3年) [有力御家人] → 六波羅探題を攻略 [国の豪族] → 鎌倉を攻略	1317 年 (両統への幕府の提議) ↓ 在位年数10年での皇位交替を決定 1318 年 天皇 (持明院統) が譲位 → 天皇 (統) 即位 [五摂家 (藤原氏分立)] 時政 時房 重時



建武の新政

- 1334 年～ () の復活→幕府・摂関・院政を否定)
- () (天皇の治世) を模範
 - () (天皇の意思を伝える文書) を絶対万能とする
(土地の所有権の確認は論旨が唯一の根拠)
 - 大内裏の造営計画 (造営費のため造幣・新税を計画)
 - () の発行計画 (新貨幣・新紙幣の発行を計画)

[新政の混乱]

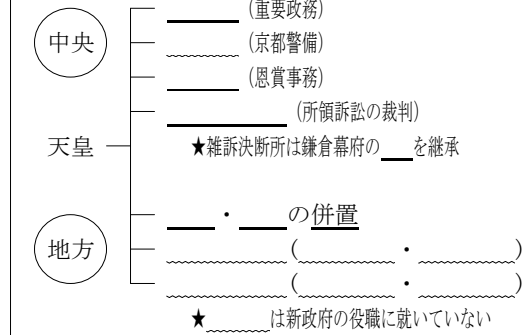
- 武士の不満 (武家社会の慣習を無視 (御成敗式目の () などを否定)
(恩賞の不公平・大内裏造営費として二十分の一税の負担)
- 公家の不満 (公家社会の慣習を否定 (家柄の無視・恣意的な官職の任免))
- 農民の不満 (大内裏の造営計画などにより農民の負担が増大したため)
ex. () 国 () 荘 () () 領) が提出した申状

年 () (新政への風刺) in 『 () 』

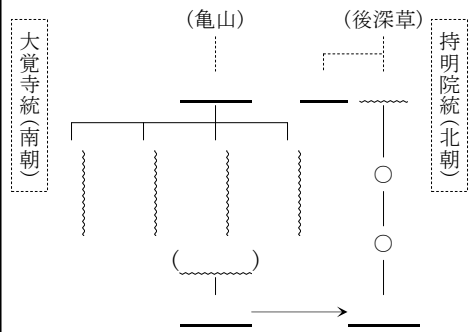
年 () (北条高時の子) が () で挙兵し、鎌倉を一時占拠
鎌倉将軍府が占拠された混乱に乗じて、 () が幽閉中の () 親王を殺害
→足利尊氏が反乱を鎮圧して鎌倉を奪回した後、建武政権に反旗をひるがえす

年 () の戦い (摂津国) () が戦死
→入京した足利尊氏は () 天皇 [() 統] を擁立 (北朝)
→その後、 () 天皇 [() 統] は () へ逃れる (南朝)
★光明天皇に偽の () を譲渡→以後、約 () 年間近く南北朝の動乱が続く

[建武の新政の職制]



図解NOTE [天皇家系図]



南北朝の動乱

[北朝 = () 天皇 [() 統] in 京都(山城国)]
『 () 』 (北朝の正統性を示す)
★作者不詳→尊氏側近の武将によって執筆されたものか?

VS

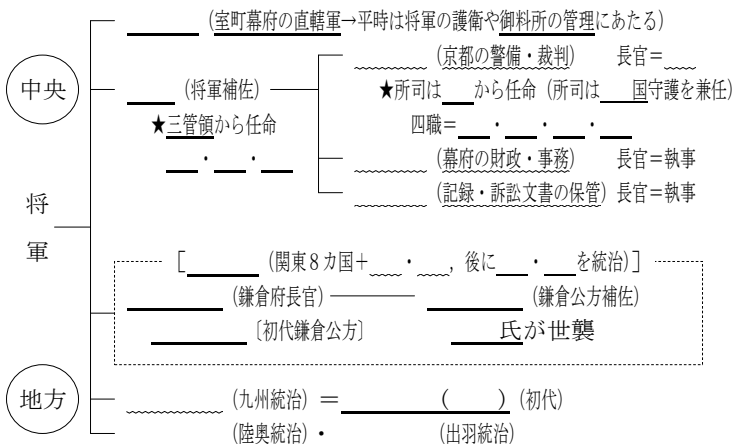
[南朝 = () 天皇 [() 統] in () (大和国)]
『 () 』 (南朝の正統性を示す)
★奥州・東国で南朝勢力の維持・拡充に努める→ () 国の () 城で執筆

年 () が定めた () カ条の当面の政治方針
() の諮問に () らが答申する形式
①幕府の所在地の選定 () におくか () に移すか)
②政道の事 (1) 倭約を行い () (派手な行動) を禁止
(2) 守護には戦功よりも能力を重んじて任命
★基本法令 = () ・追加法令 = ()
年 () が () に就任

1338 年 () の戦い (和泉国) () が戦死
1338 年 () の戦い (越前国) () が戦死
★後醍醐天皇が死去 (1339) → () 天皇 (義良親王) が即位
1348 年 () の戦い (河内国) () が戦死
★北朝側の高師直が吉野を焼き打ち→南朝側は賀名生へ逃れる

室町幕府の機構

(の順に整う)



直轄領	(幕府の直轄する荘園) 年貢・公事・夫役を徴収
商工業者	(土倉から徴収)
政所が徴収	(酒屋から徴収)
庶民	(田地1段ごとに課した臨時税)
守護が徴収	(家屋1棟ごとに課した臨時税)
関・津	(關所での通行税) (港での入港税)
貿易	(日明貿易の際の輸入税として 貿易商から利益の1/10を徴収)
その他	(幕府に納入する債権・債務 額の1/5 or 1/10の手数料)

図解NOTE①【守護大名の成長】

守護大名 (幕政参加のため在京)
→ 複数国の守護を兼任する者も

国 (守護代)

荘園 地頭 国人

他人の稲を刈り取る

公領 地頭 国人

(所領紛争)

図解NOTE②【半済令・守護請】

荘園領主 (貴族・寺社)

② 荘園の経営を一任 = 守護請

④ 一定額の税を納入

半済令

③ 代わりに年貢徴収

守護

国人 荘園

① 年貢滞納

観応の半済令 (1352) … 年貢の半分 (半済) を徴収 (あくまでも米)

応安の半済令 (1368) … 土地そのものの半分を守護の領地とする

→ 半済令と守護請により国内は守護の領国化される (守護領国制)

but 皇室・寺社・摂関家の荘園に介入することは禁じられた

ため (守護使不入), 守護大名は領国の一円知行化はできず

[A] 日明貿易

日 明 貿 易	
日 元 貿 易	— [日 元 貿 易 (元とは正式な国交はなかったが、民間商船の往来による私貿易)] — 1323 年 _____ 沈船 (_____ 再建の費用調達のため派遣→1976年に韓国で沈没船発見) _____ 年 _____ が _____ を元 に派遣 火災により焼失した建長寺修復の費用調達のために派遣 1342 年 _____ が _____ を元 に派遣 (_____ の建議) _____ 天皇の冥福を祈るための天竜寺建立の費用調達の一環として派遣
明 の 建 国	_____ 年 _____ (太祖 _____) が元を倒し明を建国 (首都=のち _____) ① _____ (明と周辺諸国は宗主国と属国の主従関係) の再構築 → 周辺諸国に朝貢貿易をうながす ② _____ (中国民間人の海外渡航や民間貿易を禁じる) → 明の冊封を受けた朝貢国のみ貿易を認める
日 明 貿 易 の 交 渉	1369 年 明が _____ に朝貢と _____ 禁圧を要求 初め拒絶するが、のちに臣従し「日本国王」の称号を与えられる (1371) → 北朝側は九州探題に任命した今川貞世(了俊)を派遣し、大宰府を制圧 (1372) ★ 応永の乱 (1399) で大内義弘が滅ぼされる→ 大内氏から幕府が貿易の実権を掌握 _____ 年 _____ (日本准三后) が明 (_____ → のち永楽帝) に国書を送る 正使 = _____ (義満側近の僧) ・ 副使 = _____ (博多商人) in 『 _____ 』 (_____ が編纂した中国・朝鮮との外交史書) 1402 年 明が「 _____ 」宛の返書・ _____ を義満に送る 1403 年 義満が「 _____ 」と署名して再度国書を明に送る → 明が _____ を交付 (1403) _____ [日明貿易 (_____)] — ① 明皇帝が交付する _____ (倭寇と区別するための渡航証明書) を使用 ② _____ で査証・ _____ で交易する朝貢貿易 (日本国王が明皇帝に朝貢)
日 明 貿 易 の 展 開	_____ 年 勘合貿易開始 = _____ (朝貢形式により明に臣下の礼をとる) _____ 年 勘合貿易中断 = _____ (朝貢形式を屈辱的として拒絶) _____ 年 勘合貿易再開 = _____ (貿易の利益を考慮し再開) → _____ 条約 (_____ 条約) (幕府と明との間で結ばれた条約) 貿易は 10 年に 1 回、船は 3 隻、乗組員は 1 隻 300 人に限定される ★ 応仁の乱後、幕府の権威が失墜するとともに貿易の実権は有力守護大名に移る → _____ 氏 (博多商人との結びつき) VS _____ 氏 (堺商人との結びつき) _____ 年 _____ (_____ と _____ の貿易の主導権をめぐる寧波での衝突) → 乱後は _____ 氏が貿易を独占 (実質最後の遣明使船は 1547 年) _____ 年 大寧寺の変 (_____ が家臣 _____ の謀反で自害→ 大内氏滅亡で日明貿易断絶) 1555 年 厳島の戦い (_____ が _____ を滅ぼす) ★ のち _____ 氏も滅ぼし中国地方を統一
輸 出 入 品	輸出品 = _____ (銅銭の原料) ・ _____ (黒色火薬の原料) ・ _____ 輸入品 = _____ ・ 明銭 (_____ ・ _____ (最も広く流通した銅銭) ・ _____) ★ _____ (生糸は最も利益が多いと説いた天竺人の父と日本人の母をもつ混血の商人)

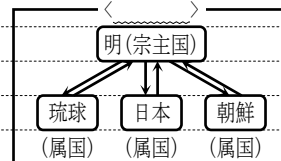
図解 NOTE ① [冊封体制]

元=他民族(モンゴル民族)による国家

明=漢民族(中国の主要民族)による国家

→ 中華思想(中国を中心とする優越思想)を持つ

→ _____ (中国を中心とする国際秩序)を再興



明は朝貢した属国に対して

① 回賜を与える(多くの返礼)

② 冊封を受ける(国王に任命)

_____ (中国・朝鮮沿岸で食糧や人を略奪した海賊)

→ _____ ・ _____ ・ _____ を拠点

前期倭寇=日本人中心

後期倭寇=中国人・日本人・ポルトガル人

→ 倭寇は豊臣秀吉の _____ (_____ 年) で衰退



[_____ の様子 (日本人の格好をした中国人)]

図解 NOTE ② [勘合]

① _____ = 倭寇と区別するための渡航証明書

→ 明の皇帝が日本国王に交付する

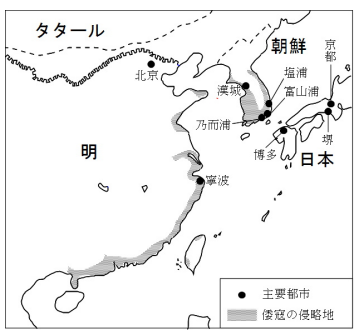
② 日本船(遣明船)は _____ を持参して _____ に入港

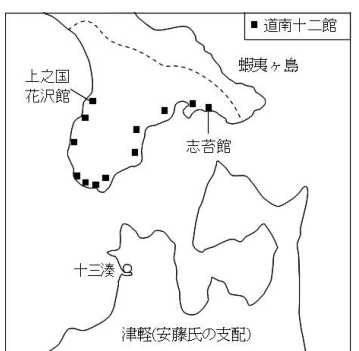
→ 明の所有する _____ と照合して査証を受ける

③ その後、首都の _____ に赴いて交易にあたる

★ _____ もあるが、日字勘合は明から日本に

来航する場合に使用するもので、一度も使用されなかった

	日 朝 貿 易	そ の 他
貿易の開始	_____年 _____が _____を倒し李氏朝鮮を建国(首都=_____) →日本に倭寇禁圧を要求 1404年 日朝貿易開始(_____が応じ、対等な国交が結ばれる) ★日朝貿易は幕府だけでなく西国の守護大名や商人も参加→ _____島主の _____氏に統制させる (1) _____[8代当主]が貿易の統制・倭寇の取締りに尽力するが1418年に死去 (2) 後を継いだ _____[9代当主]が若年であったため統制できず、倭寇の活動が活発化	
貿易の展開	_____年 _____(朝鮮が倭寇の根拠地とみなしていた対馬を襲撃→ _____が応戦) ← 1420年 朝鮮から _____(室町幕府への回礼使→『 _____』を著す) が来日 日朝貿易は一時中断するが、のち宗貞盛[対馬島主]の統制が確立したことで貿易再開(1423) _____年 _____条約(_____)(朝鮮と宗氏との間で結ばれた条約) ①貿易船の数を制限(宗氏の船=年 _____隻・他氏の船=年 1~2隻) ②貿易港を三浦(_____・ _____・ _____)のみに限定 →漢城と三浦にそれぞれ _____(日本人の接待・貿易施設)を設置 ③のち、 _____(朝鮮国王が日本国王などに贈った通交証)を用いた貿易に _____年 _____(三浦に住む日本人が特権縮小に反発し暴動)	
輸出入品	輸出品= _____・ _____・ _____(東南アジア産の染料に使う木) 輸入品= _____・ 高麗版 _____(仏教の経典を集成したもの) ★のち木綿は _____国を中心に国内で栽培されるようになる	

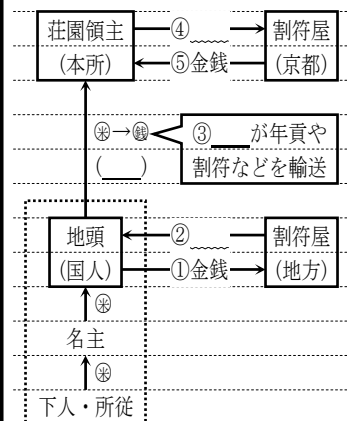
琉球(沖縄)	原始 旧石器時代… _____人(中国南部の _____人と似た特徴をもつ化石人骨) 貝塚時代… _____文化(_____文化)(農耕を行わない狩猟採集文化) 古代 奈良時代… _____が阿児奈波(沖縄)に漂着 in 『 _____』(_____) 中世 グスク時代… _____(各地に割拠した豪族)が _____(城)を建築 三山時代… _____・ _____・ _____の3勢力が対立	
	_____年 _____王の _____が三山を統一(第1尚氏王朝) →琉球王国を建国(王府を _____に置き、首里城を建設→首里城の正門= _____) _____ [_____(中国・朝鮮・日本・東南アジアの輸出入を中継する貿易形態)] _____ _____ (王府首里の外港)が貿易の拠点として繁栄(16世紀後半以降は衰退)	
	1470年 _____(→のち尚円と称す)によるクーデター(第2尚氏王朝) 『 _____』(琉球王府によって編集された琉球の古代歌謡集)の編纂開始	
蝦夷ヶ島(蝦夷)	原始 7世紀以前 _____(農耕を行わない狩猟採集文化で、縄文土器をともなう) ★稲作を行わない理由=寒冷で稲作に適さない・鮭や鱈など魚介類が豊富 古代 7世紀以降 _____(農耕は行わない狩猟採集文化で、擦文土器をともなう) ★ _____(オホーツク海沿岸で、オホーツク式土器をともなう) 中世 14世紀以降 _____南部に _____(_____氏[津軽の豪族]の支配下)進出 ①渡島半島南部に _____(和人の居住地)を建設 → _____(渡島半島南部にあった12の館の総称) ex. _____(珠洲焼・越前焼などの陶磁器や大量の古銭が出土) ②アイヌとの交易(昆布や鮭などの海産物を京都に運送) →拠点となった _____の繁栄	
	_____年 _____の戦い(和人の圧迫に耐えかねたアイヌの大酋長コシヤミンが反発) → _____氏(安藤氏の支配下にあった _____花沢館主)の客将 _____が鎮圧(武田信広が蠣崎氏を継ぐ→江戸時代に _____氏と改称)	

	鎌倉時代	室町時代
栽培	(米→ <u>畿内・西日本に普及</u>)	(米→麦 [<u>東日本(全国的)に普及</u>]) (米→麦→ <u>畿内一部に普及</u>) in『 <u> </u> 』(<u> </u> 〔朝鮮使節〕)
肥料	(草を刈って田に敷き込み腐敗させる) (草木を燃いて灰にする)	(人糞尿)
品種改良	(中国から輸入された <u>多収穫米</u>)	<u> </u> ・ <u> </u> ・ <u> </u> の普及 ★麦などの後作・災害対策として収穫時期をずらす
揚水機		(中国から伝来した揚水機) (川の流れを利用した揚水機)
耕作	(水田耕作で牛・馬に <u> </u> を引かせる) in『 <u> </u> 』 鉄製農具の普及 (鋤師が普及に貢献)	
手工業品の生産	(農具・鍋などの鋳物を作る職人) → (武器・刃物などの打ち物を作る職人) →	(農具・鍋などの鋳物を作る職人) (武器・刃物などの打ち物を作る職人) (大工→2人がかりで大板材を挽く <u> </u> を使用) 鍛冶師 (鍛を作る職人)
商品作物の栽培	(灯油の原料) → (染料の原料) → (和紙の原料) → (葉は蚕の食用) → (縮・晒の原料) →	酒造業=摂津・河内・大和 製陶業=美濃・尾張・ <u> </u> 焼 (近江) 製紙業=杉原紙 (播磨)・美濃紙 (美濃) 絹織物=加賀・丹後・西陣織 (山城) 麻織物=越後縮 (越後) 綿織物= <u> </u> (朝鮮から輸入→ <u> </u> 国で栽培)
	鎌倉時代	室町時代
定期市	(月に3度開催された定期市) ex. <u> </u> 国(<u> </u> 県) <u> </u> 市・ <u> </u> 国 <u> </u> 市 in『 <u> </u> 』(<u> </u>)	(月に6度開催された定期市)
商売	(常設の小売店) → 行商人の出現 →	(<u> </u>) (常設の小売店が一般化) (商品を連雀で背負った行商人) (商品を手秤棒にさげた行商人) (鮎・朝鮮鮎を売り歩く女性の行商人) (炭・薪を売り歩く女性の行商人)
貨幣	宋銭 (日宋貿易で輸入した <u> </u>) → ★鎌倉後期から年貢などの (<u> </u>) 始まる	明銭 (日明貿易で輸入した <u> </u>) ex. <u> </u> ・ <u> </u> (最も流通)・ <u> </u> →貨幣の需要増大により粗悪な <u> </u> の流通
運送業者	(年貢や商品の保管・輸送) → [<u> </u>] 遠隔地間の金銭輸送を <u> </u> という 手形・小切手で代用する方法	(商品の保管・売買にあたる卸売業者) [運送業者 (問屋の統制下)] 陸上= <u> </u> (荷を馬の背に乗せる) <u> </u> (荷を牛馬のひく車に乗せる) 海上= <u> </u> (港を廻って商品を輸送する)
金融業者	(鎌倉期の高利貸) →	(高利貸)・ <u> </u> (土倉を兼ねる酒造業者) ★ <u> </u> ・ <u> </u> (農村で相互に融資しあう金融)
同業組合	(平安末期に生まれ、鎌倉時代に確立) ★ <u> </u> (天皇家に貢納・奉仕する職能民) <u> </u> (神社に雑役を奉仕する下級神職)	(商工業者の同業組合→室町時代に大規模化) → <u> </u> (神社・貴族) による保護 ★ <u> </u> は本所に <u> </u> (納付税) を納める代わりに 関銭の免除や仕入れ・販売の独占の特権を獲得 ex. <u> </u> 座= <u> </u> (本所) <u> </u> 座= <u> </u> (本所) <u> </u> 座= <u> </u> (本所)

図解NOTE① [諸産業]

- ①農業生産力の向上(集約化・多角化)
ex. 二毛作・三毛作・肥料の使用
- ②商品作物(原料作物)の栽培・
手工業品の生産など諸産業の発達
→手工業を専門にする職人の増加
- ③商品経済の発達
ex. 見世棚・定期市・座の発達
- ④中国銭(宋銭・明銭)の流入
- ⑤貨幣経済の浸透
ex. 金融業者・代銭納の開始
- ⑥遠隔地取引の活発化
ex. 行商人・運送業者・為替の使用

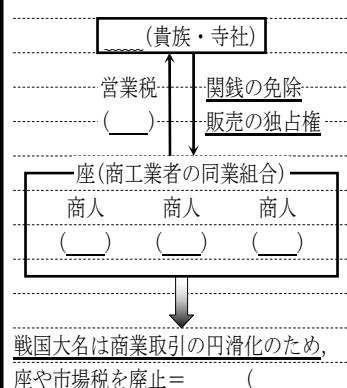
図解NOTE② [為替]



図解NOTE③ [撰銭令]

- ①輸入銭による貨幣経済の浸透
- ②貨幣の需要増大により貨幣不足
- ③取引の際、私鑄銭のような悪銭での受取りを拒否する行為()が多発
- ④幕府や戦国大名が を發布
(1) 極端な悪銭の使用を禁止
(2) 一部の悪銭の使用を認める
(3) 良銭と悪銭の交換比率を定める

図解NOTE④ [座]



[B] 惣村の形成(室町時代)

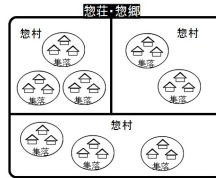
惣村の形成

- ____() (荘園や公領内部に生まれた畿内の農民達が地縁的に結びついた自治的な村)
- ★ ____・____ (荘園・公領内の複数の惣村が広範囲に結びついた大きな共同組織)
- ① ____惣村を構成する村民一同
- ② ____ (____・____)・____惣村の指導者 (主に名主層のもの)
- ★ ____ (____ が ____・下作人から徴収する小作料) を徴収して地主化
→ ____ (大名と主従関係を結び、侍身分を獲得した有力農民) となる者が多い
- ③ ____有力名主を中心とした自治的協議機関
- ④ ____ (____・____)惣村内で守るべき規約
- ★ ____ (山林などの共同利用地)・____ (用水の管理・配分) について定める
- ⑤ ____ (____)村民が警察権を行使 (違反者へ制裁)
- ⑥ ____ (____・____)惣村でまとめて年貢納入を請け負う

〔一揆の形成〕

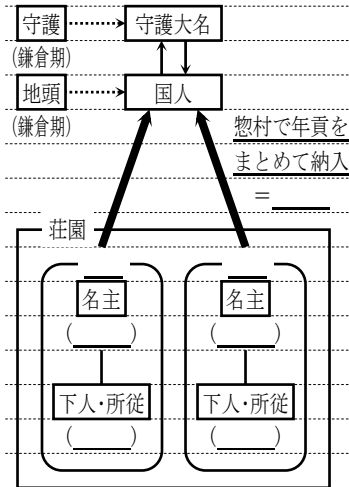
- ① ____ (神社の氏子組織・農民の祭祀集団) を中心に神社に集まる
- ↓
- ____ [____ (一味同心を図るために用いられた作法)]
神仏に誓約した ____ に署名し、それを焼いて水に混ぜ、全員で回し飲む
- ↓
- ② ____ (____ という連帯意識を持った人々の集団) の結成
→ ____ (荘園・公領を単位とする荘園領主に対する一揆)
- (1) ____ (年貢減免などを ____ にして荘園領主に提出)
- (2) ____ (荘園領主に年貢減免などを要求し集団で押しかける)
- (3) ____ (一時的に集団で土地から退去し、山林などに逃げ込む)
- ★ 荘園・公領の枠 (領主の違い) を越えて周辺の惣村が広く結合
- ③ ____ (惣村を基盤に ____・____ など高利貸業者を ____ (一般庶民) が襲撃)
質物や貸借証文を奪い、実力で債務を破棄・売却地を取り戻す (____)
→ のち、債権・債務破棄のため、幕府に徳政令の発布を求める (徳政一揆)
- ★ 背景 = 農村への貨幣経済の浸透 (土倉・酒屋から借金・土地の質入れ)

図解NOTE [惣村]



支配単位である荘園・郷の内部には複数の惣村が存在し、さらに一つの惣村は複数の集落によって構成されていた

- ① 農業生産力の向上 (有力農民・小農民の成長)
- ② 戦乱の多発に対する自衛 (南北朝の動乱など)
- ③ 荘園制の崩壊が進展 (地頭・守護の荘園侵略などが背景)
→ 荘園領主 (貴族・寺社など) の支配が無効化
- ④ 農民が地縁的に結びついた自治的な村 (____)



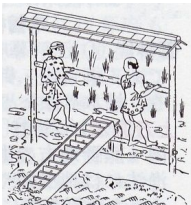
[牛耕(__ を引く牛) in 『 ____ 』]



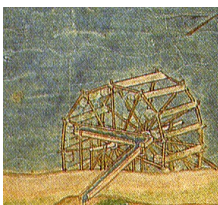
[____・____・鎧師] in 『 ____ 』



[見世棚(店棚)]



[____]



[水車]



[____ in 『 ____ 』]



[____]



[____]



[大原女]



[桂女]



[永楽通宝]



[私鑄銭①]



[私鑄銭②]

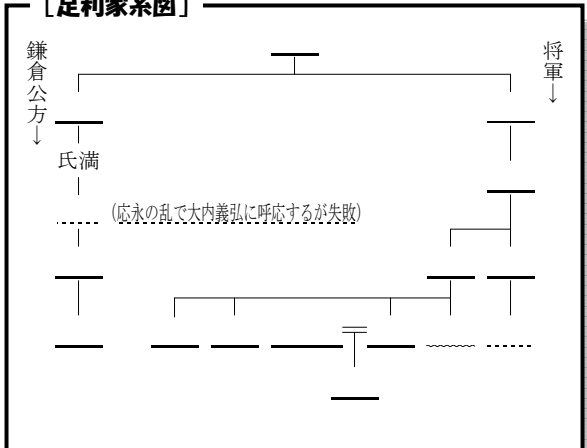


[馬借]



[____]

〔A〕室町幕府の動揺

幕府の動向		土一揆・国一揆・一向一揆														
年 _____ (_____ (前関東管領) の反乱) → _____ [4代鎌倉公方] が鎮圧	年 _____ (足利義持→ _____ の將軍代替わりが契機) _____ の _____ (運送業者) の蜂起を契機に畿内一帯に波及 _____ が _____・ _____・寺院 (_____ の貸付が原因) などをも襲撃 → _____ [管領] が鎮圧 in 『 _____ 』 by _____ (_____ の僧で一条兼良の子) ★徳政令の例 (一揆の勢力が盛んだった地域では例外的に発布) = _____ in _____ 国 (大和国守護= _____)															
年 足利義持の死去 (→次期將軍をくじ引きで決定) → ★嫡子の _____ が早世したため、弟の義円 [_____] が還俗 _____ が就任 (くじ引き將軍・還俗將軍と呼ばれる) →★「万人恐怖」の將軍専制政治 (將軍への権力集中をはかる)	年 _____ (赤松氏の家臣国外追放という政治的要求) → _____ [_____ 国守護] が鎮圧 ① _____ …… _____ (一般庶民) による主に徳政令発布を求めた一揆 ② _____ …… _____ による一揆 (_____ に参加者の皆対等を署名) ③ _____ …… _____ を中心に地侍・ _____ (一般庶民) も参加した一揆 年 _____ (_____ → _____ の將軍代替わりが契機) 「代始めの徳政」を要求→幕府が初めて徳政令を発布 →山城国に一国平均 (のち全国一律) の徳政令が出される															
年 _____ (_____ [4代鎌倉公方] の反乱) → _____ [_____]・幕府軍が鎮圧 (1439) ★上杉憲実= _____ (下野国) を再興 (1439) 年 _____ (下総の _____ が足利持氏の遺児を擁して挙兵) 年 _____ (義教の守護大名抑圧策に対する危機感が背景) → → _____ [_____ 国の守護] が _____ を殺害 → _____ (_____) ら幕府軍が鎮圧	★ _____ (債務・債権額の5分の1or10分の1) を幕府に納入すると 債務者には債務の破棄を認め、債権者には徳政の適用から免除する															
★ _____ の飢饉 (京都で8万人が餓死した最大の飢饉) (1459~60) 年~ _____ (_____ 年まで _____ 年間続く) in 『 _____ 』 將軍家の継嗣問題と管領家 (_____ 氏・ _____ 氏) の家督争いに、 _____・ _____ がそれぞれ支援したため対立が激化 <table><tr><th>西軍 (11万人)</th><th></th><th>東軍 (16万人)</th></tr><tr><td>_____ (_____)</td><td>総大将</td><td>_____ (義政の弟)</td></tr><tr><td>_____ (義政の子)</td><td>足利家</td><td>_____ (持国の養子)</td></tr><tr><td>_____ (持国の子)</td><td>畠山家</td><td>_____ (義健の養子)</td></tr><tr><td>_____ (義健の養子)</td><td>斯波家</td><td></td></tr></table>  (_____ (軽装の雑兵) in 『 _____ 』) ★ _____ 「 _____ は超過した悪党」 in 『 _____ 』 (_____ への意見書)	西軍 (11万人)		東軍 (16万人)	_____ (_____)	総大将	_____ (義政の弟)	_____ (義政の子)	足利家	_____ (持国の養子)	_____ (持国の子)	畠山家	_____ (義健の養子)	_____ (義健の養子)	斯波家		〔足利家系図〕  鎌倉公方 ↓ 氏満 (応永の乱で大内義弘に呼応するが失敗) 將軍 ↓
西軍 (11万人)		東軍 (16万人)														
_____ (_____)	総大将	_____ (義政の弟)														
_____ (義政の子)	足利家	_____ (持国の養子)														
_____ (持国の子)	畠山家	_____ (義健の養子)														
_____ (義健の養子)	斯波家															
年 和議成立 (山名持豊・細川勝元の死去(1473)が背景) → 影響=①京都の荒廃→文化人の地方移住 (文化の地方伝播) ↓ ex. _____ 「小京都」と呼ばれた大内義隆の城下町) ②荘園制の解体が進展 (公家勢力の権威が失墜) ③將軍の権威の失墜・守護大名の勢力衰退 ↓ →守護在京制による幕府の政治体制が崩壊 ④ _____・ _____ に領国の実権が移る (_____ の風潮)	年 _____ (南山城の国人・土民を中心とする一揆) _____ 後も対立を続けた _____・ _____ 軍を国外に退去させる →寺社本所領の還付・ _____ の撤去・ _____ を _____ の寄合で制定 ★36人の _____ が _____ 年間の自治 (1493年に内部対立で解体) in 『 _____ 』 by _____ ら (_____ の僧で一条兼良の子) 年 _____ (加賀国の浄土真宗門徒による一揆) 守護の _____ を滅ぼす→名目上の守護に _____ をたてる ★「百姓の持ちたる国」(百姓が約 _____ 年間の自治)															
1493年 _____ (_____ [管領] が _____ (_____) を廃して _____ (堀越公方政知の子) を將軍に擁立)	④ _____ …… _____ 宗 (_____ 宗) の信者による一揆 (本願寺派中心) ⑤ _____ …… _____ 宗 (_____ 宗) の信者による一揆 (京都の _____ 中心)															

[B] 戦国時代

図解NOTE① [戦国大名の分国支配]

① 応仁の乱後に守護大名の多くは没落

↓ ★例外= 氏・氏・氏・氏・氏・氏・氏

② 〃の台頭 (守護大名から転身した場合もある)

→ 〃へ成長 (実力で領国支配を強化し、領国の一円支配を確立)

氏〔守護〕の領国 → 越前= 氏・尾張= 氏

氏〔守護〕の領国 → 北近江= 氏・出雲= 氏

〔 〃 (下の者が上の者をしのぐ風潮) の世 〕

頼芸〔守護〕 → 〃 (土岐氏家臣) → 斎藤義龍 (道三の嫡子)

〃〔守護〕 → 〃 (大内氏家臣) → 〃 (安芸の国人)

〃〔管領〕 → 〃 (細川氏家臣) → 〃 (三好氏家臣)

③ 〃の形成 (国人・地侍を家臣団に組み入れる)

→ 〃 (上級家臣を寄親・下級家臣を寄子とする仮の親子関係)

④ 〃 (家臣の収入額を錢に換算して把握→戦国大名の軍役賦課の基準となる)

家臣の所領支配を保障する代わりに、貫高に見合った軍役を家臣に負担させる

⑤ 〃 (家臣・農民に面積・収入額を自己申告させ、検地帳に登録する)

⑥ 〃・家訓 (分国支配の基本法) の規定

(1) 〃 (家臣間の私闘を禁止し、大名が全て裁判する)

(2) 私婚の禁止 (家臣の婚姻は大名の許可制)

(3) 〃 (犯罪者の親族や関係者の連帯処罰)

(4) 家臣の城下町集住 ex. 〃氏の

⑦ 〃 (大名の居城を中心に発達した町) の発展

(1) 〃 (商品取引の円滑化をはかるため 〃を廃止)

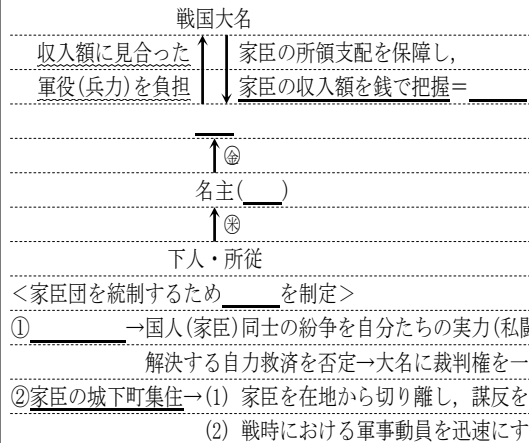
(2) 撤廃 (通行料として関銭を徴収するために置かれた関所を廃止)

(3) 〃制度 (城下町と支城を結ぶ主要な街道に宿駅・伝馬を設ける)

↓ (城下町の形成)

〃 (北条氏)・〃 (上杉氏)・〃 (朝倉氏)・〃 (大内氏)

〃 (武田氏)・〃 (今川氏)・〃 (大友氏)・〃 (島津氏)



分 国 法	氏(陸奥) 『 〃 』 (〃)
	★分国法中最大の条数(171カ条)・『御成敗式目』の影響が大きい
	氏(下総) 『 〃 (〃) 』 (結城政勝)
	氏(甲斐) 『 〃 (〃) 』 (〃)
	★ 〃 (信玄が釜無川と御勅使川の合流点に築いた堤防)
家 訓	氏(駿河) 『 〃 』 (〃)
	★ 〃 の『 〃 』と、 〃 の『 〃 』から成る
	氏(南近江) 『 〃 (〃) 』 (六角義治)
	氏(阿波) 『 〃 』
	氏(土佐) 『 〃 (〃) 』
家 訓	氏(周防) 『 〃 (〃) 』
	氏(肥後) 『 〃 (〃) 』
	氏(伊豆) 『 〃 』 (〃)
	★子の 〃・孫の 〃の代には関東の大半を支配
	氏(越前) 『 〃 (〃) 』
家 訓	★分国法中最も条数が少ない(17カ条)

図解NOTE② [関東の争乱]

<鎌倉公方の分裂>

① 永享の乱後、関東管領の上杉氏が鎌倉府の実権を握る

→ 〃 (〃 年) (〃 [5代鎌倉公方] が 〃 [関東管領] を殺害

② 〃 [8代将軍] は兄弟の 〃 を関東へ派遣

★成氏は対抗するため下総の古河へ入る⇒政知は関東に入れず伊豆の堀越にとどまる

③ 鎌倉公方の分裂 → 〃 (〃 国) = 〃 (足利持氏の子)

→ 〃 (〃 国) = 〃 (足利義政の兄弟)

④ 関東管領の対立 → 〃 氏・ 〃 氏

<後北条氏の台頭>

① 〃 (〃) (もと 〃 氏家臣→のち 〃 と名乗る = 〃 の祖)

の 〃 (政知の子) を滅ぼして 〃 を奪取

→ のち相模を制圧して、 〃 (相模国) を本拠とする

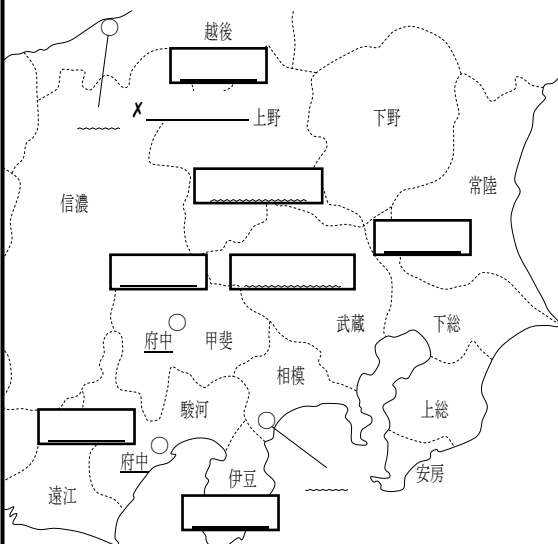
② 〃 (早雲の子→初めて北条氏を称する)

③ 〃 (氏綱の子→北条氏の全盛期を築く)

〃 氏・ 〃 を滅ぼし、 〃 氏も圧迫

→ 山内上杉憲政は越後の 〃 (のち 〃) を頼る

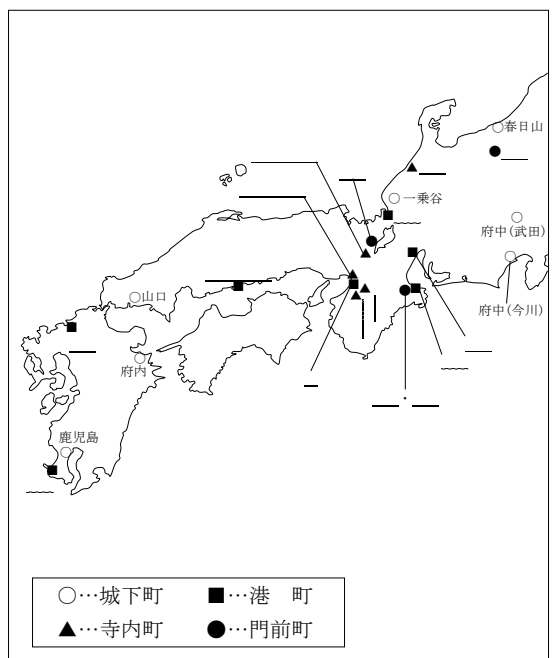
④ 〃 (氏康の子→1590年に豊田秀吉に滅ぼされる = 〃)



〔A〕ヨーロッパ人の来航

南 蛮 貿 易	キ リ ス ト 教 の 伝 来
_____〔_____ (15~17世紀前半) _____ _____ (イタリア人) ……西インド諸島 (アメリカ大陸) を発見 _____ (ポルトガル人) ……喜望峯廻りのインド航路を発見 _____ (ポルトガル人) ……太平洋を航行し世界周航 ↓ (のち、以下の都市を東方貿易の貿易拠点とする) _____ = _____ (インド) ・ _____ (中国) _____ (_____) = _____ (フィリピン) 年 _____ 人 を乗せた中国船が _____ (_____ 国) 漂着 → _____ (島主) が鉄砲を2挺購入 (鉄砲伝来) ↓ in 『 _____ 』 (_____) _____ [鉄砲伝来による変化] ①鉄砲の国内生産 (国産化) _____ (和泉) ・ _____ ・ _____ (紀伊) ・ _____ (近江) ②戦術の変化 騎馬戦 → _____ による集団戦法 ③築城法の変化 _____ (山) → _____ (丘) → _____ (平野) 年 _____ (_____) 人 が _____ (肥前国) に来航 〔 _____ 貿易 (ポルトガル人・イスパニア人との貿易→ポルトガル有利) 〕 ①主要貿易港 (各大名の城下町) _____ ・ _____ ・ _____ (島津氏) (松浦氏) (大村氏) (太友氏) ②輸出入品 (日本と中国・南方との中継貿易の形態をとる) 輸出品 = _____ ・ _____ ・ _____ 輸入品 = 中国産 _____ ・ _____ ・ _____ (原料は硝石) ★鉄砲は国産化されたが、硝石の国内採取は不可能なため輸入に依存	_____ 年 _____ が _____ (_____ の城下町) に到着 ★ザビエル (スペイン人) は _____ (_____) の宣教師 → _____ (肥前・周防) ・ _____ (豊後) の保護を得て布教 _____ [ザビエル後の宣教師] _____ の状況を『 _____ 』で本国に報告 _____ 『 _____ 』 (イエズス会の活動歴史書) を著す _____ 京都に _____ (キリスト教の教会堂) を建立 _____ 安土にセミナリオ (神学校) を設立 _____ 天正遣欧使節を勧め、活字印刷機の輸入に尽力 _____ → _____ (_____) (_____ による出版物) _____ (神学校) ・ _____ (宣教師養成施設) の設立を指令 _____ [_____ (キリスト教に入信し洗礼を受けた大名) _____ _____ (洗礼名=フランシスコ) _____ (洗礼名=バルトロメオ) → _____ を _____ に寄進 (1580) _____ (洗礼名=ジョン=プロタジオ) ↓ ★その他の大名 = _____ ・ _____ ・ 細川忠興 ・ _____ _____ 年 _____ (_____ の勧めで3大名が派遣) 正使 = _____ ・ _____ 副使 = _____ ・ _____ ★ローマ教皇 _____ に会い、 _____ 年に帰国 ★博多商人の _____ (神屋宗湛の曾祖父) が朝鮮から伝えた「 _____ 」 という金・銀の精錬技術により、 _____ 国の _____ 銀山・ _____ 国の _____ 銀山や、 _____ 国・ _____ 国の金山など、戦国時代から特に銀の採掘量が飛躍的に高まる

港 町 陸海交通の要地・ 貿易や商業地に発達 ↓	_____ (越前) = 古代に _____ が置かれていた _____ (伊勢) = 伊勢神宮の外港として栄える _____ (伊勢) = 伊勢湾に位置する水陸交通の要地 _____ (京都) = 西国から送られる京都の外港として栄える _____ (摂津) = 日宋貿易の拠点となった大輪泊が改称 ex. _____ (1445年の一年間に _____ 隻以上が入港) _____ (薩摩) = 対明・対琉球貿易の拠点として栄える _____ (備後) = 江戸時代に芦田川の洪水で水没する _____ (和泉) = _____ (_____ 人の豪商) _____ (筑前) = _____ (_____ 人の豪商) _____ (山城) = _____ (富裕な商工業者→ _____ を中心に運営) 応仁の乱後に _____ を再興 (日蓮宗信者が多く、 _____ の主体) ★その他の自由都市 = _____ (伊勢) ・ _____ (伊勢) ・ _____ (摂津) _____ (越前) _____ (山城) _____ (摂津) ・ _____ (河内) ・ _____ (大和) _____ = _____ (近江) _____ = _____ (信濃) _____ = _____ (伊勢)
自由 (自治) 都市 商人たちの自治に よって運営された町	
浄土真宗・日蓮宗の 寺院や道場に発達	
浄土真宗以外の一般 寺社の門前に発達	



[B] _____ (国「もと _____ 氏の領国」の戦国大名で、1551年に父 _____ の跡を継ぐ)

安土・桃山時代② [織豊政権(織田信長)]

統 一 事 業		政策(農業・経済・宗教政策)
信 長 台 頭	1559年 尾張統一(織田氏本家を滅ぼし、 _____ 城を本拠とする) _____ 年の _____ の戦い(_____ (駿河・遠江の守護)を破る)	_____ [農業・商業政策] ① _____ (家臣・農民に面積・収入額を自己申告させる) ② _____ (_____) (座を廃止し自由な商取引を保証) → ex. _____ 国 (1567)・ _____ 城下町(_____ 年) ③ _____ の撤廃・街道の整備(軍勢派遣の迅速化など) ④ _____ に _____ (軍用金) _____ 貫文を要求(1568) 会合衆は当初拒否したが、翌年屈服して <u>信長の直轄地</u> となる
	1562年 清洲同盟(三河国の松平元康(→のちの _____)と同盟)	
	1567年 美濃攻略(_____ の孫の龍興を滅ぼし、 _____ 城を _____ 城に改称) →「 _____ 」の印判を使用(現在の定説では天下=畿内)	
	1568年 _____ (13代将軍 _____ の弟)を奉じ入京 ★永禄の変(1565)で _____ [13代将軍]が _____ らに殺害され、 従兄弟の足利義栄[14代将軍]が新将軍に擁立されていたため	
信 長 包 囲 網	1568年 足利義昭が15代将軍(室町幕府最後の将軍)に就任 → 1569年 _____ (『 _____ 』を著した宣教師)と面会 仏教勢力への対抗のため、キリスト教の布教を許可保護	_____ [石山合戦(1570~1580)] 1570年 _____ (_____) (本願寺11世法主)が挙兵 → _____ (_____ 国)を拠点とする ★各地の本願寺門徒に信長打倒・蜂起を命じる 撤文を飛ばし、近畿・北陸地方の _____ が挙兵 1574年 _____ の一向一揆を鎮圧 1575年 _____ の一向一揆を鎮圧 _____ 年 本願寺屈服(正親町天皇の仲裁で顕如が石山退去)
	_____ 年の _____ の戦い(_____ [越前]・ _____ [近江]を破る)	
	_____ 年 比叡山 焼打ち(朝倉・浅井軍の支援を続けたため)	
	1572年 _____ の戦い(上洛をめざす武田信玄が徳川家康を破る)	
全 国 統 一	_____ 年 _____ (15代将軍)を京都から追放(室町幕府滅亡) 将軍が有力大名に呼びかけ信長包囲網の勢力を形成していたため	
	1573年 一乗谷城・小谷城の戦い(朝倉義景・浅井長政を滅ぼす)	
	_____ 年の _____ の戦い(_____ (武田信玄の子)を破る) → 1576年 _____ 城(_____ 国)築城着手(1579年に完成)	
	_____ (3000挺)による一斉射撃で、武田の騎馬隊を撃破	
全 国 統 一	1582年 _____ の戦い(武田勝頼を滅ぼす)	_____ 年 _____ を _____ 城下町に発布 (1) 座の特権を廃止し、座役・諸役・雑税はすべて免除する (2) 往来する商人は、上京下京する者も安土に宿泊すること (3) <u>織田家領国内で徳政を実施しても安土は適用を免除する</u> 1579年 _____ (安土で行われた _____ 僧 VS _____ 僧の宗論)
	_____ 年 _____ (家臣の _____ が謀叛)	
	中国地方の _____ 征討に向かう途中、京都本能寺で襲われ自害	
	★当時、 _____ が _____ 城(_____ 国)を攻撃していた	

[織田信長の統一事業]

- ① 桶狭間の戦い(1560)
- ② 美濃国攻略(1567)
→稲葉山城を岐阜城に改称
- ③ 京都上洛(1568)
→南近江の六角氏を滅ぼす
- ④ 姉川の戦い(1570)
→浅井長政・朝倉義景軍を破る
- ⑤ 比叡山延暦寺焼打ち(1571)
- ⑥ 伊勢長島の一方向一揆(1574)
- ⑦ 長篠の戦い(1575)
- ⑧ 安土城築城(1576)
- ⑨ 石山戦争(1570~80)
- ⑩ 天目山の戦い(1582)

[NOTE]

	統 一 事 業	主 要 政 策
秀吉台頭	_____年 _____の戦い(_____を破る) → _____年~ _____(_____国から開始~1598年の秀吉死去まで) _____年 _____の戦い(_____を破る) → 1583年 _____城の築城着手(_____跡に建築) 1584年 _____の戦い ↓ → _____(信長の次男)・ _____と講和 1585年 _____・ _____の一向一揆鎮圧 小牧・長久手の戦いで徳川家康と結んだため征伐	
全国統一	_____年 _____服従(四国平定) → _____年 _____天皇が秀吉を _____に任命 _____年 _____発布 関白就任により天皇から全国の支配権を委ねられたと称して 全国の戦国大名に停戦を命じ、領国の裁定を秀吉に任せる _____年 _____服従(九州平定) → _____年 _____(宣教師の _____日以内の国外退去を命じる) _____年 _____滅亡(_____) _____年 _____服従(奥州平定) 惣無事令違反を理由に秀吉が20万以上の大軍で征伐 1591年 _____(検地帳)・ _____(国単位の絵図)の徴集 全国の支配者として御前帳・国絵図の提出を諸大名に命じる →全大名の石高が定まり、大名は石高に応じた軍役を奉仕 _____ [検地反対一揆(検地政策に対する一揆)] _____ 1587年 _____の一揆(_____国の国人・地侍層の一揆) 1590年 _____・ _____一揆(_____国の国人・地侍層の一揆)	1586年 _____天皇が秀吉を _____に任命 ★後陽成天皇より「 _____」の姓を賜る(羽柴秀吉→豊臣秀吉) _____が1580年に _____を _____に寄進したことが誘因 _____氏平定後、 _____で発布(→貿易は奨励したので効果なし) ★ _____・ _____(博多商人)に博多復興を命じる _____年 _____(秀吉が _____の北野神社で開催した大茶会) 1588年 _____(京都に新築)に _____天皇を迎えて歓待 朝廷の伝統的権威を利用して、諸大名に天皇と秀吉へ忠誠を誓わせる _____ [_____(武士と百姓の階級分離)] _____ _____年 _____(百姓一揆の防止・ _____をはかる) 京都の _____寺大仏殿建立を名目に、諸国の百姓から武具を徴収 _____年 _____(倭寇などの海賊行為を禁止) _____年 _____(武士・百姓・町人などの身分変更を禁止)
朝鮮出兵	_____ [朝鮮出兵(本陣= _____国の _____)] _____ _____年 _____(_____の奮戦) ← _____ → _____(朝鮮水軍)の活躍(_____を考案) ★ _____(明の武將)率いる明の援軍もあり苦戦 →のち、小西行長・ _____による講和交渉開始 _____年 _____(翌年、秀吉死去により撤退) ★朝鮮側ではそれぞれ _____・ _____という [朝鮮出兵の影響] ①朝鮮陶工の強制連行 → _____(_____・薩摩焼・萩焼) ②活字印刷術の伝来 → _____(_____天皇の命で出版)	_____年 _____(朝鮮出兵の兵力・人夫を把握するための戸口調査) ★秀吉は1591年に関白を養子の _____に譲り _____となったため、 人掃令の発布者は豊臣秀次(秀頼誕生後、自害を命じられる) _____ [イスパニア(サンフェリペ号事件により関係断絶)] _____ _____年 _____船 _____号が _____に漂着 → _____(五奉行の一人)を調査奉行として派遣 1596年 _____(_____宣教師らを処刑) イスパニアが領土拡大に宣教師を利用していると聞いたため

[NOTE]

<パテレン追放令(1587)>

①パテレン追放令発布の背景

(1) _____が _____を _____に寄進(1580)

(2) 宣教師が寺院や神社を破壊している

(3) ポルトガル商人が日本人を奴隷として外国人に売買している

② _____(_____(宣教師)の _____日以内の国外退去を命じる)
→「日本は神国でありキリシタンは邪法」と規定し、布教を禁じる

③but 南方との貿易は奨励したため、取り締まりは不徹底に終わる
→南蛮貿易はキリスト教の布教と一体化して行われていたため

<朝鮮出兵>

①明の衰退→日本を中心とする国際秩序の形成をめざす

②明出兵の準備として刀狩令・身分統制令で兵農分離を推進

→武士は出兵用の兵士、農民は兵糧としての米を供給

③ _____のポルトガル政庁・ _____のイスパニア政庁・
台湾の _____に日本への服属を要求するが無視される

④明を征服するために、対馬の _____氏を介して
朝鮮に明への先導(道案内)を求めるが拒否される

[B] 太閤検地

1582 年～ (年 の 国 から 1598 年の秀吉死去まで行われた検地)

① 制 (生産量をに換算して表示) → 制 (生産量をに換算して表示)

★太閤検地は「 」と呼ばれる

② 度量衡の統一 (地域ごとに異なる収穫・面積単位を全国的に統一)

(1) 枡の容量の統一 (単位 = 石 ← 斗 ← 升 ← 合)

→ (全国統一の枡) の採用

(2) 面積単位の統一 (単位 = 町 ← 段 ← 畝 ← 歩)

→ 1 間 = 尺 寸 (約 191cm) → 1 間四方 = 1 歩

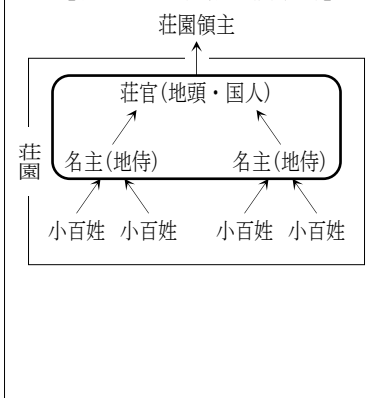
1 段 = 歩 (旧来の律令制度は 1 段 = 歩)

等級 (田を 4 等級に分け)	(斗代) (一段当りの標準収穫量)	田の面積 (段別)	(石盛に面積を乗じた生産高)
上 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
中 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
下 田	石 斗	× 面積 (段)	= 生産高
下々田	斗	× 面積 (段)	= 生産高

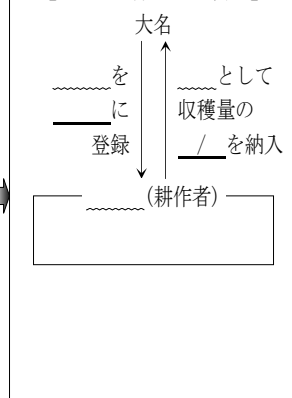
③ の原則 (重層的な権利関係による (中間搾取) の否定 → 荘園の消滅)

に (耕作者) を記録し, 納入の義務を負わせる (税率は 2 公 1 民)

[職の秩序 (重層的な権利関係)]



[一地主一作人の原則]



④ 太閤検地の結果

(1) 検地反対一揆 (の一揆 (1587) ・ 国 の 一揆 (1590) など)

(2) の確立 (大名は領国の石高に見合った軍役を奉仕)

(3) 本百姓体制の確立 (百姓は石高を基準に年貢を納入)

(4) (支配単位としての村の範囲を確定 → 村域を明確にした近世村が成立)

(5) (村の責任で年貢を一括納入 → 惣村の自治を利用して村高 (村の石高) を確定)

図解NOTE [度量衡の統一]

① 地域ごとに異なる枡の容量・面積単位を全国的に統一

② 同じ 1 段 (反) の田畑でも, 田畑の質によって

収穫量は異なるので, 田畑の等級を 4 つに分ける

③ 上田・中田・下田・下々田などの 4 等級に分ける

ex. 上 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

中 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

下 田 = 1 段 (反) につき 石 斗 の収穫

下々田 = 1 段 (反) につき 斗 の収穫

④ この 1 段 (反) から生産される標準収穫量を という

[豊臣政権]

① 直轄領 = (約 万石)

② 直轄都市 = 大坂・堺・長崎・京都・伏見

[豪商の登用]

① ・ ・ (堺商人)

★三宗匠 (茶道における三人の宗匠) と称される

(小西行長の父)・納屋助左衛門

② ・ (博多商人)

③ 直轄鉱山 = (金山)

・ (銀山)

④ 貨幣鑄造 = (が鑄造)

⑤ 政権基盤 (秀吉晩年に制度化)

五大老 (有力大名)

五奉行 (子飼いの大名)

前田利家

毛利輝元

宇喜多秀家

上杉景勝

(小早川隆景の死後)

石田三成

長束正家

前田玄以

増田長盛

[NOTE]

[A] 江戸幕府の成立・大名統制・朝廷統制

江戸幕府の成立		豊臣氏の滅亡	
1590年 関東_____万石に移封(北条氏の滅亡後に関東に移封) → _____城(戦国初期に_____が築城)を拠点とする _____年 _____の戦い(_____国)(天下分け目の戦いと呼ばれる)← [東軍(約10万4000人)] _____ (五大老の筆頭)・福島正則(秀吉子飼いの武断派) 加藤清正(秀吉子飼いの武断派)・小早川秀秋(西軍から寝返り)		1598年 豊臣秀吉の死去(子の豊臣秀頼が跡を継ぐ) 豊臣家臣の対立(武断派は徳川家康への接近をはかる) →文治派(石田三成)VS武断派(福島正則・加藤清正) [西軍(約8万6000人)] _____ (五奉行の一人)・_____ (五大老の一人) _____ (小西隆佐の子)・宇喜多秀家(五大老の一人) VS ↓(関ヶ原の戦い後) _____は一大名に転落(_____・_____・_____の_____万石)	
_____年 後陽成天皇が徳川家康を_____に任命 翌年、全国の諸大名に対し、国単位に_____と_____の作成を命ずる ★ _____(場所を把握する地図)・ _____(石高を把握する検地帳)			
_____年 将軍職を_____ [2代将軍]に譲る 将軍職が徳川氏の世襲制であることを豊臣氏や諸大名に示すため ★家康は_____で_____ (隠退した前将軍のこと)として実権を握る			
1614年 _____ (方広寺鐘銘事件が契機) ← ↓ _____年 _____ (_____・ _____(秀頼の母)自殺→豊臣家滅亡) →以後、「_____」(戦のない平和の時代のこと)の到来		1614年 _____ 鐘銘事件(方広寺は秀吉が創建) 釣鐘の銘文「_____」・「_____」を家康が問題視 ★ _____ (臨濟宗の僧・家康の顧問)・ _____ (天台宗の僧・家康の顧問)が関わる	
大名統制		朝廷統制	
_____年 _____ (大坂夏の陣の直後に発布される) ↓ _____年 _____ (_____令=_____条) 起草者= _____ 制定= _____の命令で諸大名を _____城に集めて、 _____の名で発布 趣旨=大名に対する基本法典(旗本・御家人には諸士法度を定める) 内容=① _____の道(文武)の奨励・②城郭の新築と無断修築の禁止 ③ _____の禁止(大名同士の婚姻は幕府の許可を必要とする) ④大名同士の使役を禁じる・⑤法度違反者の領内隠匿の禁止 ⑥諸大名参勤の作法(参勤交代の制度化ではなく作法について) [大名の処分(武家諸法度違反・世継ぎ断絶などが理由)] ① _____ (領地没収)・② _____ (領地削減)・③ _____ (国替え) ex. _____ (安芸広島城主→城郭修築の項に違反し所領没収) 松平忠輝(越後高田藩主)・松平忠直(越前福井藩主) _____ (宇都宮藩主)・ _____ (肥後熊本城主) ↓ (武家諸法度は7代家継・15代慶喜を除き、将軍の代替わりごとに発せられた)		1611年 徳川家康が _____ 天皇(後陽成皇子)を擁立 _____年 _____ (_____条)(起草者= _____) 趣旨=天皇・公家に対する統制法(朝廷統制の基本法令) 目的=①天皇・朝廷が自ら権力をふるうことを防ぐため ②天皇・朝廷と大名が結びつくことを防ぐため 内容=①天皇の _____ 第一・②公家の席次・③摂関の任免 ④武家官位は公家官位と別にする・⑤元号の制定 ⑥ _____ (高僧に与えられる紫色の衣)勅許の条件 [朝廷の統制] ① _____ (朝廷を監視する役職→初代に板倉勝重を任命) ② _____ (朝幕間の連絡にあたる役職→2名の公家を任命) ③ _____ (天皇領)=1万石(家康)→3万石(綱吉) ④公家領(100家以上)=7万石	
_____年 _____ (_____令=_____条) 起草者= _____ ① _____の制度化(毎年_____月交代で参勤することを義務付ける) 内容=(1) <u>国元と江戸を1年交代で往復・大名妻子の江戸居住を強制</u> (2) 石高に応じた人数を率いて参勤(人数を減らすよう命令) →将軍が課す軍役の一環で主従関係を確認する意味がある 影響=(1) <u>参勤の道中費用と江戸藩邸の滞在費による藩財政の窮乏化</u> (2) <u>交通(街道・宿場など)・江戸など三都の全国市場の発達</u> (3) <u>江戸文化の地方伝播(大名が地方と江戸を往復するため)</u> ★例外…関東の大名=半年交代・水戸藩=江戸定府 対馬の宗氏=3年に1回・蝦夷の松前氏=5年に1回 ② _____石積以上の大船建造禁止 ③私設の _____ (領内の港で物資の移出入を禁止すること)を禁止		1620年 _____ (徳川秀忠の娘)が _____ 天皇に入内 1627年~ _____ (後水尾天皇の紫衣勅許を幕府が無効とする) ↓ → _____ (大徳寺の僧)を _____ 国に配流 1629年 _____ 天皇が _____ 天皇(後水尾皇女)に譲位 ★ _____ (_____上皇が造営した _____の山荘) 1615年、幕府は禁中並公家諸法度第16条で _____ (天皇が高僧に与える紫色の衣)着用の勅許を制限した。しかし、 <u>幕府への許可なく後水尾天皇が紫衣着用の勅許を続けたため、1627年に幕府はこれを無効として紫衣を取り上げ、抗議をした大徳寺の _____を _____ 国に配流した。これにより、天皇の勅許より幕府の法度が優先されることが明示された。</u> その後、これに反発した _____ 天皇は突然譲位を発表し、 _____ 天皇(後水尾天皇と徳川和子の皇女)が即位した。	

[B] 幕藩体制 (幕府と藩による民衆支配体制)

幕 藩 体 制

(石以上の将軍直属の武家 / ～ 家)

(徳川氏一門の大名→要地に配置)

ex. _____ = _____ (_____) ・ _____ (_____) ・ _____ (_____)
_____ = _____ (_____) ・ _____ (宗尹) ・ _____ (重好)

(三河以来の徳川氏家臣で大名に取り立てられた者→要地に配置)

(_____ の戦い以後、徳川氏に臣従した大名→遠方に配置)

[諸大名の負担]

- ①戦時＝ _____ (石高に応じて、一定数の武器・人数を用意する)
 ②平時＝ _____ (城郭・河川工事などの土木事業に動員する _____ など)

(一万石未満の将軍直属の家臣/約22000人)

_____ = _____ 以上 (将軍に謁見できる)

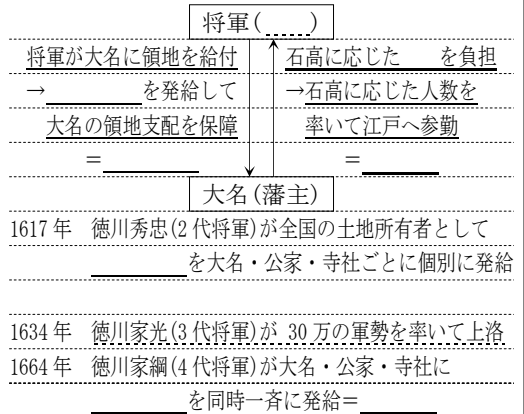
_____ = _____ 以下 (将軍に謁見できない)

★御家人のほとんどは知行地を持たず、将軍から俸禄(蔵米)を支給される

[江戸幕府の経済基盤]

- ① _____ (_____) = 約 _____ 万石 (総石高の約 分の1) ★総石高=約 _____ 万石
 ② _____ = 約 _____ 万石 (天領・旗本領の合計=総石高の約 分の1)
 ③直轄鉱山＝ _____ (金山) ・ _____ (銀山)
 ★ _____ (徳川家康の側近として佐渡金山・石見銀山などの鉱山開発にあたる)
 ④直轄都市＝ _____ (将軍のお膝元=人口15万人→100万人)
 (三都) _____ (天下の台所=人口30万人→40万人)
 _____ (千年の古都=人口40万人→35万人)

図解NOTE① [大名知行制]



図解NOTE② [藩政]

- ① _____ (知行地をもつ知行取)
 大名が家臣に領地(知行地)を与え、その領地支配を認める
 ★一國一城令(1615)により、大名の居城以外は取り壊し
 →支城を破壊したことで家臣の城下町への集住が促進され、大名と対抗しうる有力家臣の弱体化させる効果をもった
- ② _____ (知行地をもたない蔵米取)
 知行地を持たない家臣に俸禄(俸禄米・禄米・蔵米・切米)を支給
 ★家臣は _____ (藩政を統轄) ・ _____ (藩の農政を統轄) ・ _____ (手代・郷目付(郡奉行の配下)などの役職に就く)

→ _____ より任命

(臨時の最高職)

★ _____ の4氏から任命

(政務の総括・常置の最高職)

★初期は _____ という

(老中の補佐・旗本と御家人の統轄)

(寺社の監察)

★ _____ の死により機構化された

(朝廷・西国大名の監察)

★京都町奉行などを統轄

(西国大名の監察)

→ _____ より任命

(幕府の財政・天領の訴訟)

(広域の天領を支配＝ _____)

(その他の天領を支配)

(江戸の行政・司法)

(下級役人) ・ _____ (与力の支配下)

(江戸を離れた幕府直轄地の民政)

(_____ (_____)
〔 奉 行 (_____) 〕)

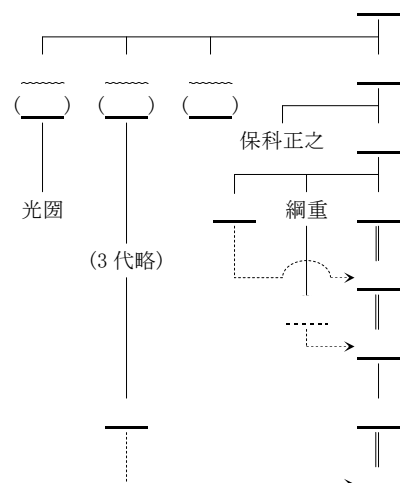
(_____)

(大名の監察)

(旗本・御家人の監察)

将
軍

図解NOTE [将軍家系図]



[職制の特色(職制は _____ の項に整う)]

- ① _____ 制 (要職には複数名を任命し合議)
 ② _____ 制 (複数の担当者が1ヵ月交代で勤務)
 ③ _____ (幕府の最高司法機関)
 _____ (_____) などで構成され、重大事件や管轄のまたがる事項を合議

大名	石高	配置	要職
親藩	多	要地	×
譜代	少	要地	○
外様	多	遠方	×

★幕末になると、親藩・御三家の幕政参加もみられるようになる

農 民 統 制	宗 教 統 制
1641 年～ (干ばつ・冷害・大風雨などによる全国的凶作) 年 (→明治時代の 年に廃止) 本田畑での商品作物 (・ ・ など) の栽培を禁止 年 (→明治時代の 年に廃止) 豪農への土地集中と本百姓の没落防止のために田畑の売買を禁止 年 (農民の日常生活のあり方など 32 か条の心得) 法令遵守・耕作奨励・衣食住の制限など生活細部まで厳しく規制 ★現在は 1649 年の発布や存在自体が疑問視されている 図解 NOTE [貨幣経済の浸透(江戸中期)] ① 農業生産力の向上 (耕地面積の拡大・農業技術の発達が背景) → 商品作物を栽培 (市場などで商品作物を売って貨幣を獲得) ② 農村への貨幣経済(商品経済)の浸透 → 本百姓体制の動揺 (本百姓が豪農・貧農に階層分化) ③ 貧農は田畑を質入れして豪農から借金 → 質入れた田畑 () をとられる = ④ 貧農が本百姓から小作人に転落 or 都市に流入	[禁教政策 (島原の乱を契機にキリスト教弾圧を強化)] ① (キリストやマリアが描かれた) を踏ませる) ② (幕府の宗門改役が行った禁教目的の信仰調査) → () を作成 (戸籍の役制となる) 家族ごとに名・年齢・宗旨 (所属宗派)・檀那寺などを記載 ③ (一般民衆を寺院の檀家になることを強制させる制度) ★キリスト教・日蓮宗 を信仰させないことが目的 → (宗旨手形) を檀那寺が発行 が自分の であることを証明するため発行する文書 (1601 年～ ()) 真言宗・天台宗など各宗派の大寺院ごとに与えられた 寺院・僧侶を統制するための法令の総称(1601～1616) → (中心寺院)・ (一般寺院) の関係を制度化 [寺社(寺院・神社)の統制] ① (寺社を監察する→ の死後に制度化) ② 寺社伝奏 (寺社からの申し立てを武家伝奏に取り次ぐ) ③ 寺 社 領 (寺社領は税免除) = 40 万石 ④ (寺院法度によって一宗派一山と定められる) 宗派ごとの ・ の関係による寺院の寺格制度 ⑤ (明の僧) が を伝える (年) 寺 (宇治の黄檗宗本山)・ 寺 (長崎の黄檗宗寺院)
年 (分割相続による土地の細分化を防止するため) 名主は 石・一般百姓は 石以上の石高を所持していれば 分地 (土地の分割) を認めるが、それ以下の農民の分地は禁止 (年 改正) (徳川家継 [7 代将軍] 時に改正) 分地高・残高ともに石高 石・地面 町以上の所持を必要とする → 石高 石・地面 町以上を所持していなければ分地できない ★分地高 (分け与える土地)・残高 (分け与えた後に残る土地)	年 (各宗派共通の寺院を統制するための法令) 1665 年 (神社・神職を統制するための法令) 家 (吉田神道) が神道の本所として統制 (家は衰退)

[NOTE]

<宗教(仏教・神道・キリスト教)>

① 仏教(外国伝来の世界宗教)………仏(釈迦如来・大日如来・阿弥陀如来など)を信仰し、祀るため寺院を建立

② 神道(日本古来の民族宗教)………日本固有の神々(天照大神・大国主神など)を信仰し、祀るため神社を建立

③ キリスト教・ ……幕府権力よりも宗教を優越するため弾圧

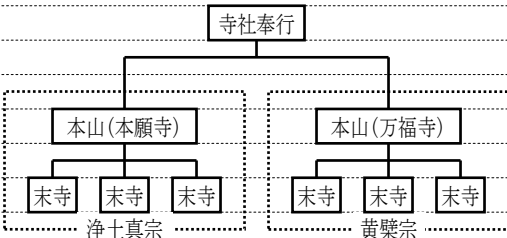
→ (1) キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略を招く恐れがある, (2) 信徒が信仰のために団結する恐れがある

<本末制度>

① 寺院法度(1601～16)…真言宗など宗派ごとに個別に発布

→ 本山・末寺の関係を制度化

② 諸宗寺院法度(1665)…宗派関係なしに全宗派一括で発布



<宗門改・寺請制度>

① 島原の乱(1637～38)を契機に、キリスト教徒の摘発のため、

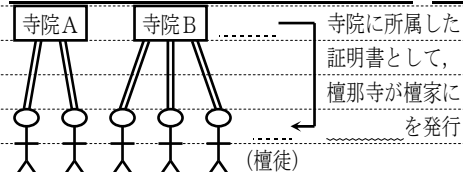
住民の宗旨(信仰する宗派)を宗門改役が定期的に調査 =

→ 家族ごとに名前・年齢・性別・住所・宗旨(信仰する宗派)

などを () に記録して把握

② キリスト教・日蓮宗不受不施派を信仰させないため、

民衆をいずれかの寺院に所属させることを強制 =



【B】身分制度(士農工商)

士	武士＝将軍・大名（一万石以上の将軍直属の武家）・直参（一万石未満の将軍直属の旗本・御家人）・_____（大名・旗本などの家臣） → _____・_____（農工商の者でも苗字・帯刀が特別に認められる場合がある）・_____（農民・町人から非礼を受けた場合は斬殺しても無罪）の特権																					
農	農民（検地による_____を通して支配単位としての村の範囲を確定→幕領では____・____，藩では郡奉行が支配）★全国の村の数＝_____余り →村法（村掟）（入会地・用水の管理など村ごとに定められた法）・_____（村人から徴収された村を運営するための費用） 「_____（村政にあたる村役人）」 _____（村政全般を統轄） ★関西では____・東北では____と呼ぶ _____（名主の補佐役） _____（村民の代表で名主・組頭を監視） 「_____（田畑を持つ）」 検地帳に田畑・屋敷地を登録される高持百姓 →租税負担義務を持ち、村政に参加できる ★有力本百姓の隷属農民＝____・____など 「_____（田畑を持たない）」 村政に参加できず、田畑を持たない無高百姓 →他人の田畑の小作や日雇仕事で生活する 「本百姓の負担（物納が原則だが貨幣納も可能）」 ①_____（田畑・屋敷地にかかる本年貢） ★米穀や貨幣で領主に納めるのが標準 ②_____（山野・河海や副業の収益にかかる雑税） ③_____（村高（村の石高の総計）に応じてかかる付加税） ★高掛三役（伝馬宿入用・六尺給米・蔵前入用） ④_____（土木工事など一国単位で臨時にかかる夫役） ⑤_____（宿駅に公用交通用の人馬を提供する夫役） ⑥_____（伝馬役の不足の際に人馬を補充する夫役） ★_____と呼ばれる街道周辺の指定された村のみにかかる <table><tr><td></td><td>税 率</td><td>徴 税 法</td></tr><tr><td>初 期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）</td></tr><tr><td>享保期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）</td></tr><tr><td>①</td><td>_____（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）</td><td></td></tr><tr><td>②</td><td>_____（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）</td><td></td></tr><tr><td>③</td><td>____・_____（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）</td><td></td></tr><tr><td>④</td><td>_____（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）</td><td></td></tr></table>		税 率	徴 税 法	初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）	享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）	①	_____（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）		②	_____（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）		③	____・_____（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）		④	_____（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）	
	税 率	徴 税 法																				
初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）																				
享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）																				
①	_____（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）																					
②	_____（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）																					
③	____・_____（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）																					
④	_____（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）																					
工・商（町人）	_____（都市に住む商工業者の共同体的な自治組織として____を形成→_____が支配）★城下町では武家地・寺社地・町人地にそれぞれ分けられる →_____（_____）（城下町などの町ごとに独自に定められた法）・_____（町人から徴収された町を運営するための費用） 「町役人（町政を担当する役人）」 _____（町政全般を統轄） _____（町年寄の下にいる役人） _____（月交代で町名主・町年寄を補佐） 「本町人（土地・家屋を持つ町人）」 _____（土地を持ち、町政に参加できる） _____（家屋を持ち、町政に参加できる） 「町人（土地・家屋を持たない町人）」 _____（土地を借りて自ら家屋を建てる） _____（家屋ごと借りる→店賃を払う） ↓ ①_____（_____）（一日単位で雇われる） ②_____（天秤棒で商品を担いで売る） ③奉公人（主人の家に住込みで従事する） ★商家奉公人…_____→_____と昇進 徒弟奉公人…_____（親方の弟子となる） 「本町人の負担（上下水道の整備・城郭や堀の清掃などの町人夫役も課せられる）」 ①____・_____（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税） ②_____（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金） ③_____（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）																					
賤民	_____（皮革・農業・行刑役・死牛馬の処理などに従事→中世からの隷属民で西日本では皮多、東日本では長吏ともいう） _____（物乞い・遊芸・清掃・番人などに従事→乞食・犯罪・心中未遂などの転落者で旧身分に復帰する足洗いができる）																					

【NOTE】

【婚姻・離婚形態】

①家父長制（女性に相続権はなく、男性の戸主権が強い→男尊女卑の家族制度）

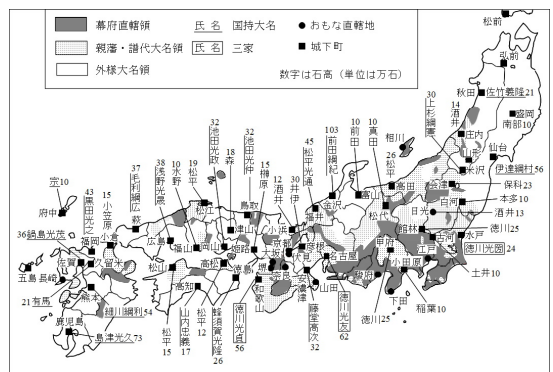
ex. _____『 _____』（女性には「 _____」が美德と説く）

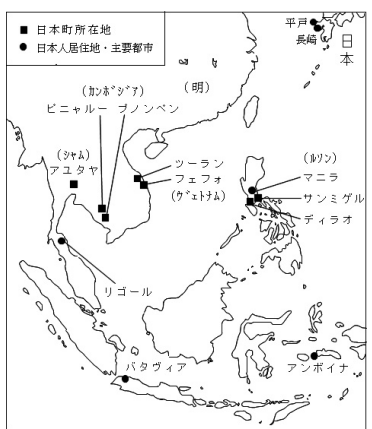
★幼いときは父に、嫁いでは夫に、夫が死んだ後は子に従えという教え

② _____（ _____・離縁別状）（夫が妻に交付する文書→再婚許可の確認にもなる）

③ _____（ _____・驅入寺） ex. _____（鎌倉）・ _____（上野世良田）

離縁状を渡さない夫に対して、女性が3年間尼として在寺すると離婚の権利を与える寺



鎖 国 政 策	禁 教 政 策 ・ 貿 易
(1600～1605) 年 号 (船) が 国 臼杵に漂着 オランダ人の (日本名 =) イギリス人の (日本名 =) ★のち、2名は の外交顧問となる	年 (1631年に中国、1641年にオランダにも適用) 商人による白米(中国産)の利益独占を抑制するため、 幕府の直轄都市の有力商人に (同業者組合) を組織させ、 国内市価の安定のために で生糸を一括購入して、仲間全員に分配 ★糸割符仲間 = (→のち =)
(秀忠(1605～1623)) 年 オランダが にオランダ商館設立 オランダ 会社 (根拠地 =) が設立 年 イギリスが にイギリス商館設立 イギリス東インド会社 (根拠地 = カルカットなど) が設立 年 外国船 (中国船を除く) の来航を ・ に限定 年 が平戸の商館を閉鎖 (= イギリス退去) 事件 (オランダとの貿易競争) に敗れたため撤退 [イスパニアとの交渉] 1609年 前ルソン総督が上総に漂着 ↓ 1610年 (京都の商人) の貿易要請 が (イスパニア領) に派遣 →翌年帰国するが交渉失敗 (答礼使 が来日) 1613年 [仙台藩士] の貿易要請 () [仙台藩士] がイスパニアに派遣→交渉失敗	年 (キリスト教の信仰を禁じる) 天領 (直轄領) 内で実施 → 翌年の 年には全国的に実施 1614年 キリシタン国外追放 (300名ほど) ↓ 改宗を拒否した (キリシタン大名) を に追放 1622年 (長崎で55名の宣教師・信徒を処刑) — [日本人の海外進出 (秀吉政権時から活発化)] — ① (朱印船による南方貿易) (将軍が発行する海外渡航許可状) をもつ が渡航 →主に日明の両国商人が東南アジアなどに出向く を行う ex. (現在のフィリピン) ・ (現在のタイ) (現在のヴェトナム) ・ カンボジア ・ マカオ ②朱印船貿易家 ★商人以外にも九州の大名も参加 ・ (京都) (摂津) ・ (長崎) ③朱印船貿易の輸出入品 輸出品 = ・ ・ 鉄 ★銀の輸出額 = 世界の産出額の 3分の1 輸入品 = ・ ・ 綿織物・砂糖・鹿皮・鮫皮 ④ (東南アジア各地に形成された自治制の日本人居住地) ex. (タイ) ・ ・ ピニャルー (カンボジア) (フィリピン) ・ (ヴェトナム) ★ (シャム(タイ)の首都 日本町の長) →シャム王朝に仕え、のち 太守に就任
(1623～1651) 年 船の来航を禁止 1631年 制度開始 ← 海外渡航には、朱印状に加え の発行する も必要とする ★糸割符制度を中国(明→のち清)にも適用(1631) 年 鎖国令① (以外の日本船の海外渡航を禁止) 年 鎖国令③ (日本人の海外渡航・海外在住の日本人の帰国を禁止) 年 鎖国令④ (人の子孫を追放) 年 () を首領に 跡に奄った農民一揆 氏 [島原城主] ・ 氏 [天草城主] の反政が原因 島原・天草は元々キリシタン大名の の領地 → [老中] 鎮圧 (←鎮圧にあたった が戦死) 年 鎖国令⑤ (船 (かれうた) の来航を禁止) 年 オランダ商館を平戸から長崎の に移す オランダ商館長 () は毎年江戸に参府し将軍に拝謁 → (幕府に提出する海外事情報告書) を提出 ★糸割符制度をオランダにも適用(1641) 長崎出島オランダ商館の 人医師 は帰国後に『 』を著した。後にその一部を長崎通詞の が和訳し『 』と題した。	

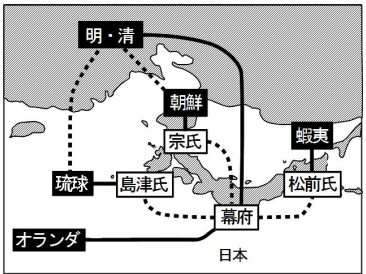
[B] 長崎貿易

鎖 国 政 策		貿 易 相 手 国
家 綱	<u> </u> 年 <u> </u> 廃止 → 相対自由貿易 (売手と買手による当事者間の直接売買)	— [長崎貿易 (長崎奉行の監視の下、貿易は幕府が独占)] — ① オランダ (1581 年にイスパニアから独立) ② 明 (漢民族の王朝) → 清 (満州民族の王朝) 輸出品 = <u> </u> ・ <u> </u> ・ 海産物 (<u> </u>) 輸入品 = <u> </u> ・ <u> </u> ・ 書籍 (中国産) 綿織物 ・ 毛織物 (ヨーロッパ産) 砂糖 ・ 蘇木 ・ 香木 ・ 皮類 (南洋産)
綱 吉	<u> </u> 年 <u> </u> 復活 → <u> </u> (長崎貿易の取引額に限度額を設定) 年間貿易額を制限 (清船 = <u> </u> 貫目 ・ オランダ船 = <u> </u> 貫目) <u> </u> 年 清船の来航を年間 <u> </u> 隻に制限 → <u> </u> (長崎に設けられた中国人の居住地) を設置	
(家宣) ↓ 家継	<u> </u> 年 <u> </u> (長崎新令 (例) ・ 正徳新令 (例)) 金銀の流出を抑えるため、隻数 ・ 貿易額を制限 → 清 船 = 年間 <u> </u> 隻 ・ 高 <u> </u> 貫目 オランダ 船 = 年間 <u> </u> 隻 ・ 高 <u> </u> 貫目 → 以降は <u> </u> (<u> </u> ・ <u> </u> ・ <u> </u>) の輸出を奨励	

[長崎の出島]

朝 鮮 国交は回復したが 幕府との直接貿易には至らず → 貿易は対馬の宗氏が行う	<u> </u> 年 <u> </u> (国書への返答と朝鮮人捕虜の返還を目的に来日) → <u> </u> (捕虜の返還が終了した <u> </u> 回以降の名称) ★ 將軍の代替わりごとに <u> </u> 回来日 (1811 年の対馬での家斉祝賀が最後) <u> </u> 年 <u> </u> (<u> </u> 条約) (対馬の <u> </u> 氏と朝鮮の間に結ばれる) <u> </u> に <u> </u> を設置し、対馬からの <u> </u> を年間 <u> </u> 隻に限定 ★ <u> </u> (対馬藩に仕え、朝鮮との外交を担当)
琉 球 薩摩藩と清の二重支配	<u> </u> 年 <u> </u> [薩摩藩主] が琉球征服 (琉球国王 = <u> </u>) 以後、琉球は <u> </u> (將軍の代替わり) ・ <u> </u> (国王の代替わり) を派遣
蝦夷地 <u> </u> 氏 (もと <u> </u> 氏) と 蝦夷地のアイヌとの交易	1604 年 <u> </u> 氏に黒印状を与える (家康が松前氏にアイヌ交易の独占権を保証) → <u> </u> (商場におけるアイヌとの交易権を家臣に知行として与える) 1669 年 <u> </u> の戦い、(商場知行制による不正交易にアイヌが反発 → 津軽藩の協力を得て鎮圧) → <u> </u> (商場におけるアイヌとの交易を和商人に請け負わせ、運上金を納めさせる) 1789 年 <u> </u> ・ <u> </u> の蜂起 (場所請負制による和商人の酷使にアイヌが蜂起 → 松前藩が鎮圧)

	国名	国 交	貿 易	4 つの口
通商国	オランダ	× (公式使節はなし)	○ (幕府が貿易)	<u> </u> 口
	清	× (公式使節はなし)	○ (幕府が貿易)	<u> </u> 口
通信国	朝鮮	○ (朝鮮通信使が来日)	× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口
	琉球	○ (慶賀使 ・ 謝恩使が来日)	× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口
	アイヌ		× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口



[NOTE]

		重 要 事 項		政 治 政 策	
〔老中〕・〔藩主〕	1651 年 _____ が 4 代将軍に就任 (← _____ 死去)	[社会問題] ① _____ (主家を失った武士) の増加 (約 50 万人) ② _____ (異様な振舞いや風体をした無頼の徒)		_____ [_____ (儒教的徳治主義による政治)] _____ ① _____ の緩和 (1651) 従来は死ぬ直前 (末期) に養子をとることを禁止していたが、 _____ 歳以上 _____ 歳未満の大名には末期養子をとることを認めた	
	_____ 年 _____ (_____) 1652 年 _____ (_____ らが老中襲撃を計画)			② _____ の禁止 (主君の死の後を追う家臣らの自殺を禁止) ③ _____ の廃止 (大名の重臣の子弟の人質を廃止)	
〔天老〕	1657 年 _____ (「振袖火事」と呼ばれる)	江戸の約 6 割が焼失→莫大な江戸再建費用がかかる ★犠牲者の供養のため _____ を設立		_____ [諸藩の文治政治 (諸藩も儒学を奨励)] _____ _____ [会津藩主] = _____ (朱子学者) _____ [加賀藩主] = _____ (朱子学者) _____ [水戸藩主] = _____ (明の儒者) 江戸藩邸に設立した _____ で『 _____ 』の編纂を開始 _____ [岡山藩主] = _____ (陽明学者) _____ (藩学) = _____ ・ _____ (郷学) = _____ を設立	
〔天老〕	★儀礼の重視 ex. _____ の再興(1687) ・ _____ の再興(1694) → _____ (1702 年に _____ の旧臣が _____ の _____ を襲撃)	[幕府の財政窮乏] ① _____ (1657) の復興費 ② 金銀産出量の減少 ③ 寺社造営費の増大 (④ _____ 大噴火 (1707))		_____ [天和の治 (綱吉の治世)] _____ ① 武家諸法度 (_____ 令) 「 _____ の道」→「文武 _____ を励し、 _____ を正すべき事」 ② _____ (孔子廟=孔子を祀る建物) を建立 ★ _____ が上野忍ヶ岡の _____ 内に設けた聖堂を _____ に移築 → _____ (_____ の初代 _____ に任じられる) ③ 造営 = _____ (母 _____ の願い) ・ _____ (のち焼失) ④ 改築 = _____ (上野・天台宗) ・ _____ (芝・浄土宗) ⑤ _____ (親族が死んだ際の服喪や忌引をする日数を定める) ⑥ _____ (極端な動物愛護令) ★犬公方 = _____ ⑦ 歌学方 = _____ (注釈書『 _____ 』を著す) ⑧ 天文方 = _____ (_____) ★従来の _____ に代わり、元の _____ を参考に _____ を作成	
	_____ 年 _____ (_____ 小判を改鑄して _____ 小判を発行) 建議 = _____ { _____ →のち _____ } 小判の金含有量を減らし、差額利益 (_____) を収入とする →幕府の財政は補われたが貨幣の価値が下落したため物価高騰				
〔側用人〕	1710 年 _____ (_____ 小判を発行) by _____	★宝永小判は _____ (裏面に「乾」の極印がある) ともいう		_____ [_____ (家宣・家継の治世)] _____ ① 生類憐みの令廃止 ② _____ (_____ ・ _____ ・ _____ (_____) に加えて創設) ③ _____ の待遇簡素化 將軍の権威を示すため、朝鮮国書に記す將軍の称号を 「 _____ 殿下」→「 _____ 」に改めさせる	
	1714 年 _____ (_____ 小判を発行) by _____ _____ 年 _____ (金銀の流出抑制のため、長崎貿易を制限) →清 船=年間 _____ 隻・高 _____ 貫目 銀の流出抑制のため 荷船 船=年間 _____ 隻・高 _____ 貫目 一部は _____ で支払う →★以降は、 _____ (_____ ・ _____) の輸出を奨励			④ 新井白石の著書 『 _____ 』 『 _____ 』 『 _____ 』 『 _____ 』 『 _____ 』 『 _____ 』 『 _____ 』	

[勸農政策の推進 (.....(1641~1642)が契機)]

①用水路の開削

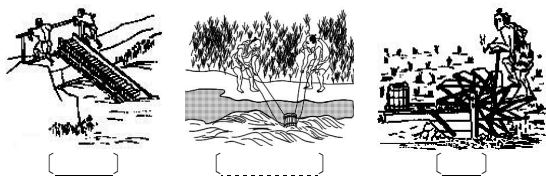
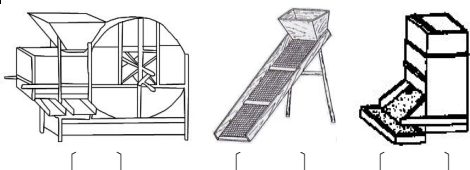
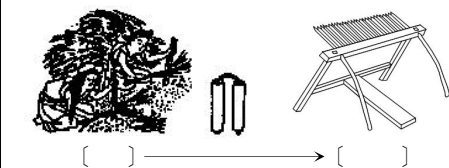
.....(芦ノ湖から富士山麓の深良村へ引いた用水路)
(利根川から引いた用水路→勘定方の.....が完成)
(1654)・.....(1590or1653) (江戸に引いた飲料用上水)

②新田開発 ★.....(新田開発をした場合、一定期間年貢を減免)

.....(代官が開発可能な土地を見出し、その主導で開発した新田)
(有力な商人が幕府や藩から請け負い、自らの資本で開発した新田)
新田(越後国)・.....新田(河内国)・.....新田(摂津国)

③耕地面積の拡大

約.....万町歩(江戸時代初期)→約.....万町歩(18世紀初期)



[手工業]

製紙.....紙・.....紙(越前)

.....紙(播磨)・.....紙(美濃)

漆器.....塗(能登)・.....塗(能代・飛騨)

.....塗(会津)・.....塗(盛岡)

陶磁器.....焼(肥前)→.....焼(加賀)

.....焼(山城) ★京焼は.....が創始

麻織物.....・.....・.....

綿織物.....(尾張)・.....・.....

★綿織物の機織具=.....(.....)

絹織物.....(山城)→.....(上野)・.....(下野)

★絹織物の機織具=.....

清酒.....・.....(摂津)→.....(摂津)

醬油.....(播磨)→.....・.....(下総)

[農業技術の改良]

	江戸初期	江戸中期～後期
耕作具	→.....	
脱穀具	→.....	(短い竿の部分回転させて打つ)
選別具	→.....	(風力を利用して玄米と粃殻などを選別)(金網の上に流して、穀粒の大小を選別)
揚水具	→.....	(足で踏んで水を汲み上げる小型水車)
商品作物	四木三草(民間必需の商品作物) 四木=.....(紙の原料)(葉は蚕の食用)(特産地=会津)(特産地=駿河・山城宇治) 三草=.....(特産地=出羽)(特産地=阿波) その他=.....(備後)・.....(河内・三河・尾張)(薩摩)・.....(摂津・河内・近江)	
肥料	(購入肥料)(菜種や綿実などから油を搾った粕)(鰯や鯨を干しにしたもの)(鰯や鯨などから油を搾り取った残り粕)	
農書	土居清良『.....』(日本最古の農書) (元禄期).....『.....』(日本最初の体系的農書) (享保期).....『.....』(吉宗に献上した意見書) (文政期).....『.....』(農具の図とその用法を紹介) (安政期).....『.....』(商品作物の栽培を奨励) (天保期).....『.....』(農政の心得を述べる) 『.....』(佐瀬与次右衛門) 『.....』(土屋又三郎) 『.....』(作者未詳) 『.....』(.....)	
農政家(幕末)	(相模・下野国などで荒廃した農村の復興を指導) ★.....(勤労・節約を説く事業法)に基づき、各地に.....結成(下総国香取郡長部村で指導→のち幕府の嫌疑を受け自殺)	



[生産形態の変化]

17世紀.....

農業の合間の副業として生産を行なう

18世紀.....

問屋が資金や原料を前貸しし、生産品を買取る

19世紀.....

労働者を工場に集め、.....と.....により生産を行う

★.....(農村内にいる商人)の成長

[マニファクチュアによる特産品生産地帯]

酒造業(.....・.....・.....)→酒造業では17世紀から始まる

綿織物(.....周辺・.....)・絹織物(.....・.....・.....)

諸産業

漁業	の普及 (地曳網や船曳網など各種の網を用いた漁法) → (上総)の による鰯漁 ★ (網漁業経営者)・ (零細漁民) → (蝦夷地)の鯨・昆布漁 → () (や鯨を日干しにしたもの) → (鯨や鯨などから油を搾りとった残り粕)
製塩業	中世 = (浜辺で海水を人力で汲みあげて、砂地にまいて水分を蒸発させる) 近世 = (潮の干満の差を利用して、海水を砂地に導入し水分を蒸発させる) → =瀬戸内地方中心 (赤穂)
林業	檜 杉・ 杉
鉱山業	幕府直営 金山 = (新潟県)・ (静岡県)・ (山梨県) 銀山 = (兵庫県)・ (島根県) 銅山 = (栃木県) [金・銀の精錬技術] → 藩・民間経営 秋田藩 = 出羽 銀山・出羽 銅山 住友家 = 銅山 南部藩 = 陸奥 (日本最初の鉱山) ★ 地方では砂鉄を原料とする「 」が行われた→ (日本刀の原料)を製造

陸上交通

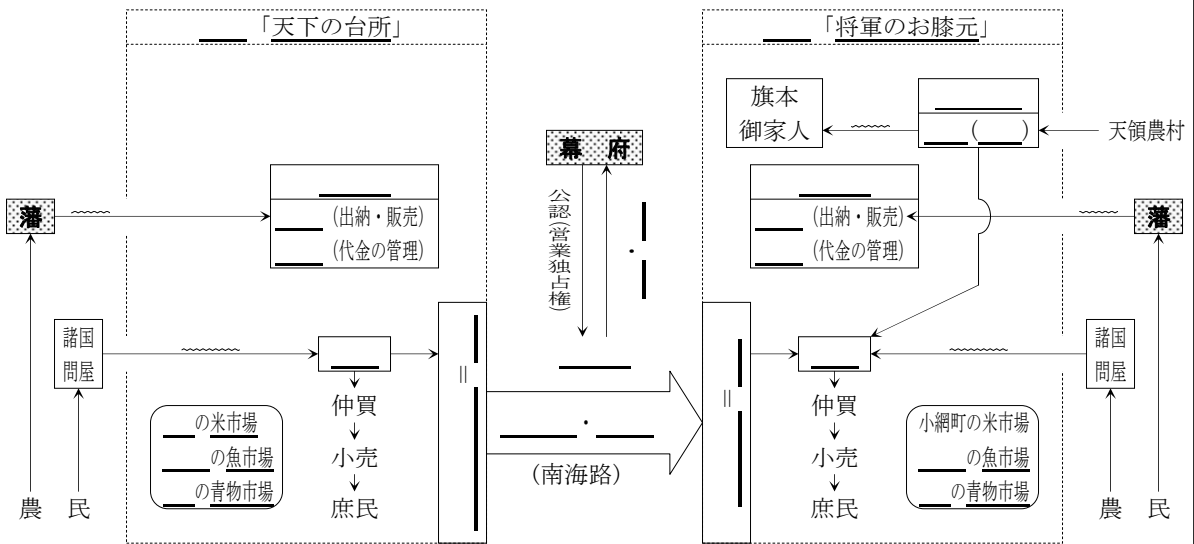
五街道(起点 = 江戸) ★支配 =			
★ (五街道以外の補助的な街道) ex. 北国街道・中国街道			
五街道	宿駅	問屋場	関所
道	宿	人 疋	関・ 関
道	宿	人 疋	関・ 関
道中	44 宿	人 疋	関
道中	21 宿	人 疋	関
道中	27 宿	人 疋	関

図解NOTE [宿駅]

[街道]
① (4kmごとに目印として塚を築き榎や松を植える)
② () (2~3里ごとに設置された集落)
(公営の人足と伝馬の継立てを行う施設)
人馬は (問屋場に人馬を提供する農民の夫役)で徴発 →不足の際は (宿駅周辺の村のみにかかる夫役)で補充
(幕府の文書や荷物を運ぶ公用の飛脚)
★ (大名が設置→藩邸と国元の通信にあたる) (民間が経営→三都の商人が事業を開始)
・ (大名らの宿泊施設) (庶民の宿泊施設)・ (安価な自炊宿)
③ 関所 (治安維持を目的に各所に設置) 「 」を監視 (通行時には が必要)
④ 渡し (河川において歩行や渡船で人馬や荷物を渡す) 川 (川越人足の徒渡)・ 川・ 川 (水主人足の船渡)

水上交通

① (大坂~江戸) → ・ が就航 ★18世紀以降は小型で船足が早い樽廻船が圧倒
② 東廻り航路(海運) (東北日本海沿岸~津軽海峡~江戸)
③ 西廻り航路(海運) (東北日本海沿岸~下関~大坂) →西廻り航路は が就航
[海運・河川(水路)の整備]
① (淀川治水のため 川を開削) 東廻り航路(海運) (1671)・西廻り航路(海運) (1672)を整備
② (淀川に通じる 川を開削→ が運送) 川・ 川・ 川(川)・ 川を改修



[補足説明]

- ① _____ (諸藩の蔵屋敷に集められた年貢米・特産物の総称)
- ② _____ (諸藩が設けた倉庫兼取引所/大坂 _____ に多い)
- ③ _____ (蔵屋敷で蔵物の出納・売却にあたる商人)
- ④ _____ (蔵屋敷で売却代金の保管・藩への送金にあたる商人)
- ⑤ _____ (蔵物に対し、生産者から直接に商人の手で流通した商品)
- ⑥ _____ (生産者・荷主と仲買・小売商人の取引を仲介する商人)
- ⑦ _____ (旗本・御家人の代理として蔵米の受取・売却にあたる商人)
- ⑧ _____ (_____ にあつた御蔵に納められる年貢米)

[株仲間の変遷]

商工業者が営業権の独占をはかるため結成した同業者組合のことを _____ (商工業者の同業組合) という。当初幕府は仲間を結成することを認めていなかったが、18世紀以降になると、物価調節や商工業統制のため、 _____ という営業税を納めることを条件に仲間を公認するようになった。この幕府から認められた営業の独占権を _____ と呼び、その公認された仲間を _____ という。

江戸初期=禁止
元禄期=黙認
享保期=公認
田沼時代=奨励
天保期=解散
嘉永期=再興
明治期=解体

① 三貨 (_____ の貨幣鑄造権を幕府が独占)

三 貨	貨幣単位	鑄造所	鑄造貨幣
_____ (_____ 貨幣)	_____ (1両=4分=16朱の _____ 進法)	_____ in _____ (管轄= _____)	大判・小判
_____ (_____ 貨幣)	_____ (1貫=1000 匁)	_____ in _____ (管轄= _____)	_____ (_____ 年)
_____ (計数貨幣)	_____ (1貫=1000 文)	_____ in 江戸芝など (民間請負)	_____ (_____ 年)

★三貨の交換比率 1609年=金1両=銀 _____ 匁=銭 _____ 貫
→ _____ 年=金1両=銀 _____ 匁

江戸= _____ 遣い (金での取引が主流)
大坂= _____ 遣い (銀での取引が主流)

[_____ (金銀銭三貨の交換)]

_____ (両替のみ)
_____ (両替・為替・貸付業務など)
江戸= _____
大坂= _____
→ _____ (両替仲間に支配)

② _____ (藩が発行した領内のみ通用する紙幣)
→ _____ (_____)藩が最初に発行(1661)

豪商 (元禄期に三都の繁栄を背景に出現した豪商) in 江戸

- ① _____ 家 (伊勢松坂出身の呉服商→両替商)
→ _____ (江戸に開いた呉服店)
「現金かけ値なし」と切売り商法で繁盛
→ 『 _____ 』

in 大坂

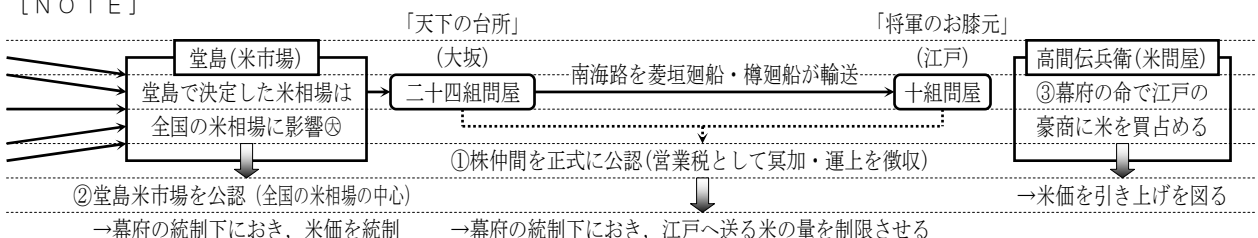
- ④ _____ 家 (摂津伊丹出身の酒造業→両替商)
善右衛門 (3代目) で発展
★新田開発= _____
⑤ _____ 家 (_____) (_____ 国 銅山の経営)
★ _____ (銀と銅を分離する)を導入
⑥ _____ (大坂の蔵元)
★贅沢を理由に幕府に全財産没収



- ② _____ (紀伊国熊野出身でみかんで成功→材木商)
- ③ _____ (初代が日光東照宮修理で富を得た材木商)

―― [享保の改革の特徴] ―― 〔藩主→8代将軍〕 ★「米将軍」と呼ばれる ①復古的理想主義「諸事権現様（ ）の御定めの通り」 ②武家諸法度（ ）時の「 」を踏襲 ③将軍による専制政治（ ）による側近政治を廃止 ↓ ★侍講＝ 〔 〕『 』（民衆教化書→寺子屋の手習い本などの庶民教育に用いられる） ※寺子屋では『実語教』・『童子教』・cf. 〔 〕『 』（吉宗の諮問に答えた幕政改革案→貨幣経済の浸透抑制と武士の土着を説く）『 』などを教科書として使用		―― [機構整備] ―― ① 老中（財政専門の老中）＝ 〔 〕 ②勘定奉行（幕領の財政と訴訟を担当する職）の分離 → 〔 〕（幕領の財政担当）・ 〔 〕（訴訟担当） ★ 〔 〕（ ）の下で年貢増徴策を推進した勘定奉行	
政治（財政再建）		経済・社会政策	
増収政策	① 〔 〕（の制）（ ）年～（ ）年 各大名に、石高1万石につき 〔 〕石の米を献上させる →代償として 〔 〕の江戸在住を1年から 〔 〕に軽減する ★のち、幕府の財政が安定したため廃止（参勤交代も旧に戻した） ②新田開発の奨励（ ）に新田開発の高札を立てて呼びかける → 〔 〕＝ 〔 〕（ ）国 ③年貢増徴策（→1744年には幕府史上最大の年貢収納率38%に上昇） 税率＝ 〔 〕公民 → 〔 〕公民 徴税法＝ 〔 〕 → 〔 〕 （豊凶に応じて税率を決定）（豊凶に関らず税率は一定） ④商品作物の奨励（ ）・（ ）・（ ）などの栽培を奨励 ↓ 〔 〕＝『 』・『 』 ⑤ 〔 〕（日常生活に役立つ学問）の奨励 〔 〕（中国語に翻訳された洋書）の輸入制限の緩和 → 〔 〕・〔 〕にオランダ語の学習を命じる	物価統制政策	① 〔 〕（商工業者の同業組合）を公認（1724） ↓ 物価調節・商業統制を目的に株仲間を結成させる →幕府の統制下におき、江戸への廻米の量を制限する ②大坂 〔 〕の米市場を公認（1730） ↓ 全国の米相場場の中心である堂島を公認し、米価を統制する → 〔 〕に米を買占めさせ、米価を引き上げ but! 〔 〕（← 〔 〕年に 〔 〕が大発生） → 〔 〕の打ちこわし（ ）の米問屋が襲撃される） ③ 〔 〕の貨幣改鋳（1736） ↓ 米価低迷が続いたため、悪銭を発行して米価引き上げをはかる → 〔 〕小判（良銭）を改鋳し 〔 〕小判（悪銭）を発行
	④ 〔 〕（1722） ↓ 質流し（質流れ）による田畑が売買されるのを禁止し、すでに質流れされた土地も元金を返済すれば取り戻すことができる → 〔 〕（ ）が起きたため、翌年撤回	農村政策	
支出抑制政策	① 〔 〕（質素節約をうながし贅沢を禁じる） ② 〔 〕（1723） ↓ 役職高を定め、基準高に達しない者に在職中のみ不足分を支給する ―― [人材登用] ―― 〔 〕（旗本→ 〔 〕 → 〔 〕） 〔 〕（旗本→ 〔 〕） 「胡麻の油と百姓は絞れば絞るほど出るものなり」（in『 』） 〔 〕（名主→ 〔 〕）『 』（吉宗に献上した農政意見書）	民衆政策	① 〔 〕（ ）年～ 〔 〕年 ↓ 〔 〕（金銭貸借に関する訴訟）は受け付けず、当事者間で解決させる→but のち、武士の踏み倒しが多発したため廃止 ② 〔 〕を制定（1742） ↓ 裁判や刑罰の基準を定めた基本法典 →上巻と下巻に分かれる（下巻は『 』ともいう） ③ 〔 〕を編纂（1744） ↓ 幕府開設以来の単行法令を集めた法令集 ④ 〔 〕（町奉行監督下の「いろは47組」）に編成した消防組織 ↓ 従来の 〔 〕（幕府）・大名火消（大名）に加えて設置 ⑤ 〔 〕（ ）前に設置した投書箱で、将軍自ら箱を開ける ↓ 小石川薬園内に 〔 〕（無料診療所）を設置

[NOTE]



家 斉	—— [田沼政治の特徴] —— —— [徳川家重(9代将軍)の小姓→——→——] ① <u>重商主義</u> (貨幣(商品)経済を助長→商業資本を利用して財政再建) ② <u>賄賂政治の横行</u> (→不評を買う)	
	経 済 政 策 ① 新田開発 (商人の資本を導入) ——・—— (——国) の干拓 (→利根川の大洪水で失敗) ② —— (商工業者の同業組合) の<u>奨励(積極的公認)</u> → ——・—— (商工業者の上納金) の徴収 ③ 特定商品の—— (幕府直営の——を設置し、特定商人に組織させる) ——座・——座・——座・——座を設置 ④ 金銀通貨の一本化 (金貨の単位の計数貨幣への一本化を企図) → —— (最初の計数貨幣銀貨) —— (金貨の単位を持つ最初の計数貨幣銀貨) 1758年 —— 事件 (公家に指南した——を京都追放) → 尊王論者 1767年 —— 事件『——』を著した——を処刑 → 弾圧事件	政 治 ・ 外 交 ① 長崎貿易(蘭・清との貿易)で日本から多くの金・銀が流出 ↓ ※江戸初期から金の4分の——, 銀の4分の——が海外に流出 ② 長崎貿易の貿易額を制限して, 金・銀の流出を抑制しよう ↓ → —— (——・——) (——年) by —— ③ 田沼意次は長崎貿易の政策を<u>拡大(規制緩和)</u>へ転換 → 流出した金・銀を輸入するため, ——・——の輸出を伸ばす ① 長崎貿易の<u>拡大(規制緩和)</u> (金・銀の原料を確保するため) ↓ 輸入 = ——・—— 輸出 = ——・—— ② —— の開発 → ——らを蝦夷地(千島列島)に派遣 ★ —— (仙台藩医) が田沼意次へ献上した『——』が背景 → ロシアの南下に対し, ロシアとの交易と蝦夷地開発の必要性を説く
	——年~——年 (東北地方での冷害が原因→のち全国的に拡大) 1784年 —— (——) を —— (世直し大明神と呼ばれる) が刺殺 1786年 徳川家治(10代将軍)死去 (田沼意次が老中を罷免→天明の飢饉で餓死者を出さなかった——が老中に就任) ——年 —— (江戸・大阪を中心とする各都市で起きた下層都市民による暴動) (天明の飢饉 in 『——』)	
		

貨 幣 経 済 の 浸 透	① 農業生産力の向上 (1) 耕地面積の拡大 (新田開発の進展) (2) 商品作物の栽培 (売買で貨幣に交換) (3) 金肥の普及 (貨幣を用いて購入) (4) 農具の改良 (貨幣を用いて購入) ↓ ② 貨幣(商品)経済の浸透 村役人層 (——) ← 土地を質入れして借金 → 本百姓層 (貧農) ↓ 借金返せず土地とられる 村役人層は困窮した百姓の土地を質流れの形で集めて, 地主に成長 ★ 零細農民を年季奉公人として使う地主の経営形態を——という ③ 本百姓の階層分化(本百姓体制の動揺) → <u>豪農</u> (村役人層)・<u>貧農</u> (小百姓層) に階層分化 → (1) 豪農 (農村部に形成された——(——)を拠点に, 貧農を商品生産の労働者として使用するなど商人的側面を持つ——へと成長) → (2) 貧農 (豪農の下で働く水呑百姓(小作人)に転落する者や, 都市へと流入して下層町人or——(ホームレス)となる者が現れる) ↓ 豪農(村役人)と貧農(小百姓)の対立が激化 → ——・—— (村役人の不正を追求)	—— [米価安・諸色高] —— ① 米価安の諸色高 (米の増産・城下町や都市の人口増加による需要増が原因) ↓ ② 幕府・諸藩の窮乏化 (1) 商人からの—— ★ —— (商人が大名に対して行う貸付) (2) —— (——)・—— (家臣の俸禄の一部・半分を借上げる) ③ —— の困窮 ——・——は, 幕府から支給された——を——(——)に換金してもらうが, 米価安のため受け取る金額は減少→生活は困窮し, ——(——)から借金をする ④ 幕府・諸藩の対策 → 年貢増徴・——制 (幕府・諸藩が特定商品の仕入れ・販売を独占) ↓ 都市の治安が悪化し犯罪増加・農村の人口減少により農村荒廃 → 飢饉時に——が発生 → 百姓の他国への出稼ぎが増加
---------------------------------	--	--

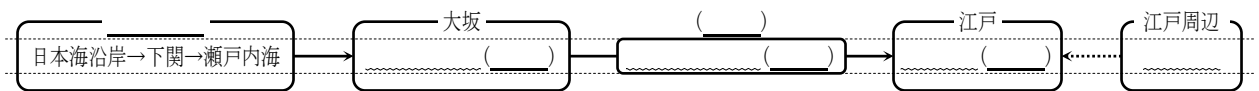
_____ [寛政の改革の特徴] _____ _____ [藩主→老中] ★ _____ の孫/ _____ の子 ①復古的理想主義 (理想= _____) ②農本主義 (田沼意次の商業中心政策から転換) ③幕府権威の回復 (文武の奨励・思想統制)			
★『_____』(定信の自叙伝)・『_____』(定信の随筆)			
政治(農村政策・都市政策)		思想・風俗統制	
財政再建	① _____ (質素節約をうながし贅沢を禁じる)	思想・風俗統制	① _____ (_____ 年) (幕臣の士風刷新・民衆教化をはかる) 儒学のうち _____ を _____ とし, _____ ・ _____ ・ _____ などの学派を _____ とし, _____ での _____ 以外の講義禁止を大学頭 _____ に布達 ★寛政の三博士 = _____ ・ _____ ・ _____ (→のち _____) →のち, 聖堂学問所は幕府直轄の _____ となる(1797)
商業統制	② _____ (諸物価などを強制的に引き下げる命令) ③ _____ (_____ 年) (_____ の _____ (蔵宿) に対する救済法) _____ 年以前の借金の帳消し / _____ 年以内の借金は低利で年賦返済 →打撃を受けた札差に対しては幕府の _____ が低金利で融資		②出版統制令(1790) (風俗を乱す出版物を禁じる) → _____ (著書が発禁処分となり, 禁刑に処される) ★寛政の三奇人 = _____ ・ _____ ・ _____ 『 _____ 』(朝鮮・琉球・蝦夷の地理的關係を解説) 『 _____ 』(ロシアの南下を警告し, 海防の警備を主張) 「 _____ より唐・蘭迄境なしの水路也... _____ にのみ備るは何ぞや」 → _____ (遊里小説の _____ 作者) 『仕懸文庫』 → _____ (絵入小説の _____ 作者) 『金々先生栄花夢』 → _____ (洒落本・黄表紙の出版元→家財半減の処分)
農村政策	④他国出稼制限令 (百姓の出稼ぎを禁止・制限) ⑤ _____ (江戸に流入した農民に資金を与えて帰農を奨励) ⑥ _____ (出産直後の新生児を殺す _____ などを禁止) ⑦ _____ (諸藩に石高1万石につき米 _____ 石を粃米で貯蓄させる) → _____ (富裕者に各地に設けた穀物を拠出させておく穀物倉) → _____ (一般住民に各地に設けた穀物を拠出させておく穀物倉)		朝幕関係
都市政策	⑧ _____ (_____) (非常時の貧民救済資金に充てる) ↓ 町入用(町費)の節約分の _____ %を _____ に積み立てる ⑨ _____ (江戸町会所の運営など幕府に協力する) 幕府に登用された両替商を中心とする江戸の豪商10名 ⑩ _____ (_____) (_____ [_____] の建議) 江戸の治安維持を目的に石川島に設置した _____ の収容施設		

[NOTE]

_____ [藩政改革 (寛政の改革前後)] _____ 熊本藩 = _____ (銀台) 藩校 = _____ ・ _____ の専売 米沢藩 = _____ (鷹山) 藩校 = _____ ・ _____ の専売 秋田藩 = _____ 藩校 = _____ ・ 秋田杉の専売		at 浅草蔵前 幕府の御蔵 → ⑧ (蔵米) → 旗本・御家人 ↔ 札差(蔵宿) 旗本・御家人は札差(蔵宿)に蔵米を換金してもらう but 米価安のため困窮→札差(蔵宿)からの借金が増大 ⑨ (年貢) ↓ 棄捐令(6年以前の借金を帳消し) → 5年以内の借金は低利で返済	
_____ [儒学(儒教)] _____ _____ ... 「 _____ 」 君臣・親子などの上下の身分秩序を重んじる _____ ... 「 _____ 」 知識は行動・実践を通して本当の知識となる _____ (_____ の古代聖賢に立ち返る) _____ (朱子学・陽明学・古学を取捨選択)		<農村> 豪農 貧農 → 下層町人となる → 旧里帰農令(資金を与えて帰農させる) → 無宿人となる → 人足寄場(石川島)(無宿人の収容施設) → 職業訓練をさせて社会に復帰させる 困米(大名) → 義倉(富裕者) → 社倉(一般農民) → 天明の飢饉を背景に、飢饉・凶作に備えて あらかじめ米や金を貯蓄させておく 七分積金 (七分金積立)	

_____ [_____ (文化・文政時代)の特徴] _____ _____ [11代將軍→ _____] ①將軍家斉による放漫政治 ↓ 將軍職を _____ [12代將軍]に譲った後も _____ (前將軍)として実権掌握 ②化政文化の開花 (享楽的な江戸中心の庶民文化)		_____ [老中 (文化期→文政期)] _____ 文化期 = _____ (寛政の遺老と呼ばれる) 文政期 = _____ (賄賂政治で腐敗させる) 元文小判 (悪銭) から _____ (更なる悪銭)へ改鑄 →幕府財政を補うため、出目による財源獲得をはかる	
_____ 年 _____ (関八州の幕府領・私領の区別なく巡察し、犯罪人の逮捕にあたる=「八州廻り」と呼ばれた) ↓ 関八州など江戸周辺に増加していた無宿人や博徒 (ばくち打ち) が治安を乱していたため、関東地方の治安維持を目的に設置 _____ 年 _____ (_____) (関東取締出役の下部組織で、近隣の数力村で結成させた組合村) 1832年~ _____ (冷害・洪水・大風雨による全国的な凶作) _____ 年 _____ (甲斐国) ・ _____ (三河国) (幕領内で起きた一揆) _____ 年 _____ (大坂町奉行所の元 _____ で _____ 学者→辞任後に家塾の _____ を開く) ↓ 高騰による貧民救済のため、「 _____ 」の旗を立てて _____ で挙兵するが鎮圧される 1837年 _____ (「大塩門弟」と称し越後柏崎で蜂起した _____ 学者) 1838年 _____ が『 _____ 』を _____ [12代將軍]に提出 _____ (国内の矛盾と対外的危機) に対して、幕政改革の必要性を説く		_____ [_____ の特徴] _____ _____ [_____ 藩主→老中] ①復古的理想主義 (理想 = _____) ②幕府権威の回復	
諸統制政策 (農業・商業)		政治 (幕府権力の強化)	
財政再建	① _____ (質素儉約をうながし贅沢を禁じる) ②印旛沼の干拓 (→水野忠邦の失脚で中止)	風俗統制	①風俗取締令 (綱紀肅正を目的に、日常の衣食住全般にわたる) →奢侈禁止令 (贅沢品や華美な衣服・高価な菓子・料理などを禁止) →芝居統制令 (江戸歌舞伎3座を浅草移転・ _____ の江戸追放) ★ _____ (市中取締りに辣腕をふるった江戸町奉行) → _____ (恋愛小説の _____ 作者)『春色梅児誉美』 → _____ (絵入小説の _____ 作者)『修紫田舎源氏』
	商業統制		②三方領知(地)替 (川越藩の財政救済策) _____ 藩・ _____ 藩・ _____ 藩の3藩を玉突き式に転封させる計画 →三方領知替反対一揆など領民の反対もあり、転封命令を撤回 ★初の転封撤回→幕府に対する藩権力の自立を示す結果となる
	農村政策	幕権強化	③ _____ の再興 (_____ を祀る日光東照宮への参詣) ④ _____ (_____ 年) (財政安定と対外防備の強化をはかる) _____ ・ _____ 周辺十里四方の大名・旗本領 _____ 万石を直轄地にする →代償として、幕領のうちの年貢収納率の低い代替地を用意する but _____ [老中]を中心に大名・旗本が反対したため撤回

[NOTE]



- ①江戸後期になると、生産地から西廻り航路を通じて大坂へ商品が届く前に、新興の廻船業者が下関・瀬戸内海などで商品を売買
↓ ex. _____ (西廻り航路を就航) ・ _____ (尾張国知多半島を拠点) ・ _____ (長州藩が下関に設けた資金の貸付け・委託販売を行う役所)
- ②生産地から大坂に送られる商品の流通量が減少→大坂で品不足→江戸への輸送量も減少→江戸で品不足により物価高騰
→水野忠邦は株仲間が買占めなどをして商品流通を独占しているため物価が高騰していると判断して、 _____ (_____)を発布
but 株仲間の解散により、江戸への商品輸送量はさらに減少し、物価はさらに高騰し経済混乱→ _____ (1851)が出される

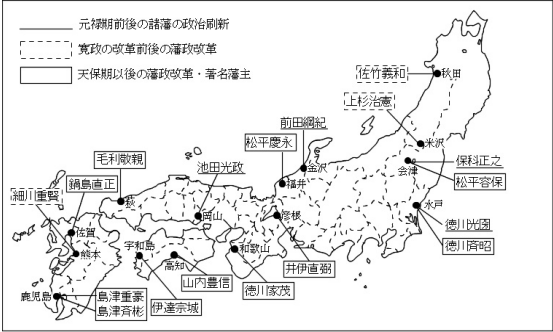
①	_____ (江戸時代の農民一揆) ★享保期以降増加→件数= _____ 件以上		
一揆の形態	前期 (17 世紀)	中期 (18 世紀)	後期 (19 世紀)
	年貢減免を要求→村役人が農村を代表して直訴	年貢減免・藩による専売制の撤廃を要求 →村役人層を含む全農民層が参加して蜂起	新時代への期待と百姓一揆が結びついた 貧農による特権商人・豪農への打ちこわし
図解			
	「_____として伝えられる」 _____ (下総) 下総国佐倉藩堀田氏の苛政を将軍に越訴 _____ (上野) 上野国沼田藩真田氏の苛政を幕府に越訴	1728 年 _____ (筑後) 1793 年 武左衛門一揆 (伊予) 「_____ (藩領全域に及ぶ一揆)」 1686 年 _____ (信濃国松本藩) 1738 年 _____ (陸奥国磐城平藩) ★ _____ (円形を中心に放射線状に署名)	_____ 年 _____ (甲斐) _____ (三河) 「その他」 1856 年 _____ (岡山藩) 部落差別政策に反対
②	_____ (村役人と小百姓の対立=村役人の不正を追及し、代官・郡奉行に訴える) ★18 世紀以降増加		
③	_____ (下層都市民・農民による米商人・金融業者への襲撃) 1733 年 _____ の打ちこわし (最初の打ちこわし) _____ の米問屋が襲撃される (幕府の米価引き上げ政策に関わったため) _____ 年 _____ (江戸・大坂を中心とする各都市で起こる)		
④	_____ (_____ による指導のもと、大坂問屋 (株仲間) による流通独占に反対する合法的農民闘争の一つ) 1823 年 大坂周辺で最初の国訴 _____ ・ _____ ・ _____ 国 3ヶ国の 1307 村で _____ ・ _____ をめぐる大坂問屋の流通独占に反対		
	「三大飢饉」 _____ (_____ 年) 西日本で長雨→ _____ の大発生 _____ (_____ 年～87 年) 東北地方の冷害・ _____ 山の大噴火 _____ (1832 年～39 年) 冷害・洪水・大風雨による全国的な凶作		

[illegible]

[B] 藩政改革(____の台頭) (天保の改革前後)

雄 藩	藩 主	登用者	財 政 再 建	軍 事 力 強 化
薩摩藩 (鹿児島藩)	_____	_____ (下級武士)	①藩債の整理 (藩債____万両の____年賦返済) ②____強化 (____特産の____の専売を実施) ③____密貿易 (琉球王国を通じた清国との密貿易) ④____ (薩摩藩の藩校) を設立	①____ (兵器製造を中心とした洋式工場群) (1) _____ (大砲製造のための溶鉱炉) (2) _____ (3) _____
長州藩 (萩藩)	_____	_____ (下級武士)	①藩債の整理 (藩債140万両に対する____) ②____・____の専売制緩和 ____ (紙・蠟の専売制廃止を要求した一揆) が背景 ③____ (下関で資金の貸付や委託販売を行う役所)	
肥前藩 (佐賀藩)	_____ (閑叟)		①____ (____焼) の専売制 ②____ (本百姓体制を再建するための農地改革)	①____ (大砲製造のための溶鉱炉) ★____から学び、日本で最初に築造
土佐藩 (高知藩)	_____ (容堂)	____組 (吉田東洋ら)		
水戸藩	_____	_____ (____が設立した____で『____』の編纂にあたる) ____ (幽谷の子→『____』で尊王攘夷思想を説く) →____ (水戸藩の藩校) を設立 ____ (幽谷に学ぶ→『____』で尊王攘夷思想を説く)		①反射炉 (大砲製造のための溶鉱炉) ②____ 幕命を受けて水戸藩が設けた幕府の造船所
福井藩 (越前藩)	_____ (春嶽)	_____ (適塾で緒方洪庵に学ぶ→安政の大獄で捕らえられ江戸で刑死) _____ (慶永の政治顧問となる→『国是三論』を著し、開国貿易を説く) _____ (横井小楠に学ぶ→殖産興業の必要性を説く)		
宇和島藩	_____	村田蔵六 (大村益次郎) (長州藩士→藩主に招かれ蒸気軍艦を建造)		
(幕府)				①____ (オランダ人に砲術を学ぶ) 幕府に招かれ、西洋砲術を指導 ②____ (代官) ____に____, 江戸品川沖に____を築造 ③長崎製鉄所 (のち長崎造船所と改称) ④____ (のち横須賀造船所と改称)

[NOTE]



[A] 欧米列強の接近

諸 外 国 の 接 近		幕 府 の 対 応	
(寛政の改革)	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → 1798 年 _____ の蝦夷地派遣 (最上徳内と共に派遣) _____ の命で、漂流民の _____ を送還 → ロシア漂流記を _____ が『 _____ 』に記録	島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄 (1799) → [_____ 奉行] 設置 (1802)	
	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → _____ 年 _____ (_____) ラクスマンに交付した _____ (_____ への入港許可証) を持参 (文化3年) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える ↓ ★西蝦夷地直轄 (1807) → [_____ 奉行] 設置 (1807)	_____ の権太調査 _____ が島であることを確認 (_____ を発見)	
	年 _____ 号事件 (イギリス) _____ の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号が _____ 船を追って長崎に侵入 → _____ [_____ 奉行] が自害 → ★イギリス船が宝島 (薩摩)・大津浜 (常陸) に上陸 (_____) → _____ 年 _____ (_____) _____ 事件 (ロシア) _____ 島を測量中のゴロウニンを抑留 ★『 _____ 』 → ロシアは報復として _____ を抑留 (のち両者釈放)	(文政8年) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる	
	年 _____ 号事件 (アメリカ) モリソン号が漂流民の送還・日本との通商を求めて来航 → _____ (相模)・山川沖 (_____) で砲撃	_____ 年 _____ (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) _____ 『 _____ 』 _____ 『 _____ 』 _____ (連坐を恐れて自殺)	
	1840 年 ~ _____ (イギリス VS 清) _____ 年 _____ (清はイギリスに _____ を割譲) → _____ 年 _____ (_____)	1841 年 軍事改革 (_____ を招き西洋砲術を採用) _____ 年 _____ (文化の薪水給与令に反す)	
(大御所時代)	_____ 年 _____ 国王 _____ の開国勧告 _____ 年 _____ [アメリカ東インド艦隊司令長官] が _____ 来航 ↓ _____ 年 _____ [アメリカ _____ 艦隊司令長官] が _____ 来航 → _____ 年 _____ (_____) (嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦 = _____ 号) を率いて開国を要求 → _____ に上陸し、 _____ [米大統領] の国書を提出 ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問	[_____ by _____ [老中]] ①人材登用 _____ [海防参与]・ _____ [海防掛・勘定奉行] ②国防強化 大船建造禁 (武家諸法度の規定) の緩和 _____ が _____ に _____ ・江戸品川沖に _____ を築造 ③洋式訓練 _____ (江戸で武術訓練)・ _____ (長崎で海軍訓練) ④洋学研究 _____ (1855) → _____ (1856) (のち _____ → _____) ★ _____ (1811年に設置した蘭書翻訳機関) を強化	
	1854 年 ペリーが軍艦 7 隻を率いて再来航 → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) ★『 _____ 』(ペリー艦隊の日本遠征記録)	①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②難破船や乗組員を救助する ③ _____ の開港 (_____ の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的 _____ を与える	
	(1853 年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航) → 1855 年 _____ (_____ で川路聖謨が締結) ★ _____ の大地震 (1855年に江戸に発生した地震→「鯨絵」が多数描かれる)	①下田・箱館以外に、新しく _____ を開港 ②日露の国境は _____ 島・ _____ 島の間 (_____ は两国雑居)	
	1856 年 _____ [アメリカ駐日 _____] の _____ 着任 1856 年 _____ 事件 (第二次アヘン戦争の契機となった事件) → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) 1858 年 _____ (清が英・米・露・仏と結んだ講和条約)	★ _____ (米・英・露・蘭・仏との修好通商条約) ① _____ [老中] が通商条約調印の勅許要求 → _____ 天皇が拒否 ② _____ [_____] が無勅許のまま調印 (_____) ① _____ (→ _____)・ _____ (→ _____)・ _____ の開港 ② _____ の開市 ③通商は自由貿易とする ④開港場に _____ (外国人の居住する地域) を設ける ⑤ _____ (治外法権 = 外国人が在住国の裁判を受けない) _____ (関税自主権がなく両国の協議で関税率を決定)	
	[政局の転換]		1860 年 日米修好通商条約の批准書交換 _____ ホー・ハタン号 (米 艦) = _____ [_____ 奉行] _____ (随行艦) = _____ [幕臣]
[_____ 派] [_____ 派] _____ [紀伊藩主] _____ [徳川斉昭の子] _____ [_____ 藩主] _____ [前水戸藩主] _____ [_____ 藩主] _____ [越前藩主] _____ のち _____ に就任 (1858) _____ [薩摩藩主]			
VS 1858 年 ~ _____ (井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) _____ (越前藩士)・ _____ (長州で _____ を開く) _____ (頼山陽の子)・ _____ (若狭小浜藩士) _____ 年 _____ (尊攘派の _____ 脱藩士らが _____ を暗殺)			

[B] 貿易の開始

貿易の開始

- ①貿易開始 _____ 年～
②貿易形態 _____ 貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)
③貿易港 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
④貿易相手 1位= _____ ・2位= _____
★アメリカは _____ で後退
⑤輸出品 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
★蚕卵紙は _____ における蚕病の流行が背景
⑥輸入品 1位= _____ ・2位= _____

[産業の発達・衰退]

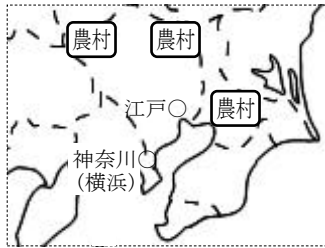
発達=製糸業 (_____ 経営が発達→ _____ を輸出)
衰退=絹織物業 (原料の生糸不足が原因)
綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

貿易の問題点

[大幅な輸出超過(問題点①)]

生産地と結びついた _____ が問屋を通さず、
直接商品を開港場へ送る→江戸・国内の品不足=物価高騰

_____ 年 _____ (重要輸出5品の江戸への回送を命じる)
五品= _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____



_____ (在方)を拠点とする _____
(_____)が _____ (御府内)を通さず
開港場 _____ (_____)へ商品を輸送
↓
江戸などで品不足により物価高騰
→まずは江戸への商品輸送を命令
= _____ (_____ 年)

[金銀交換比価の相違(問題点②)]

金銀比価=日本 (金 : 銀) ⇄ 外国 (金 : 銀)
→大量の金貨が流出

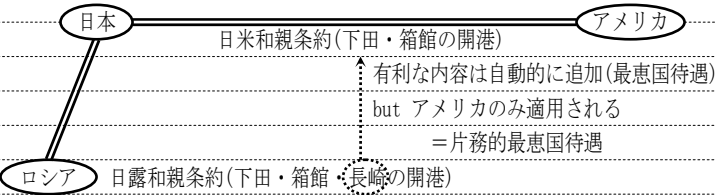
_____ 年 _____ 铸造 (金流出防止のため悪貨铸造)
貨幣の価値が下落したため物価高騰

[_____ (排外的政治運動)]

1860年 _____ (総領事ハリスの通訳) 暗殺
1861年 _____ 事件
↓
水戸藩浪士が江戸高輪のイギリス公使館を襲撃
1862年 _____ 公使館焼き打ち事件
_____ らが _____ のイギリス公使館を襲撃

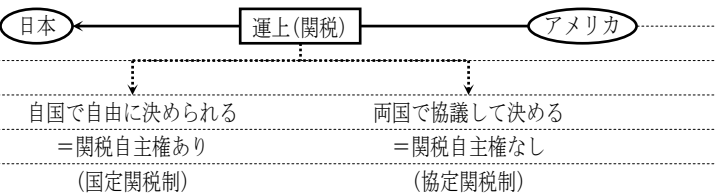
[NOTE]

<最惠国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、
第三国に与えている最も恵的な待遇と同等の待遇を与えること)>



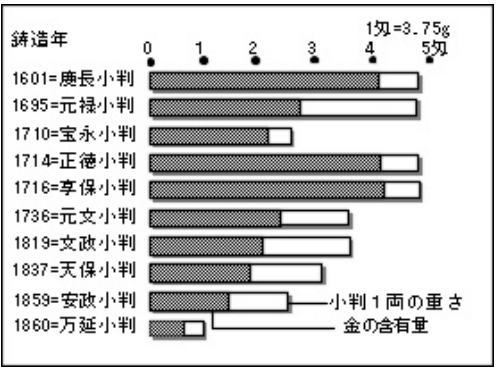
<協定関税制>

品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載
輸入関税率=平均 20%→のち 5% by 改税約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品=0% (衣服・家財など)・5% (食糧など)・35% (酒類)・20% (その他)
輸出品=5% (輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)



[A] 公武合体と尊攘運動

幕府の動向	薩摩藩の動向	長州藩の動向
1862年 (天皇の妹) 降嫁 [老中] が 論を推進 → [14代將軍] への降嫁を実現 年 (→安藤信正が失脚) 和宮降嫁に激怒した尊王攘夷派の 水戸脱藩士が [老中] を襲撃 [(勅命による幕政改革)] = [徳川斉昭の子] = [藩主] = [藩主] 京都所司代の上位で、京都の治安維持にあたる ★参勤交代を3年に1回に緩和・西洋式軍制採用	1862年 (薩摩藩主島津忠義の父) ①勅許のため、藩兵を率い京都へ上洛 ②久光が京都で倒幕挙兵を企てる 薩摩藩士を一掃 (事件) ③朝廷から幕政改革の勅許を受ける ④ [勅使] と共に江戸へ赴く 年 事件 薩摩藩士によるイギリス人殺傷事件 年 (生麦事件の報復) イギリスが薩摩藩と交戦→講和成立	図解 NOTE [八月十八日の政変] 朝廷 孝明天皇 ②工作 公家 (公武合体派) 公家 (尊王攘夷派) ③攘夷を要求 幕府 (公武合体論) ④攘夷を命令 薩摩・会津藩 (公武合体論) 長州藩 (尊王攘夷論) ①京都潜入(工作) 1863年 長州藩外国船砲撃事件 長州藩が下関で外国船を砲撃 [尊攘派の挙兵] ① (大和) = ② (但馬) = 沢宣嘉 ③ (水戸) = 武田耕雲斎 年 () 指導のもと長州藩が京都に 攻め上るが 藩中心に鎮圧 1864年 四国艦隊下関砲撃事件 の艦隊が下関を砲撃 [長州藩内部の争い] ①第一次長州征討・四国艦隊下関砲撃事件後、 長州藩では上級武士 (佐幕派) が実権を握る →長州藩は幕府に恭順の態度を示す ② が (身分に関わりなく編制 された有志の軍隊) を率いてクーデター ③下級武士 (討幕派) が上級武士 (佐幕派) から主導権を奪い返し、討幕の動きを強める →木戸孝允・高杉晋作が実権を握る 下級武士 (西郷隆盛・大久保利通) が実権を握る 年 (土佐藩士) の仲介 薩摩藩 = 長州藩 = (薩長同盟成立後、長州藩は薩摩藩から武器を購入→英人の と長崎で取引)
年 藩が公武合体派の公家と画策 →長州藩と から尊攘派の 公家7名を京都から追放 (七卿落ち) 1864年 事件 が池田屋に会合中の長州藩 尊王攘夷派の志士を殺傷・逮捕 (局長= 副長=) 1864年 禁門の変を理由に、幕府が長州藩を攻撃 [欧米による圧力] ① (年) 列国が兵庫沖に軍艦を送り圧力かける →孝明天皇が修好通商条約を正式に承認 ただし、兵庫開港は認めず ② (年) と結んだ貿易に関する協約 →輸入関税を平均 %から %に引き下げ →この結果、 年以降輸入超過となる ③ 開港問題 (年) 西日本の諸藩の反対を押し切って兵庫を開港		
年 奇兵隊を中心とする長州藩に連戦連敗 →將軍 の急死を理由に中止 1866年 が 15代將軍に就任 ★ を進める		

薩長両藩(新政府)の動向	幕府の動向
反幕・倒幕運動(_____ [イギリス駐日公使] の援助)	公議政体論(_____ [フランス駐日公使] の援助)
1867年 明治天皇即位(← _____ 天皇死去) 1867年 _____ (10月14日) → _____ 年 _____ (____月____日) 朝廷から薩摩藩主・長州藩主に下された徳川慶喜の討伐命令 → _____ (公家)・大久保利通ら薩長藩士が画策(偽勅説が有力) _____ [社会の混乱] ① _____ (世直しを求めた百姓一揆) ② (政府から公認された13派の民間神道団体) の流行 ex. _____ (____)・_____ (____)・_____ (____) ③ _____ (____へ)の民衆の集団的な参詣) の流行 ↓ 約60年周期で発生(1650・1705・1771・1830年に数百万人が参詣) ④ _____ (____年から広がった民衆乱舞) 東海地方に伊勢神宮のお札が降ったことが契機 _____ 年 _____ (____月____日) ① _____・_____・_____ の廃止→天皇中心の新政府を樹立 ②三職(_____ [皇族]・_____ [公家・大名]・_____ [有力藩士]) の設置 1867年 _____ (12月9日夜) → _____ ① _____ の戦い(_____) (旧幕府軍と薩長軍が交戦→薩長軍が勝利) →江戸へ引き上げた慶喜追討のため、薩長を中心とした東征軍(官軍)を派遣	_____ [_____ (1868～69) (新政府・旧幕府間の戦争)] _____ ★ _____ [_____ 隊長] は _____ を掲げ進軍するが偽官軍として処刑 ②江戸城の無血開城(旧幕府側の _____・新政府側の _____ の会談) ↓ ★江戸を東京に改称→のち、 _____ から _____ に遷都(_____ 年) ③上野戦争(旧幕臣有志が _____ を結成し上野で新政府軍に抵抗) _____ (長州藩士) の指揮→ _____ など彰義隊は全滅 ④ _____ (奥羽越前藩が新政府に対抗して結成した同盟) ↓ _____ を擁して、東北25藩・越後6藩が参加 ⑤北越戦争(河井継之助[長岡藩家老]の抗戦も長岡城が落城) ⑥会津戦争(松平容保[会津藩主]を中心に新政府軍に徹底抗戦) ↓ 会津若松城の落城(_____ の集団自決)→奥羽越前藩同盟も崩壊 ⑦ _____ 戦争(_____ 年)→ _____ 陥落(戊辰戦争終結) → _____ [旧幕臣] 降伏・土方歳三[元新撰副将] 戦死
_____ 年 _____ (新政府の基本方針) (3月14日) 起草= _____ (越前藩士) 修正= _____ (土佐藩士) 加筆= _____ (長州藩士) 形式=明治天皇が天地神明に誓う形で発布 内容=公議世論の尊重(1.2.3条)・開国和親(4.5条) _____ 年 _____ (民衆の心得を表す5種の _____) (3月15日) ①五倫(儒教)道徳の遵守 ②徒党・強訴・逃散の禁止 ③キリスト教の禁止 but 長崎の _____ で列国から批判を受ける →キリシタン禁制の高札を撤去(_____ 年)	_____ [_____ (戊辰戦争の戦費を補うため新政府が発行)] _____ 1868年 _____ (高額の不換紙幣) の発行(_____ の建議) 1869年 _____ (小額の不換紙幣) の発行
_____ 年 _____ (三職を廃止して新政府の政治組織を定める) (4月21日) 起草= _____ [土佐藩士]・ _____ (佐賀藩士) 参考= _____ 憲法・『 _____] 『 _____]・『 _____] ① _____ の復活(太政官への権力集中) ②形式的な三権分立(_____・_____・_____ を設置) ③高級官吏の4年任期と互選による交代制 ④地方制度は _____ 1868年 _____ (天皇一代の間は一つの元号) ★明治に改元(1868)	

[NOTE]

_____ [_____ (金貨 or 銀貨) と交換できる紙幣)] _____	_____ [_____ (金貨 or 銀貨) と交換できない紙幣)] _____
① _____ (紙幣と金貨が交換できる・貿易取引を金貨で決済) ② _____ (紙幣と銀貨が交換できる・貿易取引を銀貨で決済) →通貨発行量は自国の正貨保有量と同じにする =通貨流通量が安定するので物価・紙幣価値は安定	自国の正貨保有量にかかわらず自由に紙幣を発行 →通貨発行量は政府がコントロール(_____) ①通貨発行量が多い場合→ _____ (物価高)・紙幣価値は下落 ②通貨発行量が少ない場合→ _____ (物価安)・紙幣価値は上昇

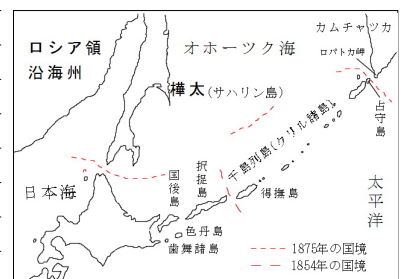
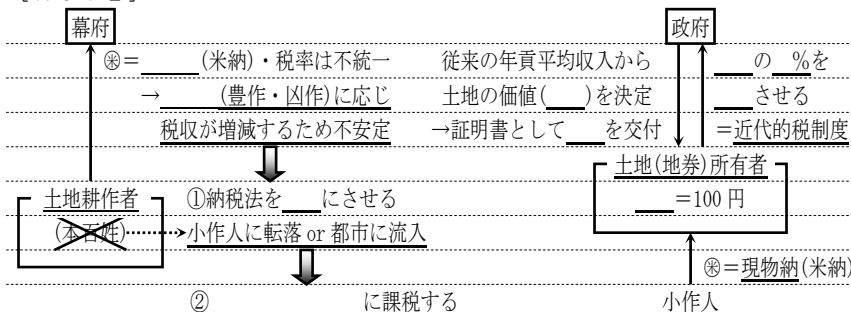
[A] 中央集権体制の強化

中央集権化政策	身分制度・経済政策
年 _____ (_____ に基づき (土地) と (人民) を天皇に返上) 建議 = _____ [薩摩藩士] ・ _____ [長州藩士] 薩長土肥の4藩主が奉還を申し出、諸藩主もこれにならう →旧藩主は _____ に任命され、<u>徴税・軍事など藩政にあたる</u> ★旧藩主の _____ (政府が支給する給与) は旧来の石高の <u>10分の1</u> 1869年 官制改革 (太政官(行政)の上位に _____ (祭祇) を設置)	1869年 四民平等 (公家・大名 → _____ ・武士 → _____ ・農・工・商 → _____) 1871年 _____ (えた・非人の称を廃止し、新平民とする) ----- 1871年 _____ (戸籍作成を全国的に統一する) → _____ (1872) (最初の全国的統一戸籍として作成) _____ 年 _____ (_____ の建議で統一貨幣制度を確立) ① _____ ・ _____ ・ _____ の _____ 進法 ② _____ (建前上) の採用 貿易のため開港場に限り _____ (1円銀貨) の通用を認める
年 _____ (藩を廃止し、政府直轄領の県を設置) ①薩長土3藩から集めた _____ (のち _____) の武力を背景に断行 ② _____ を罷免して東京居住 → 代わりに _____ ・ _____ を中央から派遣 1871年 官制改革 (_____ を廃止し、 _____ (_____ ・ _____ ・ _____) を設置) ★府 _____ 県(1871.7) → 府 _____ 県(1871.11) → 府 _____ 県(_____ 年) 年 _____ (徴兵令の意図を説明) → _____ (徴兵に反対して起きた農民一揆) 「西人コレヲ称シテ _____ トイフ」を誤解する	年 _____ (_____ の尽力) ① _____ の _____ の制度を参考 ②銀行に紙幣発行権を与えるが、紙幣の _____ 兌換を義務づける → _____ 年の _____ (頭取 = _____) を含め 行が設立 ★出資 = _____ 組 ・ _____ 組 (→ _____ 組と _____ 組は1874年に破産)
年 _____ (満20歳以上の男子に3年間の兵役義務) 構想 = _____ [長州藩士] 実現 = _____ [長州藩士] 理念 = _____ ★免役規定 (官吏・官立学生・戸主・嗣子・ _____ 270円納入者) 「 _____ (財源の安定と近代的税制確立のため) 」 年 _____ 年 _____ →土地所有者に _____ を交付 (<u>土地所有権が明確化される</u>) 年 _____ (地租改正は _____ 年までにほぼ完了) 不安定な _____ による土地耕作者の _____ を改めて (税率は不統一、 _____ の _____ %の地租を土地(地券)所有者に _____ させる (小作料は現物納) ★政府は従来の年貢による収入を減らさぬ方針で地租を決定 ★所有権が不明な _____ (山野などの共同利用地) は官有地へ編入	1873年 _____ 希望者に秩禄公債と現金で数年分を一括支給 ★廃藩置県後も政府が華族・士族に支給していた 秩禄 (_____ ・ _____) が政府歳出の _____ %を占める 年 _____ (_____ 発行条例) 華族・士族への秩禄の支給を廃止し、秩禄受給者に もとの禄高に応じて支給額の5~14年分を _____ で支給 →公債は5年間の据え置きで年利5~7%を支給する 年 _____ (軍人・警官以外の帯刀を禁止)
1876年 _____ (_____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ で発生) ↓ 1877年 地租を _____ %に軽減 ★「竹槍でドンと突き出す.....」	年 _____ 改正 (紙幣と _____ 兌換義務を削除) → _____ 行の国立銀行設立 (_____ 年) ★金禄公債証券を銀行設立の資本金とする特例を認める

[B] 明治初期の国際関係

日清・日朝関係	周辺地域
年 _____ (全権 = _____ [宇和島藩主]・_____) ①協定関税制の相互承認・②領事裁判権の相互承認・③最恵国待遇条款はなし 年 岩倉使節団派遣 (目的 = 条約改正の予備交渉と欧米の制度・文物の視察) 大使 = _____ (_____) 副使 = _____・_____・_____ 随行 = _____ 『_____』 (随行記) 留学生 = _____ (_____ を創設)・_____ (大山巖の妻)	年 _____ を北海道と改称 → _____ (北海道の開発・行政機関) 設置 〔北海道開拓事業〕 1872 年～開拓 10 年計画 _____ (米人) によるアメリカ式大農業法の導入 _____ (高等農業教育機関→のちの北大) 建 議 = _____ / 初代教頭 = _____ (米人) 卒業生 = _____ 『万朝報』記者・無教会主義 _____ 『_____』・国連事務局次長 ★ _____ (キリスト教信徒集団) 1874 年 _____ 制度 (建議 = _____ [開拓次官]) 士族授産の一環で、北海道開拓と北方警備にあたる
_____ 年 _____ (朝鮮が開国を拒否した場合は武力行使) → _____ の朝鮮への使節派遣を決定 _____ 年 岩倉使節団帰国 → _____ (国内の整備を優先して征韓論に反対) _____ 年 _____ (征韓論を却下された征韓派が一斉に下野) _____・_____・_____・_____・_____らが参議を辞任 _____ 年 _____ (指揮 = _____) ← → これに反対した _____ が参議を辞任 (政府を下野) 1874 年 _____ (駐清英公使) の調停で清国が賠償金を払い解決 _____ 年 _____ (日本軍艦 _____ が挑発行為を行い、砲撃を受けたため占領) _____ 年 _____ (朝鮮との日本有利な不平等条約) 全権 = _____・井上馨 ①朝鮮を「自主の国」として清国との宗属関係を否定 ② _____ の開港 ③日本の領事裁判権・関税免除の承認 	〔琉球帰属問題 (琉球は薩摩藩・清の日中両属体制)〕 1871 年 _____ 琉球の漂流民が台湾で現地住民に殺害される → 清国は台湾を「化外の地」として責任を負わず _____ 年 _____ の設置 (琉球王国を廃止して設置) 藩王 = _____ (_____ 年 _____ (琉球藩を廃止して沖縄県を設置)) ↓ (1879 年 _____ [前米大統領] の _____) 清国に宮古島・八重山諸島を譲る案→清国が拒否
	〔国境画定〕 (1855 年 _____ (全権 = 川路聖謨)) 国境は _____ 島・_____ 島の間 (_____ は両国雑居) ↓ _____ 年 _____ (全権 = _____) 国境は _____ 全島 (ロシア領)・_____ 全島 (日本領) 1876 年 _____ 領有宣言 (米・英に領有を宣言) _____ の管轄下→のち、_____ の管轄下 (1880)

[NOTE]



〔A〕殖産興業・文明開化

①政府の政策目標(スローガン)

- _____ (国の経済力発展と軍事力の強化)
 _____ (資本主義・近代産業の育成)
 _____ (西洋文明の積極的な移入)

②官庁の設置

- _____ 年 _____ 設置 (工部卿=_____)
 鉄道・電信・鉱山などの鉱工業部門を管轄
 →のち、鉄道・郵便・電信は_____が管轄
 _____ 年 _____ 設置 (_____=_____)
 農業・商業部門と警察・地方行政を管轄

③官営模範工場 (各地に設立された政府直営の工場)

- ex. _____ (_____ 県に開設された製糸工場)
 (1) _____ の製糸技術を導入
 (2) _____ (フランス人技師) が指導
 (3) 女工に土族の子女を集め、_____ 年に操業開始

④赤字の官営事業の払下げ (軍需工場を除く)

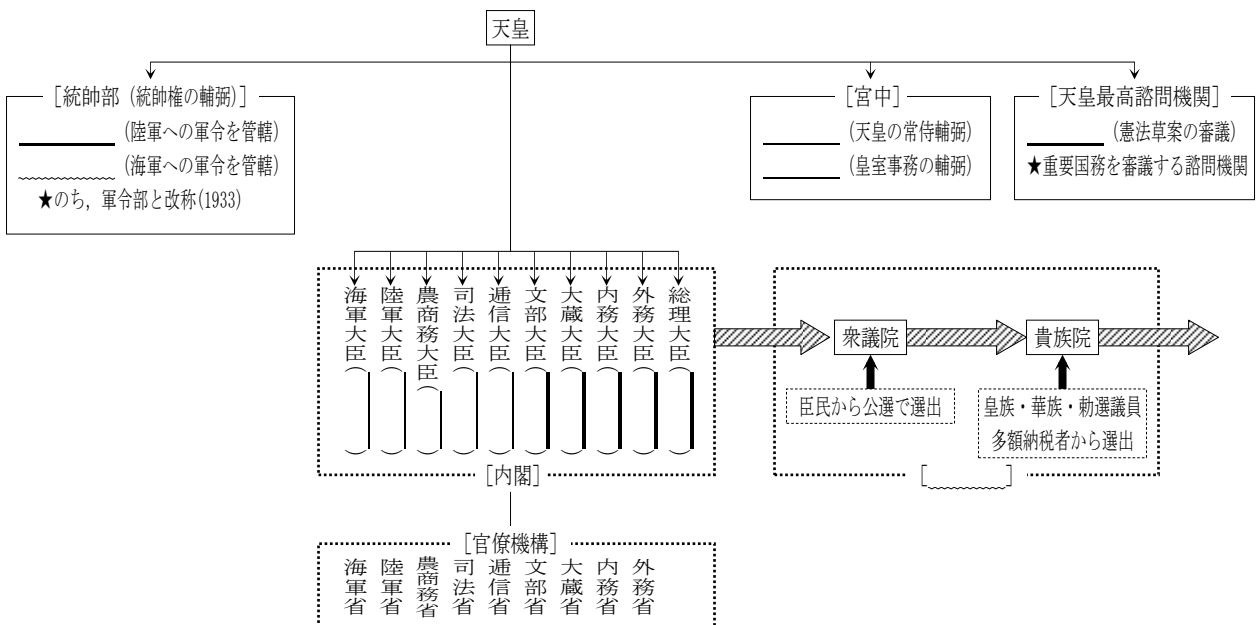
- _____ 年 _____ 制定 (工場の払い下げ進まず)
 ↓
 _____ 年 _____ 廃止 (工場の払い下げ本格化)

	官営工場・官営鉱山	補 足
軍 事	_____	旧幕府の関口製作所を継承した兵器製造工場
	_____	旧幕府の長崎製鉄所を継承した兵器製造工場
	_____	旧幕府の横須賀製鉄所を継承した造船所
	_____	政府→_____に払下げ
	_____	政府→_____に払下げ
鉱 山	佐渡金山 (新潟)	政府→三菱に払下げ
	生野銀山 (兵庫)	政府→三菱に払下げ
	_____ (長崎)	政府→_____に払下げ (はじめ _____ に払下げ)
	院内銀山 (秋田)	政府→_____に払下げ
	阿仁銀山 (秋田)	政府→_____に払下げ
	阿仁銅山 (秋田)	政府→_____に払下げ
そ の 他	足尾銅山 (栃木)	政府→_____に払下げ
	_____ (福岡)	政府→_____に払下げ (はじめ _____ に払下げ)
	_____ (_____ 県)	政府→_____に払下げ
	_____ (_____ 県)	政府→_____に払下げ
	_____ (東京)	政府→_____に払下げ
	_____ (東京)	優良種苗の育成・実験農場→のち木村莊平に払下げ
	_____ (東京)	内藤新宿に設立した農業教育学校→のち東大農学部
	_____ (東京)	軍服材料などのラシャを製造→のち陸軍省に移管

	通 信 ・ 交 通	文 明 開 化
通 信	_____ 年 電信開通 (_____ ~ _____ 間) ★のち長崎~北海道間まで延長 (1874) 1871 年 海底電線開通 (_____ ~ _____ 間) ★電話の輸入は 1877 年	1868 年 _____ (_____ を禁止した法令) → _____ (仏教排斥運動) が激化 (→仏教衰退) ★ _____ (浄土真宗僧) ・ _____ (_____ 創立) が復興努力
	_____ 年 郵便制度開始 (_____ ~ _____ 間) _____ (郵便頭) の建議 →全国均一料金制の採用 (1873) ★ _____ (世界的な郵便組織) に加盟 (1877)	1870 年 _____ (神道国教化の推進を表明) 宣教師による神道国教化の推進→仏教勢力の抵抗などで失敗 「 _____ (欧米列強の文明・風俗・慣習を取入れる) 」
交 通	_____ 年 鉄道開通 (_____ ~ _____ 間) (陸蒸気と呼ばれる) ↓ ★ _____ (英人) の指導のもと、 _____ の技術と資金を導入 1874 年 鉄道開通 (_____ ~ _____ 間) ★東海道本線全通 (_____ 年) [海運業 (民間)] 1873 年 _____ (土佐出身の政商 _____ が設立) ↓ 九十九商会 (1870) →三菱商会 (1873) →三菱汽船会社 (1875) 1885 年 _____ (三菱汽船会社と _____ が合併)	①衣……散髪脱刀令 (1871 年に散髪・脱刀・洋服を自由化) _____ ・洋服が軍隊・官吏・巡査から民間に広まる ★「 _____ をたたいてみれば文明開化の音がする」 ②食…… _____ の流行 ③住…… _____ の洋風建築 (東京の銀座通り) ★銀座通りを _____ ・鉄道馬車 (のち電車) が走り、 街路に _____ (のち _____) が灯る (最初は横浜居留地) ★一般家庭では行灯→石油ランプが使用され始める
	_____ 年 第一回 _____ 殖産興業の目的で、 _____ が _____ 公園で主催した国内の博覧会 ★ _____ (全国各地で開かれた産業技術交流会)	_____ 年 _____ の採用 (→1 日 24 時間・1 週間 7 日・日曜休日制) _____ (旧暦) による _____ (_____ 年 月 日) を 太陽暦 (新暦) による 1873 (明治 6) 年 1 月 1 日とする ★農村では依然として太陰太陽暦 (旧暦) を使用 1873 年 祝祭日の制定 _____ = _____ 月 _____ 日 (神話上の神武天皇即位日) _____ = _____ 月 _____ 日 (明治天皇の誕生日) ★端午の節句などの五節供・年中行事は祝祭日とされず

[B] 条約改正

内閣	担当者	交渉年	交渉の内容	失敗の原因
	_____	_____年	岩倉遣外使節団(_____年~_____年) 目的=条約改正の予備交渉と欧米の制度・文物の視察	→最初に赴いたアメリカと交渉するが失敗
	_____	1878	目標=_____回復(国別交渉) →_____賛成(日米関税改定協約調印)	→_____・_____が反対したため失敗
_____	_____→_____ (1885~)	1882 ~87	目標=_____回復(一斉交渉)← ①_____ (1882) ↓→極端な_____ ex. _____ ②正式会議(1886~87) → (1) 2年以内に外国人の_____を承認 (2) 外国人判事の任用 (3) 2年以内に近代的諸法典を整備	_____事件(_____年) 紀伊半島沖で難破し沈没日本人25人が全員水死 but 領事裁判権による判決は船長の禁錮3ヶ月のみ ③政府の反対 ↓ → _____・_____ [_____大臣] ④国内の反対 → _____「_____」
_____	_____	1888 ~89	目標=_____回復(_____秘密交渉) → _____に限り外国人判事を任用 but 改正案を『_____』に暴露される	→大隈重信暗殺未遂事件(1889) _____ (右翼団体) の _____ が大隈重信を襲撃
_____	_____	1891	目標=_____回復(一切の条件なしで英国と交渉) → _____が同意(ロシアの東アジア進出に警戒)	_____事件(_____年) ロシア皇太子(_____)を _____ が襲撃
_____	(_____) ←			↓ 「司法権の独立」 政府は _____ を適用して犯人の死刑を要請したが、大審院長 _____ はこれに反対し無期徒刑の判決を下す
_____	『_____』(自叙伝) (駐英公使=_____)	_____年	完全回復→ _____ (_____年) 領事裁判権の撤廃・最恵国待遇の相互平等・税権の一部回復 →発効されたのは _____ [外相] 時の _____ 年(有効期限は12年)	
_____	_____	_____年	完全回復→ _____ 改正(_____年)	



〔A〕士族民権・豪農民権

政府の対応	反政府勢力
年 _____ (征韓派が参議を辞職) → 年 _____ (_____) これに抗議して _____ 下野 (参議を辞職) 年 _____ (_____ [卿] の画策) ← ① _____ が参議に復帰 ② _____ → _____ 設置 (立法諮問機関) → _____ 設置 (司法最高機関) → 地方官会議開催 (_____ を集めた会議) 年 _____ (政府批判記事の禁止) ←	年 _____ (東京で結成された政治結社→のち佐賀の乱で解党) 年 _____ 年 _____ 年 _____ 爱国公党の8名が _____ (薩長の _____) 専制政治に対し、民撰議院 (国会) 開設要求の建白書を太政官の _____ に提出 →翌日, _____ (英人) の『 _____ 』に掲載される 年 _____ (首領 = _____ [卿]) 年 _____ (土佐で板垣退助が片岡健吉・植木枝盛らと結成した _____) 年 _____ (大阪で結成された立志社を中心とした最初の全国的 _____) →のち解散 (板垣退助が参議に復帰してしまったため)
年 _____ (士族の帯刀を禁止) (武士の特権を奪うことに反発) 年 _____ (_____ 発行条例) 秩禄受給者にもとの禄高に応じて数年分を _____ で支給 (1878年 _____ 事件 (西南戦争の恩賞に不満な近衛兵による反乱)) → _____ (_____ 年) (起草 = _____) 年 _____ (従来の _____ を改め, _____ が制定) ← _____ (府県の下部地方単位を定める) _____ (従来の各種の税を地方税として統一) _____ (各地の _____ を全国的に法制化し, 府県会を開設) ★府県会の議員に豪農などを選出 = 豪農の政治参加の契機	1876年 _____ (熊本県/首領 = _____) → 1876年 _____ (福岡県/首領 = _____) → 1876年 _____ (山口県/首領 = _____) → _____ 年 _____ (鹿児島県/首領 = _____) 1877年 _____ 建白書 (中心 = _____ [立志社社長]) 西南戦争の最中, 国会開設を要求するが政府は却下 年 _____ 再興 at 大阪
年 _____ (集会・結社の自由を規制) ← _____ [政府内の対立 (国会開設をめぐる対立)] _____ (時期尚早派) VS _____ (早期開設派) ★ _____ (1878) による大久保利通暗殺後, 実権をめぐる対立 年 _____ 事件 北海道開拓使の官有物を _____ [開拓長官] が 同郷の薩摩出身の政商 _____ [_____ 社長] に 不当に安い価格で払い下げようとしたことが露顕し問題化 ★ _____ = 政府から特権を与えられた資本家 年 _____ ① 開拓使官有物の払下げを中止 ② _____ の罷免 ③ _____ (1) _____ 年後の _____ 年に国会を開設することを公約 (2) 欽定憲法 (天皇が制定した憲法) を定めることを表明	年 _____ (爱国社第 _____ 回大会で名称変更) 国会開設請願書を提出するが, 政府は受理せず _____ [_____ (民間で作成された憲法私案の総称)] _____ 「 _____ 」 _____ 人民主権/一院制/抵抗権・革命権を規定 _____ 「 _____ 」 _____ 「 _____ (_____) 」 _____ 「 _____ 」 _____ 君民共治/二院制/イギリス流議院政治 年 _____ (_____) ★機関紙 = 『 _____ 』 _____ 流の急進的な自由主義で, 地方農村が支持基盤 年 _____ (_____) ★機関紙 = 『 _____ 』 _____ 流の漸進的な議会政治で, 資本家・知識人が支持基盤 1882年 _____ (_____) ★機関紙 = 『 _____ 』 天皇中心主義 (→政府の超然主義により翌年解党)

不平士族の反乱

[B] 農民民権

政府の対応		反政府勢力	
〔 _____ (_____ 卿) = デフレ政策 〕 _____ 年 _____ が _____ 卿に就任 (前大蔵卿は _____) ① 不換紙幣の整理 → 増税 (_____ 税や煙草税など) による歳入の増加と 緊縮財政による歳出の抑制 (軍事費を除く) ② 軍需工場を除く官営工場の払下げ → _____ の廃止 (_____ 年) で本格化 _____ 年 _____ 設立 (建議 = _____ [大蔵卿]) 日本最初の中央銀行 (_____ の制度を模範) _____ 年 _____ 再改正 _____ から紙幣発行権取り上げ → 国立銀行は _____ へ _____ 年 _____ 兌換の日本銀行券を発行 _____ 年 _____ 兌換の政府紙幣も発行 (_____ 確立)		1882 年 ~ 農村不況 (_____ により _____ 価・ _____ 価が下落) 地租は定額金納であったため自作農は没落 (→ 地主に土地集中) → 地主は _____ (小作料収入だけで生活する大地主) へ成長 _____ 年 _____ 〔自由党急進派の激化事件〕 _____ _____ 年 _____ 事件 (_____ [_____ 県令] の圧政に反対) _____ [福島県会議長] ら自由党員を検挙 1883 年 _____ 事件 (新潟県) 1884 年 _____ 事件 (群馬県) ★ 妙義山麓で蜂起するが失敗 _____ 年 _____ 事件 (_____ [_____ 県令] の圧政に反対) 自由党員が三島通庸らの暗殺を計画するが失敗 _____ 年 _____ 事件 (田代栄助を総理にした最大の農民反乱) 貧農が _____ 党・ _____ 党を結成し蜂起 → 軍隊が出動し鎮圧 _____ 年 _____ 事件 (旧自由党員が朝鮮独立・日本内政改革を計画)	農民民権
1882 年 _____ ・ _____ のヨーロッパ外遊 ← _____ _____ 事件 (板垣退助が襲撃された事件) 後、政府の勧めで _____ ・ _____ が欧州に外遊 (外遊費用は三井が出資)			
_____ 年 _____ (民権派を皇居外 _____ 里の地に _____ 年間追放) → 星亨・片岡健吉・ _____ ・ _____ ら _____ 余名追放 1888 年 _____ が入閣 (_____ 内閣の _____ 大臣) ← _____ 1889 年 _____ が入閣 (_____ 内閣の _____ 大臣) ← _____		_____ 年 ~ _____ (提唱 = _____ / 継承 = _____) 1890 年の国会開設に備えて、反政府諸派の結集をめざした運動 _____ 年 _____ (中心 = 片岡健吉) _____ [外相] の条約改正交渉の失敗を機に 三大事件 (_____ , _____ , _____) の 三項目を要求した _____ を元老院に提出 → 全国に拡大	再結集

[NOTE]

<大隈財政(1873~1880) = 大隈重信(大蔵卿)によるインフレ政策> → <松方正義(1881~1892) = 松方正義(大蔵卿・大臣)によるデフレ政策>

① インフレの原因

(1) 国立銀行条例改正(1876) → 民間の国立銀行が不換紙幣を発行

(2) 西南戦争(1877) → 戦費調達のため政府が不換紙幣を発行

② 不換紙幣を増発

③ 紙幣流通量が増大

④ 紙幣価値が下落 → ① 政府の歳入は実質的に低下

⑤ 物価が上昇(物価高) → ② 農産物価格(米価など)が上昇
= インフレーション → 農民の地租負担は実質的に軽減

⑥ 輸出減少・輸入増大

⑦ 正貨保有量が減少

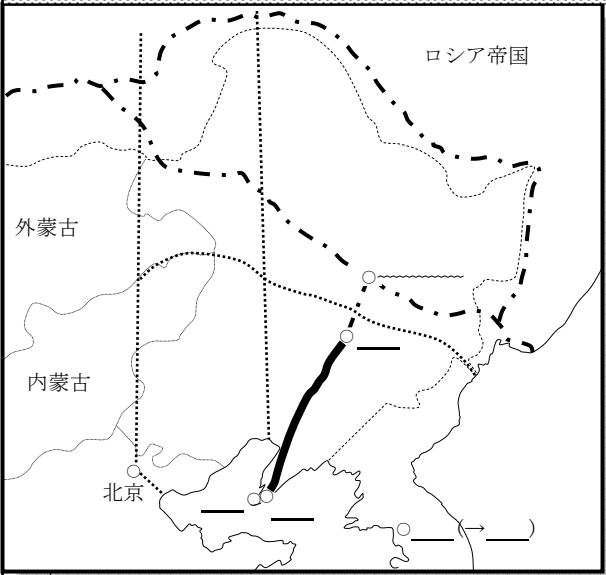
- 164 -

[B] 初期議會

内閣	政 府	民 党（反政府勢力）	政党の変遷
〔藩閥内閣〕	第一 議 会 「_____」(政府の方針) _____年 陸海軍軍事費増額要求 → 民主党が反対 _____〔首相〕の「_____・_____」演説 _____派を買収し軍拡予算を成立 ←	「_____・_____」(民党の方針)	
〔藩閥内閣〕	第二 議 会 _____年 海軍軍事費増額要求 → 民主党が反対 _____〔相〕の「_____」 → 議会紛糾 (→政府は衆議院解散)		
第三 議 会	1892 年 第二回衆議院議員総選挙 → _____〔相〕の選挙干渉 → 品川弥二郎の選挙干渉責任迫及 1892 年 内閣総辞職 ←		
〔_____内閣〕	第四 議 会 1893 年 _____(_____) → 第4議会から自由党は政府に接近 議会も建艦に協力せよとの天皇からの詔勅		
第五・ 第六 議 会		_____ (中心= _____・_____) 現行条約履行を主張して _____〔外相〕の 条約改正交渉を攻撃 (→政府は衆議院解散) 内閣弾劾上奏案可決 (政府は衆議院解散)	
〔提携= _____〕	1896 年 _____が _____大臣に入閣		
〔提携= _____〕	1896 年 _____が _____大臣に入閣 _____年 _____(_____の賠償金を元手に _____を確立)		
〔_____内閣〕	1898 年 _____否決 (戦後経営の財源確保のため) 自由党と進歩党が否決 → 政府は衆議院解散 → _____年 _____結成 (_____と _____が合同)		
〔_____内閣〕	_____年 最初の政党内閣 (陸相・海相以外は憲政黨員) _____〔首相〕・ _____〔相〕 1898 年 _____事件 (_____〔相〕が辞任) → 1898 年 憲政党分裂 (後任人事で内部対立)		
〔提携= _____〕	_____年 _____可決 (_____ % → _____ %) 「政党進出防止策 (1899)」 ① _____改正 (文官の任用資格の規定) ② _____ (文官の身分と職務を保障) ③ _____ (文官に対する懲戒の理由を限定) _____年 _____ → ★憲政党は山県との提携を断絶 → 伊藤博文に接近 _____年 陸・海軍大臣は現役の大將・中將からのみ任用 _____年 _____ (社会運動・労働運動を抑える法令) _____年 衆議院議員選挙法改正 直接国税 _____円以上納入者 (有権者=全人口の _____ %)	_____年 _____結成 (総裁= _____) ★ _____は「_____」を 『_____』に発表し、これを批判	
〔_____総裁〕	1901 年 内閣総辞職 (増税案を _____で反対され閣内不統一) ←		

- 166 -

[B] 日露戦争

朝鮮関連事項		ロシア関連事項・その他	
		[日本の対応 (←北清事変後もロシアは満州駐兵)] ① _____ (満韓交換論) (_____ が主張) ② _____ (_____ [首相]・_____ [外相] が主張) ↓ 年 _____	
年 _____ ↓ 日本軍の韓国内での通行権・軍事上必要な土地収用権 年 _____ 日本政府推薦の _____ 顧問の設置 「韓国保護国化の承認 (ポーツマス条約の締結前)」 年 _____ 日本の韓国・アメリカの _____ 支配を相互に承認 年 _____ 日本の韓国・イギリスの _____ 支配を相互に承認 ↓ 年 _____ (韓国の外交権を掌握) ← → _____ → _____ [初代統監] at _____ 1907年 _____ 事件 in _____ の _____ ↓ 年 _____ 韓国皇帝 _____ が密使を送り、日本の無法を訴えた事件 年 _____ (韓国の内政権(行政権)を掌握) 韓国の軍隊解散 → _____ (韓国軍隊中心の反日武装闘争) 年 _____ 暗殺事件 ← ↓ 年 _____ が _____ で _____ に射殺される 年 _____ 条約 (韓国を日本の植民地とする) 全権 = _____ (日本)・_____ (韓国) → _____ → _____ [初代総督] at _____ 「朝鮮土地政策」 _____ (1908年設立の朝鮮の土地開発を行う国策会社) _____ (1910年から朝鮮で行われた土地調査・測量事業)		「民間意見」 開戦論 _____ (_____ らが結成した国家主義団体) 七博士意見書 (東大教授の _____ ら七博士が発表) 非戦・反戦論 _____ (キリスト教の立場から反対) _____ (社会主義の立場から反対) 『 _____ 』 (_____ が創刊) が主戦論に転じたため退社 → _____ を設立し、『 _____ 』を発行 _____ 「君死にたまふこと勿れ」 in 『 _____ 』 _____ 「お百度詣で」 in 『 _____ 』 ↓ 年 _____ [_____ 内閣時] _____ 占領 (乃木希典の指揮) → _____ 会戦 (大山巖の指揮) → _____ 海戦 (_____ の指揮のもと _____ を壊滅) ↓ 「 _____ 年 _____ 条約 (日露戦争の講和条約)」 全権 = _____ [_____ 相]・_____ (ロシア全権) ★ _____ [米大統領] の仲介 ① _____ に対する指導権の承認 ② _____ の租借権 (清国は _____ 条約で承認) ③ _____ 以南の _____ と附属利権の譲渡 ④ _____ 度以南の _____ 割譲 ⑤ _____ の漁業権 ↓ 年 _____ 事件 (条約に不満な民衆が暴動) _____ をいって軍隊を出動させ鎮圧 年 _____ (関東州の行政機関) at _____ ★ _____ 年に分立 → _____ (行政担当)・_____ (軍事担当) 年 _____ (半官半民の国策会社) at _____ 初代総裁 = _____ 「日露戦争の影響」 ① アジア = 民族運動の高揚 (→ 中国の _____ などに影響を与える) ② 欧米 = _____ (黄色人種が白人人種に禍をもたらすとする主張) 1906年 カリフォルニア日本人移民排斥問題・_____ 学童排斥問題 1908年 _____ (アメリカへの日本人移民を規制) _____ 年 _____ (アメリカが日本人移民の入国を禁止)	
西園寺公望①			
満州問題	1905年 _____ 計画 (アメリカの鉄道王による満鉄買収計画) 1908年 _____ (太平洋・中国に関する日米間協定) 1909年 _____ [アメリカ国務長官] 提案 満州鉄道の列国共同経営による中立化を提案	1907年 _____ (日本 = 南満州・ロシア = 北満州の利益範囲) 1910年 第二次日露協約 (第一次日露協約よりも積極化) 1912年 _____ (← _____ が契機) 内蒙古における利益範囲を確定 (東側 = 日本領 / 西側 = ロシア領)	

背景	—— [松方財政] —— 1881年～松方財政 (デフレ政策を推進) 1886年 _____ (会社設立ブーム) 中心 = _____ 業 _____ 年 最初の恐慌 (企業勃興の反動)	—— [日清戦争後] —— _____ 年 _____ 制定 (_____ 内閣) → _____ を確立 _____ の賠償金が元手 1円金貨 = 金 _____ g を含む 1ドル金貨 = 金 _____ g を含む _____ 年 _____ 恐慌 (好景気の反動) —— [特殊銀行] —— 銀行 (_____ 年) (貿易金融銀行) _____ 年に設立 → _____ 年に特殊銀行となる 銀行 (1897) (農工業金融銀行) 銀行 (1902) (産業資本金融銀行) 銀行 (1898) (各府県に設立)	—— [日露戦争後] —— 1904年 日露戦争 (戦費は _____ 億円) ↓ _____ (7億) ・ _____ (6億) で負担 _____ 年 _____ 恐慌 ↓ _____ 日露戦争後の反動恐慌 _____ 年 _____ (節約と勤勉を説く) 1909年 _____ (_____ 省中心) —— [_____ (_____ が中心)] —— _____ (_____) ★江戸時代の両替商 _____ (_____) ★岩崎弥太郎が創始 _____ (_____) ★伊予別子銅山を経営 _____ (_____) ★太政官札の買取で巨利
	第一次産業革命 (日清戦争前後 = 軽工業中心) ①原料 = 国産の繭 (農村の養蚕業を基盤) ②輸出先 = _____ ③製糸技術 _____ (在来技術) → _____ (フランスの輸入機械を日本型に改良)	第二次産業革命 (日露戦争前後 = 重工業中心) _____ 年 _____ _____ 生産量 < _____ 生産量	財閥の多角的経営 (コンツェルン型) _____ 年 _____ 生糸輸出量世界第1位 (_____ を抜く)
	①原料 = 輸入綿花 (_____ 産 → _____ 産) → _____ 会社がインドへの _____ を開設 (1893) ②輸出先 = _____ ・ _____ ③紡績技術 _____ → _____ → _____ (_____ が発明) (イギリス製機械紡績) (アメリカ製機械紡績) 「 _____ 会社」 ① _____ が _____ 年に設立し, _____ 年に操業 ② _____ の _____ を採用 (動力は _____) → 1万鍾規模の紡績工場 (従来は2000鍾) ③昼夜二交代制の24時間操業 (深夜業の採用) ④のち三重紡績と合併 → _____ 会社 (1914) 「政府の奨励策」 輸出関税撤廃 (1894) 輸入関税撤廃 (1896) _____ 年 綿糸輸入量 < 綿糸生産量 → _____ 年 綿糸輸入量 < 綿糸輸出量		※砂糖輸入の大半は _____
綿織物業	_____ 年 綿布輸入量 < 綿布生産量 _____ (_____ を取り入れて改良) → _____ (_____ が発明)		_____ 年 綿布輸入量 < 綿布輸出量
鉄道業	_____ 年 _____ 会社 (_____ ～ _____ 間) _____ が出資した最初の民営私鉄会社 _____ 年 東海道線全通 (_____ ～ _____ 間) 1889年 官営の営業キロ数 < 民営の営業キロ数		_____ 年 _____ 私鉄 _____ 社を買収 → 90%を国有化
鉄鋼業・機械工業		_____ 年 _____ (官営) 技術 = _____ に依存 原料 = 清の _____ (鉄鉱石) 福岡の _____ (石炭) 満洲の _____ (石炭)	_____ 年 _____ (民営) _____ とイギリス会社が提携して _____ に設立された兵器製造会社 1906年 _____ (民営) アメリカ式旋盤の完全製作に成功

[B] 労働運動・社会主義運動

社会問題	「_____ (繊維産業の女子労働者→零細農家の若い女性が多い) _____」 スト(1886) (_____ の _____ 工場で起こった日本最初のストライキ) スト(1894) (_____ の _____ 工場で起こった紡績業最初のストライキ) _____ (1888) _____ が経営する _____ の鉱夫虐待事件を雑誌『 _____ 』が取り上げ問題化 ★ _____ (_____) の下での過酷な労働条件・鉱夫虐待事件を取り上げる _____ (1901) (_____ 経営の _____ 県足尾銅山の鉱毒が _____ 川流域に流出) ★ _____ (1900年に被害農民が陳情のために上京しようとするが官憲に弾圧された事件) → _____ (_____ 党に所属する衆議院議員) が明治天皇に直訴(直訴文を書いたのは _____)	「労働者の実態調査」 1884年 _____ 『 _____ 』 _____ 年 _____ 『 _____ 』 _____ 年 _____ 『 _____ 』 _____ 年 _____ 『 _____ 』 1968年 _____ 『 _____ 』
	労働運動・社会主義運動	政府の動き
労働運動	_____ 年 _____ (労働組合の結成呼びかけを目的とした組織) ↓ _____ 年 _____ (労働組合の結成を指導する組織) _____ 年 _____ (機関誌『 _____ 』を編集) _____ 年 _____ (労働組合(労働組合期成会の指導により結成)) _____ 年 _____ (労働組合の結成を指導する組織)	1899年 _____ (農業の発展・改良を図る農会に補助金を交付) 1900年 _____ (農業などの協同(産業)組合の設立を認可) ★第二次世界大戦後、 _____ に改編 _____ 年 _____ (_____ 内閣) 労働運動・社会主義運動を抑制するための法令 ①未成年者・ _____ などの政治活動を禁止(第5条) ②労働者の団結権・争議権を実質的に禁止(第17条)
社会主義運動	1898年 _____ (社会主義の研究と普及を目的とした組織) ↓ 1900年 _____ (社会主義の実践を目的とした組織) ↓ _____ 年 _____ (最初の社会主義政党→ _____ により即日禁止) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党)	図解NOTE [社会主義]
	_____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党)	
	1903年 _____ (_____ ・ _____ が結成した社会主義の結社) _____ が創刊した『 _____ 』が主戦論に転じたため退社 →『 _____ 』を発行し、社会主義の紹介や日露反戦論を展開	
	_____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党) _____ 年 _____ (最初の合法的社会主義政党)	西園寺公望①内閣は黙認 解散命令(直接行動派が優勢になったため) 西園寺公望①内閣総辞職
	_____ 年 _____ (明治天皇爆殺を計画した容疑で逮捕・処刑) → _____ 年 _____ (警視庁内に設置) _____ 年 _____ (警視庁内に設置) _____ 年 _____ (警視庁内に設置) _____ 年 _____ (警視庁内に設置)	社会主義などの思想犯・政治犯を取り締まる警察 _____ 年 _____ (_____) に基づき制定された労働者保護法) ① _____ 歳未満の就労を禁止 ② _____ 歳未満・ _____ の深夜業、 _____ 時間を超える労働を禁止 → _____ 業に14時間、 _____ 業に期限付きで深夜業を認める ③ _____ 人未満の工場には適用されず ④資本家の反対により施行は _____ 年(大隈重信②内閣)

[A] 桂園時代

政 治		外 交 ・ 経 済	政党の変遷
〔藩閥内閣〕		1904 年 日露戦争（日露戦争の戦費は____億円） 戦費不足のため、国内増税で3億円余を負担 →残りは____（7億円）と____（6億円） ↓ 1905 年 ポーツマス条約（賠償金はなし）	立憲政友会 憲政本党 大同倶楽部 (1905)
	1907 年 _____（国防対策の基本方針） 陸軍＝____師団→____師団へ増強 海軍＝____計画（戦艦・巡洋艦各八隻を建造） but 日露戦争後の財政難のため、予定通りに進まず	____年 _____（日露戦争後の反動） 日露戦争に伴う財政難のため	
	1910 年 _____ 兵役を終了したが、戦争・事変の際には召集される 予備役・後備役・退役（在郷）軍人を統合する全国組織	____年 _____（国民教化のための詔書） 日露戦争後、国民に対し <u>節約と勤勉を説く</u> 1909 年 _____ ____省が中心となり推進した国富増強運動 →農村の復興を進め、旧村落を町村に再編	立憲国民党 中央倶楽部 (1910)
	____年 _____天皇（嘉仁親王）即位（←明治天皇崩御） ↓ 1912 年 _____ 陸軍が____に駐屯する2個師団の増設を要求 →西園寺公望内閣は財政難を理由に要求を拒否 ↓ 1912 年 _____（陸相）が単独辞任 ____権（陸海軍がもつ天皇に意見を上奏できる権限） を利用して天皇に辞表を提出→後任決まらず、 内閣総辞職 ★2個師団増設の実現は____内閣(1915)	1911 年～____ ____（____主義・____主義・____主義） を提唱した____の指導のもと満州族の清朝を 滅ぼし、中華民国を成立させた革命 ↓ 1912 年 _____成立 孫文が中華民国臨時大總統に就任 →のち、____ら軍閥に政権を奪われる	
〔藩閥内閣〕	1912 年 _____内閣（____兼侍従長から組閣） 1912 年 _____（憲政擁護運動） ____・____ ★「憲政の神様」と称される 「____・____」（スローガン） ↓ 1913 年 _____（53日で桂内閣退陣）	① 対抗した桂太郎は新党結成を画策 ↓ ★____・____の議員を集めて結成 ② _____結成（総裁＝____）	

[NOTE]

<明治時代までの日本の権益>

①植民地＝____（____が統治）・____（____が統治）・____（____が統治）

②租借地＝____・____（____が統治→____年に行政の____・軍事の____に分立）
____（大連－長春間を満鉄が経営）・____（安東－奉天間を満鉄が経営）

③不割譲＝____（他国に割譲しないことを約束させる）

④特殊権益＝____（____）（鉱山採掘権・鉄道敷設権などの経済的な利益範囲）

<中国(清・中華民国)の動向>

1905 年 孫文が東京で____を結成（日露戦争の日本の勝利に影響を受ける）

1911 年 _____（孫文の指導のもと満州民族の清王朝を倒す）

1912 年 _____成立（孫文が中華民国臨時大總統に就任）

→南北妥協で孫文は譲位し、____（軍閥）が大總統に就任

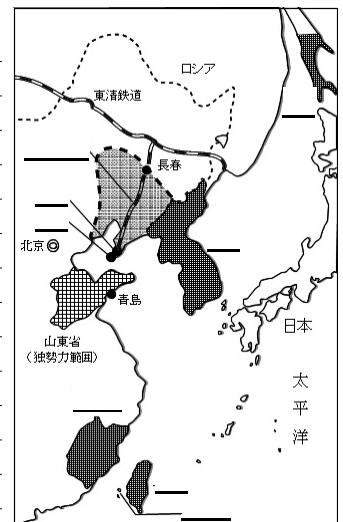
1913 年 袁世凱（軍閥）の独裁政治→反抗に失敗した孫文は日本に亡命（1913～1916）

↓◎(1916)

→のち孫文が中国南方に____を結成(1919)

____（軍閥）が引き継ぐ

★孫文の死後(1924)は____が引き継ぐ



日本 の 大 陸 進 出		世 界 情 勢
〔与党Ⅱ〕	 [軍部抑制・政党進出] 1913 年 <u>改正</u> 陸・海相の任用範囲を現役と.....・..... (現役を終えた軍人) の大將・中將に拡大 1913 年 <u>再改正</u> 自由任用・特別任用の範囲を広げ、政党员の高級官僚進出への道を拡大 1914 年 <u>廃税運動</u> (.....の3税廃止運動) ★山本権兵衛 [薩摩出身の元海軍大將] が計画した海軍の軍拡に国民が反対 1914 年 (ドイツ社の軍艦購入をめぐる海軍の汚職事件) → 内閣総辞職	〔.....〕 イギリス ロシア フランス VS 〔.....〕 ドイツ オーストリア イタリア ↓
	★..... [元老] の参戦提言 (.....を「大正新時代の.....」と表現) ← 1914 年 への宣戦布告 (.....を口実に参戦決定) ← → 陸軍 = 省 (ドイツ東洋艦隊の根拠地) を攻撃・占領 → 海軍 = <u>赤道以北のドイツ領</u> を攻撃・占領 ★..... (.....の記者) は植民地放棄などの『.....』を主張 ↓ 年 (.....政府に対する中国権益の拡大要求) ①..... 省のドイツ利権の継承 ②.....・.....の権益強化 →.....・.....の租借期限,の権益期限.....ヵ年延長 ③..... (中国の民間の製鉄会社) の日中共同経営 ④.....の他国への不割譲の再確認 ⑤<u>中国政府に日本人顧問の採用</u> ★中国では要求を受諾した.....月.....日を.....として反日運動高揚 年 (極東における両国の特殊権益の相互確認) ↓ 1917 年 <u>日英覚書の交換</u> (日本の山東省ドイツ利権の継承を確認) 年 (日米両国間の中国に関する協定) 全権 = [特派大使]・ランシング [國務長官] 米国 = 中国における日本の特殊権益を承認 日本 = 中国における.....・.....・.....を承認 ↓ 年 (中国の.....政権へ.....を派遣して1億4500万円を融資) ↓ 年 ~ (.....軍の救出を名目に.....・.....・.....が出兵) ← 目的 = <u>革命の国内波及の防止と北満州・シベリアへの勢力拡大</u> ★..... (.....年にニコラエフスクで日本人居留民が.....に殺害される) ↓ 年 (シベリア出兵を見越した米商人の買占め・売り惜しみによる米価高騰が背景) 県の漁村主婦達の蜂起が契機 → 軍隊を出動させ鎮圧したため 内閣総辞職	 年 勃発 1914 年, で 皇太子夫妻がセルビア青年により暗殺された事件 (.....) を契機に、オーストリアが.....に宣戦布告 ↓ 大總統 (中華民國) ↓ (北方) (南方) ↓ 年 を最後の皇帝とするロマノフ王朝が倒れ(三月革命),を中心としたソヴィエト政権が樹立(十一月革命)

[NOTE]

..... 年 (革命によりロシア帝国が滅亡→.....を中心としたソヴィエト政権が成立)
→ 革命後、ソ連は..... (革命の指導組織) を通じて各国に共産主義を指導
★のち、中国で中国共産党(1921)・日本で..... (.....年) などが結成される
↓
..... 年 (革命の世界的広がりを恐れた列強諸国が出兵)

外 交 ・ 経 済	政 治
1918 年 <u>本格的政党内閣の誕生</u> (. . . 大臣以外は全て立憲政友会議員 (衆議院議員) は華族でも薩長出身でもないことから _____ と呼ばれる _____ [<u>四大政綱</u> (大戦景気を背景に _____ を公約)] _____ ①<u>産業・貿易の振興</u>・②<u>鉄道・道路など交通機関の整備</u>・③<u>国防の充実</u>・④<u>高等教育機関の拡充</u> _____ 年 <u>第一次世界大戦終了</u> (アメリカの参戦(1917)で連合国側が勝利しドイツが降伏) ★ソ連はドイツと単独講和(ブレスト=リトフスク条約)を結び大戦から離脱(1918) _____ 年 _____ [_____ 年 _____ (第一次世界大戦の講和会議)] _____ 全権 = _____ . _____ ①<u>国際連盟設立の決定</u> (_____ [米大統領] の提唱) 「<u>14 カ条の平和原則</u>」(ウィルソンが発表した _____ . _____ などの原則) → _____ (_____ 事件) 1919) (朝鮮で起きた反日独立運動) ソウルで独立宣言を発表し「独立万歳」を叫ぶ大示威運動となるが、日本は武力鎮圧 ★ _____ [3代朝鮮総督] が朝鮮統治策を _____ から _____ (融和策) へ転換 ex. _____ の廃止・朝鮮総督の任用範囲を武官制から文官にまで拡大 ②<u>人種差別禁止(撤廃)案</u> (日本移民排斥が背景→米・英の反対で不採択) ③ _____ (連合国とドイツとの間で結ばれた講和条約) (1) _____ の <u>ドイツ利権</u> の承認 → _____ (1919) (中国で起きた北京の学生デモを契機とする反日運動) 講和条約の内容に反発→のち _____ (日本製品不買運動) に拡大 (2) <u>赤道以北のドイツ領</u> _____ の _____ 権 (→ _____ が統治) ★ _____ (_____ 諸島・ _____ 諸島・ _____ 諸島・ _____ 諸島など) _____ 年 _____ 発足 (本部=スイスの _____) 常任理事国 = _____ . _____ . _____ . _____ (米は不参加) _____ 年 _____ (積極政策が恐慌により行き詰まり、政治腐敗に批判が高まる) →	_____ 年 _____ (帝国大学以外の設置を許可) <u>公立・私立大学</u>・ _____ の設置を許可 1918 年 _____ <u>改正</u> (1894年に制定) 公立・私立の高等学校の設置を許可 因解 NOTE ① [普選運動] ①<u>普通選挙運動の高揚</u> (1918年頃～) ★大正デモクラシーの風潮が背景 ②<u>原敬は普通選挙には反対</u> ★社会主義勢力の伸長を懸念したため _____ 年 <u>衆議院議員選挙法改正</u> (1) 納税額=直接国税 _____ 円以上→ _____ 円以上 →有権者=全人口の _____ % (2) _____ 制を導入 (立憲政友会に有利) _____ 年 <u>衆議院議員総選挙</u> → _____ が圧勝 _____ [<u>社会主義者の弾圧事件</u>] _____ ① _____ 事件 (1920) 「<u>クロボトキンの社会思想の研究</u>」を発表した _____ [東大助教授] と _____ を休職処分 ② _____ (_____ 年) 社会主義者の統一組織 (翌年結社禁止処分) _____ 年 _____ 暗殺事件 (_____ で刺殺される)

年	第一次世界大戦勃発 (→欧州への軍需品・米国への生糸・アジアへの綿織物輸出が増加)…………→	年	停止 (内閣)
→	(1915～1918)		
重 化 学 工 業	①海運業 (世界的な船舶不足のため活況) 世界第 位の海運国 → (海運業により急に富を蓄えた者) の誕生 ex. ()・山下汽船 (山下亀三郎)	軽 工 業	①製 糸 業 (の輸出急増→ 向け) ②綿紡績業 (の輸出急増→中国などのアジア向け) → (中国各地につくられた日本の紡績工場) ex. (1925)
	②造船業 (世界的な船舶不足のため活況) 三菱長崎造船所 (造船技術が世界最高水準に達する) ③鉄鋼業 (世界的な鉄鋼不足と軍需拡大により活況) 八幡製鉄所の拡張 (1917) (1918) ()が満州に設立		③綿織物業 (() の輸出急増→中国などのアジア向け) → 輸出量< ()輸出量 (1917)
影 響	④化学工業 (からの輸入途絶のため勃興) 染料・薬品・肥料の国内生産成長	影 響	①輸出超過 (国 (11億円) → 国 (27億円)) ②工業の発展 (重化学工業が工業生産額の30%を占める) ↓ →工業生産額>農業生産額 (1919)
	⑤工業原動力→ < (水力発電中心) (1915) (~東京の送電に成功)		③工業労働者数が約2倍に増加 (約150万人) 寄生地主制の下で停滞する農村から農民が都市へ流入 →都市の(男子)工業労働者数が増加 (都市の人口が増加)
年	第一次世界大戦終了 (→欧州諸国の生産力回復と中国市場復帰) → (年) (株式市場の大暴落を契機に起きた恐慌)		

国際協調時代

図解NOTE② [ワシントン体制]

[1921 年～ () (米大統領) の提唱]

全権 = () (駐米大使) ・ () (貴族院議長)

① () (1921) (調印 =)

太平洋問題に関する条約 (→ 廃棄)

② () (1922) (調印 =)

中国問題に関する条約 (→ 廃棄)

★中国の と を規定

→ の旧ドイツ利権を中国へ返還することを約束 → (1922)

③ () (年) (調印 =)

① の保有量比率を . . . : . . . : . . . = 5 : 3 : 1.67 に制限

② の 年間建造禁止 (→ 帝国国防方針に基づく 計画の挫折)

- ① 第一次世界大戦を契機に
日本は中国・太平洋へ勢力を拡大
- ② 欧米列強が警戒 (特に米・英)
→ 日本の膨張を食い止めよう
- ③ 米・英が 開催
目的 = 日本の膨張抑制
名目 = (1) 太平洋・東アジアにおける
新たな国際秩序をつくろう
(2) 軍縮 (英・米・日による
建艦競争を抑制するため)
- ④ 日本がワシントン会議に参加した理由
(1) 国際的な孤立化の危機を回避したい
(2) 戦後恐慌・建艦競争による財政悪化
→ 軍事費削減 (軍縮) の必要性
- ⑤ ワシントン体制に基づく軍縮
(1) 加藤友三郎 [海相] による海軍軍縮
(2) [陸相] による陸軍軍縮

年 シベリアからの撤兵 (北樺太は除く)

1920 年に撤兵していた英・米・仏など列国の批判により、ワシントン会議で撤兵を宣言

年 (組閣準備中に関東大震災発生 → [内相] が震災後の復興に尽力)

→ (震災によって現金化できなかった手形)

→ (非常事態に際し軍隊が治安を守る法令)

[虐殺事件]

(一般住民による治安組織である . . . が朝鮮人を多数殺害)

(憲兵大尉の . . . が無政府主義者の . . . と . . . を殺害)

(東京の亀戸で警察・軍隊が平沢計七・川合義虎ら労働運動家を殺害)

1923 年 (無政府主義者の . . . が . . . を狙撃) → 内閣総辞職

1924 年 清浦奎吾内閣 (貴族院議員を中心に組閣した超然内閣)

→ (スローガン = 「 . . . , . . . , . . . 」)

[護憲三派] VS [政府支持]

立憲政友会の清浦内閣
支持派が脱党して結成

1924 年 衆議院議員総選挙 (「普通選挙の実施」を公約に掲げた護憲三派が圧勝 → 憲政会が第一党) → 内閣総辞職

[] (衆議院で多数の議席を占める政党が政権を担当する . . . の慣例)

年の 内閣から、 年に で 内閣が崩壊するまで続き、斎藤実内閣の成立で終焉。

1924 年 加藤高明内閣 (ワシントン体制に基づき、各国との協調外交・軍縮を展開)

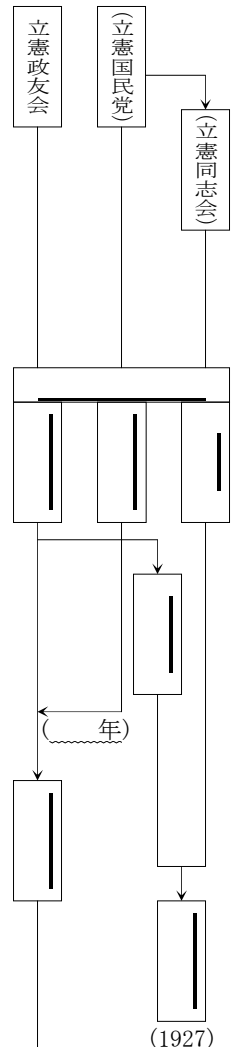
→ 外相 = (協調外交を展開) ・ 陸相 = (陸軍 4 個師団を削減)

年 (ソ連との国交樹立・北樺太からの撤兵) 全権 = (日本) ・ (ソ連)

年 (選挙資格 = 満 歳以上の男子 (有権者 = 全人口の . . . %))

→ 改正後の初の総選挙は 年 (内閣時)

年 (の変革・ 制度の否認を目的とする結社の禁止)



啓蒙運動	① _____ (憲法学者・東大教授・貴族院議員) → _____ (統治権は _____ である国家にあり、天皇はその国家法人の最高機関として、憲法に従って統治権を行使するという憲法学説) ⇕ in 『 _____ 』 (1912) ・ 『 _____ 』 (1923) _____ (_____ らによる天皇の権力行使の制限はないとする憲法学説) ② _____ (政治学者・東大教授) → _____ (主権在民(国民主権)の _____ とは一線を画し、主権在君(天皇主権)の明治憲法での民衆の政治参加を主張) → 民衆の政治参加のため、具体的には普通選挙法と政党内閣制の実現を説く in 『 _____ 』 (1916) (論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」を発表) 1918 年 _____ (_____ ・福田徳三らを中心に結成された啓蒙団体) 1918 年 _____ (吉野作造らの指導を受けた<u>東大学生</u>を中心に結成された思想団体) 1919 年 _____ (早稲田学生を中心に結成された思想団体)
婦人運動	明治 ① <u>自由民権運動</u> _____ (自由民権運動に参加→のち、中島信行〔自由党副総理〕と結婚) _____ (1885 年の大阪事件で大井憲太郎と共に逮捕される) ★夫の死別後、自叙伝『 _____ 』を著し、女性解放雑誌『 _____ 』を刊行 ② _____ (<u>日本キリスト教婦人</u>) (廃娼運動・純潔運動・禁酒運動などを行う) 設立 = _____ (キリスト教徒) 大正 _____ 年 _____ (女性の感性の解放をめざす女性のみの文学団体) ↓ _____ 年 _____ (平塚雷鳥の創刊の辞…「 _____ , 女性は実に _____ であった」) _____ 年 _____ (初の市民的女性団体→ _____ 第 5 条「女子の政治結社・政治集会禁止」の改正運動) ↓ _____ 年 _____ (女性参政権運動のための組織) ↓ 1925 年 _____ (のち、戦争の激化に伴い 1940 年に解散) [その他] 1921 年 _____ (女性社会主義者の団体) 結成 = _____ (大杉栄の妻) _____ (山川均の妻)

図解NOTE① [天皇機関説]

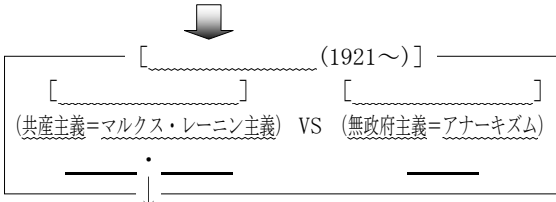
< _____ > = <u>統治権は法人である国家にある</u>	< _____ > = <u>統治権は天皇にある</u>
国家 > 天皇… <u>天皇は国家という枠組みの中の最高機関</u>	天皇 > 国家… <u>天皇は国家を超越した存在</u>
→ <u>天皇は国家の代表者として、国家のルール(憲法)に従って統治を行う</u>	→ <u>憲法などの法の成立以前から存在する</u>
→ <u>天皇も憲法を守らなければいけない</u> = <u>天皇の統治権は憲法によって制限される</u>	→ <u>天皇の権力に制限はない</u> = <u>天皇の統治権に制限はない</u>
※① <u>大日本帝国憲法の君権主義的側面</u>… <u>大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス</u> (第1条) ・ <u>天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス</u> (第3条)	
② <u>大日本帝国憲法の立憲主義的側面</u>… <u>天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ</u> (第4条)	

図解NOTE②「民本主義」

① …主権は国民にあり(主権在民=国民主権), 天皇にはない
→but 大日本帝国は天皇制を国体(国家体制)としているので, 主権は天皇にある(主権在君=天皇主権)

② …主権が天皇にある中で, どうすれば国民の意見を政治に反映することができるのか?
→普通選挙法・政党内閣制の実現によって可能になる

[B] _____ (社会運動)

労働運動 (好況に対する 物価高騰が背景)		年 _____ (労資協調主義をとる労働者の共済・修養組織) ↓ 結成 = _____ (キリスト教徒) ★大戦景気に伴い労働者が増加したが実質賃金は低下→賃金上げを求める労働運動が高揚 1919 年 _____ (労働者の増加を受けて友愛会を改称) ↓ ★最初の _____ (年) (毎年...月...日に世界的に行われる労働者の祭典) at 上野公園 年 _____ (階級闘争主義をとる全国的労働組合組織) 1925 年 _____ (左派・右派による総同盟の分裂後、日本労働総同盟を除名された左派が結成)
社会主義運動 (労働運動の高揚・ ロシア革命の影響)	内閣 高橋是清内閣・ 加藤友三郎内閣	年 _____ (社会主義者の統一組織) 結成 = 山川均・堺利彦・大杉栄  _____ [_____ (1920)] _____ _____ [東大助教授]の発表したロシアの無政府主義者に関する論文「クロボトキン（注）の社会思想の研究」が危険思想とされ、_____とそれを東大機関誌に掲載した発行編集人の _____ が休職処分となる。 年 _____ (_____ (国際共産党)の日本支部として非合法に結成) 結成 = _____ ・ _____
農民運動 (地主の小作人への 高額小作料が背景)		年 _____ (地主への高額小作料減免を要求する _____ を指導する全国的農民組織) 結成 = _____ ・ _____ ★ _____ (1924年に制定された小作争議発生の場合の対応を定める)
部落解放運動		年 _____ (被差別部落民の差別解消のための中心組織) 水平社設立宣言文 = 「人の世に熱あれ、人間に光あれ」(起草 = _____)
国家改造運動へ (昭和期に発展)		1919 年 _____ (国家社会主義に基づく国粋主義団体→右翼の源流となる) 結成 = _____ ・ _____ ↳ 『 _____ 』(天皇大権・議会の解散・私有財産の制限など国家改造を強調)

[NOTE]

[思想の大枠]

- ①資本主義(経済的)……貧富の差の生まれる社会
- ②社会主義(経済的)……貧富の差のない平等な社会
- ③国家主義(政治的)……国家の利益を優先する
- ④民主主義(政治的)……国民の利益を優先する

※自由主義(個人主義)…国民の利益を優先する

[社会主義の形態]

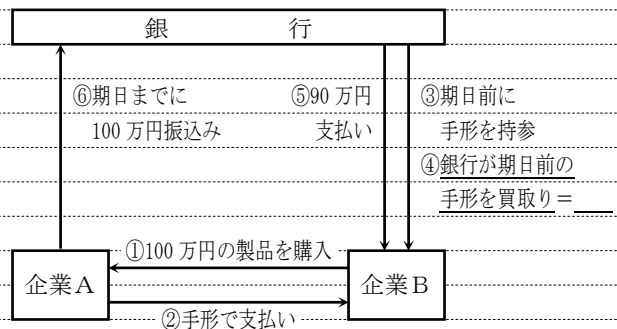
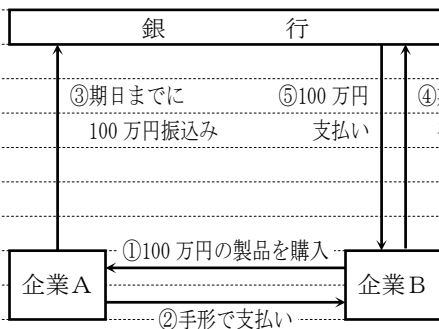
- ① _____ (国家主義の立場から社会改良を主張→天皇を中心とした平等な国民生活の実現をめざす)
 ★1920年代以降の相次ぐ恐慌(戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌・昭和恐慌)に応じて、軍部の青年将校を中心に活発化
 →国家社会主義をめざすためには、他勢力(政党・官僚・財閥)をクーデターで排除し、天皇を中心とした軍部独裁政権を樹立する→クーデタを決行
- ② _____ (議会政治を通じた変革をめざし、階級対立のない平等な社会の実現を主張)
 ★選挙で同じ社会主義者の候補者に票を入れ、社会主義者を当選させる→議会の議席の過半数を社会主義者で占めれば社会主義が実現できる
 →社会主義者の多くは労働者・貧農で選挙権を持っていないため、明治時代にはあまり盛り上がり→1925年の普通選挙法の施行以降、再び盛り上がり
- ③ _____ (_____) (無搾取・無階級社会を理想とする→労働者階級の社会主義革命による権力奪取を主張)
 ★革命を起こして資本主義政府を倒し、社会主義の政府を樹立する→革命後は、共産党政府の一国一党体制による統治
- ④ _____ (_____) (国家権力をはじめ議会・政党を否定して完全な自由社会の実現を主張)
 ★革命を起こして資本主義政府を倒し、社会主義の政府を樹立する→革命後は、政府や議会などの国家権力全てを否定

[A] 国際協調時代

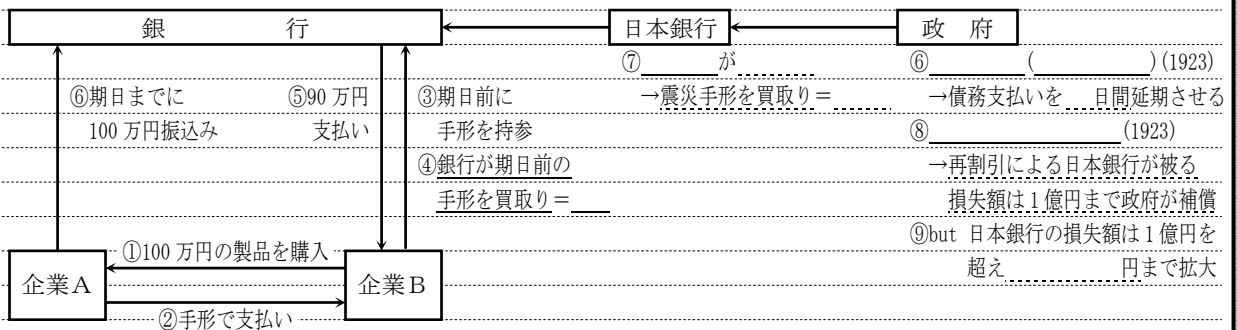
外 交		[(年)]	
年 昭和天皇 () 即位 (←大正天皇崩御) 〔対中国外交 (中国情勢)〕 1926 年 (北方軍閥政權の打倒をめざした軍事行動) 開始 ↓ を総司令官とした が から出発 →のち、武漢を占領(1926)→南京・上海を占領(1927) 1927 年 上海クーデター (四・一二クーデター) ↓ 共産党の勢力伸張を恐れた蔣介石が共産党員を追放 1927 年 に () による政府) 樹立 〔方針＝対中国 (北伐に対する内政不干渉方針)〕 ★ (1920年代のアメリカ・イギリス各国との協調外交) 〔方針＝対中国 (協調外交方針を転換)〕 年 (1次～3次) 目的＝ 率いる国民革命軍による北伐を阻止するため → を擁護し、これを利用し勢力拡大を狙う 名目＝日本人 の保護 ★ (第二次山東出兵時の1928年に北伐軍と衝突) 年 (第一次山東出兵後、対中国方針を協議) 「 」 (対中国の基本政策) を決定 〔対欧米協調外交〕 年 (全権＝) 英・米・日間の補助艦の制限→英・米の対立で不成功 年 (全権＝) 「 」 戦争を放棄する この字句が国体・憲法に反するとして問題化 →この字句は日本には適用されないとの保留条件で批准 年 (当時の日本では と呼ばれた) の の計画により、 の乗る列車を 郊外で爆破 →のち (張作霖の息子) が易幟 (國民政府の傘下に合流) →事件の真相を隠していた田中義一を が叱責→内閣総辞職(1929)	原因 ① (年) (関東大震災を契機とする恐慌) ↓→ (関東大震災により支払い不能となった手形) ② () (1923) 被災地の金銭債務の支払いを、日間延期することを認める ③ (1923) 関東大震災により決済不能となった を 銀行が の形で して、それによって日本銀行が被る 損失額は1億円を限度として政府が補償することを定める but 日本銀行の損失額は総額 円以上にまで拡大 ④ 処理問題 (1927) 限度を超えた損失額に対する政府補償が帝国議会で問題化 〔蔵相〕 ↓ 勃発 ① (蔵相) の失言「 の破綻」 →預金の (→銀行の休業続出) ② (華族出資の銀行) の休業 ③ (第一次世界大戦で急成長した総合商社) の破産 → (台湾における中央銀行) の経営危機 ④ 救済緊急勅令案 () () 〔枢密顧問官〕 が否決→内閣総辞職 ★ の対中国協調外交に対する不満が背景	〔蔵相〕 ↓ 収束 ①台湾銀行救済緊急勅令案を枢密院が可決 → 銀行が 銀行へ ②緊急勅令による 3週間の () ③ 銀行の非常貸出しで市中銀行救済(紙幣増発) ④五大銀行 () に預金集中 五大銀行は中小銀行を合併し、 を独占的に形成 ★ (銀行が資金投下などで産業を支配する形態) →四大財閥 () の金融支配確立 ⑤財閥と政党の結びつき(癒着)が強化される →三井(自由党系と関係)＝立憲政友会 →三菱(立憲改進黨系と関係)＝憲政会(立憲民政党)	政 治 年 第一回普通選挙 (員 名当選) ↓ (左派) から (翌年暗殺) が当選 ★労働農民党委員長＝ (『 』を創刊) 年 (共産党員の大檢舉①) 年 改正 (緊急勅令による) 最高刑を禁錮 年→ に改正 を 全国に設置 社会主義・共産主義など思想犯・政治犯を取り締まる 年 (共産党員の大檢舉②)

図解NOTE① [手形]

図解NOTE② [割引]



図解NOTE③ [震災手形処理問題]



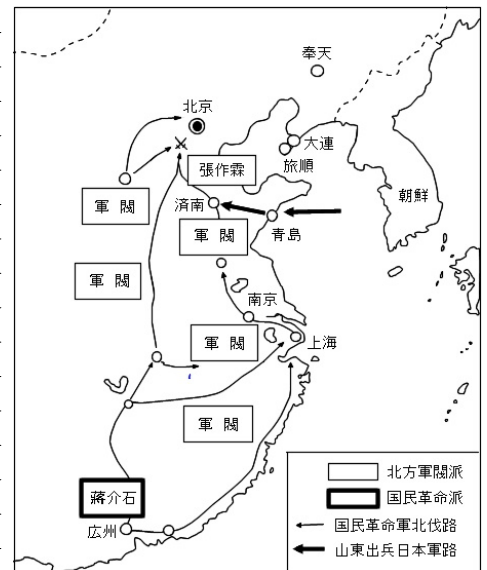
[NOTE]

<南方=革命政権>

- ①革命政権内部の対立
中国国民党 VS 中国共産党
(孫文→) (李大釗→)
(軍閥に対抗して結成) (コミンテルンの指導で結成)
- ② (1924)
→ 中国国民党と中国共産党が提携
- ③ (1925) (学生らの反日・反英デモ)
→ 上海の在華紡で起きたストライキが契機
- ④ 率いる 軍が を開始(1926)
→ から開始→南京・上海を占領(1927)
- ⑤上海クーデタ(四・一二クーデタ)(1927)
→ 蒋介石が中国共産党員を逮捕・弾圧
- ⑥ が に を樹立

<北方=軍閥政権>

- ① (北洋軍閥) が
中華民国大統領に就任(1913)
- ②日本からの二十一条の要求
受諾後に袁世凱が急死(1916)
- ③袁世凱の死後、各地に割拠する
軍閥(軍隊の派閥)が政権を争う
- ④ (北洋軍閥) が実権を握る
→ 安直戦争に敗れ、実権を失う
- ⑤ (満洲軍閥) が実権を握る
- ⑥国民革命軍との戦争に敗れた
張作霖は、北京を脱出(1928)
→ 本拠地の奉天へ列車で移動



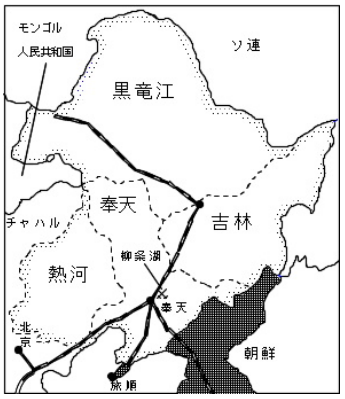
<北伐に対する政府(政党)の見解>

国民政府による北伐は、日本の南満州及び東部内蒙古(満蒙)における特殊権益を侵害する可能性がある。そこで、満洲軍閥の張作霖を援助することで日本の満蒙権益を守り、さらに満洲への勢力拡大も狙おう(張作霖には利用価値あり)。

<北伐に対する軍部(関東軍)の見解>

政府のように張作霖を援助したところで、北伐軍にも敗れた張作霖では、国民政府による北伐はもはや阻止できないだろう(張作霖には利用価値なし)。そこで、国民政府の仕業に見せかけて、張作霖を殺害してしまおう。これにより、中国国内で混乱が起きたら、その混乱に乗じて満洲を制圧しよう。

〔A〕 協調外交の挫折と政党内閣の終焉

外 交		軍 部 の 動 向
〔外相〕	年 _____ (全権 = _____ ・ _____ (海相)) ↓ ① _____ の建造禁止を _____ 年間延長 ② _____ の保有率制限 → _____ : _____ = 10 : 6.97 (約 _____ 割) 1930 年 _____ (ロンドン海軍軍縮条約の調印をめぐる政府と軍部の対立) _____ [海軍軍令部長] が内閣による兵力量の決定は統帥権の侵害と政府を攻撃 → 野党の立憲政友会・右翼もこれに同調するが、政府は反対を押し切って条約を批准 ★ _____ 狙撃事件 (1930 年に _____ 駅で狙撃され翌年死亡) → 内閣総辞職 _____ [対中国協調外交] ① 国民政府の国権回復運動 (中国を統一した国民政府が中国権益の回収運動を開始) ↓ 税権・法権の回復、鉄道・租借地の回収などを要求 → 日貨排斥運動・満鉄並行線計画を推進 ② _____ (1930) (中国の関税自主権を承認) ③ _____ 「 _____ は日本の生命線」 (満蒙権益の危機を主張)	_____ [国家改造運動] ① _____ 結成 (1930) 国家改造を唱える陸軍の秘密結社 中心 = _____ (陸軍中佐) _____ (民間人の右翼) ↓ ② _____ (_____ 年) _____ 桜会による _____ 首相擁立計画
	(1931～1933) 1931 年 関東軍の満州事変画策 画策 = _____ [参謀] 『 _____ 』・ _____ [参謀]・ _____ [軍司令官] ★ _____ (_____ 大尉が殺害される) _____ (朝鮮人農民と中国人農民の衝突) ↓ 年 _____ (_____ が _____ 郊外の _____ で南満州鉄道の線路を爆破) (9月18日) ★ _____ 勃発 → 若槻内閣は不拡大方針を表明するが、関東軍はこれを無視し戦域拡大 → _____ [内相] の倒閣運動により、閣内不統一で内閣総辞職	↓ ③ _____ (_____ 年) _____ 桜会による _____ 首相擁立計画
	1932 年 関東軍が東三省 (_____ (_____)・ _____ ・ _____) を占領 ★ 中国は国際連盟に提訴 → 国連は _____ (英・米・独・仏・伊) を派遣 _____ (日本人僧侶が中国人に襲撃された事件を契機に上海に出兵) ↓ 年 _____ 建国 (_____ (国家元首) = _____ (清朝最後の皇帝 _____ → のち皇帝)) スローガン = 「 _____ 」・ 「 _____ 」 (満・漢・蒙・朝・日の5民族協力) → 実際は日本人が行政機関の要職を独占した日本の傀儡国家 ★ 国際的な孤立化を招いてしまうため、犬養毅内閣は満州国承認を渋る ↓ 年 _____ (_____ 首相を海軍青年将校らが殺害) ← 政党内閣の終焉 (_____ 終了) → 内閣総辞職	④ _____ 結成 (1932) 「一人一殺主義」で政界・財界の 要人暗殺を唱える民間の右翼団体 ★ 中心 = _____ (日蓮宗僧侶) ↓ ⑤ _____ (_____ 年) _____ [前蔵相] 殺害 (2月) _____ [三井合名理事長] 殺害 (3月)
〔芳沢謙吉(外相)〕	★ _____ [外相] の「焦土外交」演説 (国が焦土と化しても満州国の承認を主張) ↓ 年 _____ (日本政府が満州国を承認・満州国は日本軍の駐兵を承認) _____ [_____ 臨時総会 (_____ 年)] _____ の報告書に基づき、満州からの日本軍撤退勧告案を _____ 票 : 1 票で可決 → _____ (全権) が退場 → のち _____ 脱退脱退を通告 (_____ 年) ↓ 年 _____ (国民政府は日本の満州支配を黙認 = 満州事変終了) 日満議定書の後も日本は侵攻を続け _____ に進出。一方、国民政府は中国国内で対立 いた共産党の弾圧に重点を置いたため、 _____ を満州国に組み込むことで停戦に応じた	
〔海軍大将〕	[ファシズム(全体主義)の進展] 1932 年 _____ (社会民衆党を脱党した _____ らが結成) 1933 年 _____ ・ _____ (共産党幹部) の _____ ★ _____ (『 _____ 』を著したプロレタリア文学作家) が特別高等警察の拷問により虐殺される (1933) 1933 年 _____ (_____ [京都帝国大学教授] の『 _____ 』が反国体的な刑法学説であるとして、 _____ [文相] により休職処分とされる)	

経済政策

- ① 政策を推進 (物価安による輸出拡大をはかる)
- (1) (歳出を抑制することで物価の引下げをはかる)
歳出を抑制→通貨流通量が減少→購買力が低下→物価が下がる
- (2) (人員整理・機械化による経営の効率化をはかる)
生産性の低い企業を整理・淘汰して国際競争力を高める
- ② (金本位制への復帰による為替相場の安定と輸出の拡大を図る)
→実質的に円の切上げ(円高)となる (100 円=49.85 ドル)で金解禁実施
- [(年～)]
の株価大暴落を契機とした世界的経済恐慌
- ③ (世界恐慌の最中に金解禁を断行したため、正貨が大量に流出)
→ (下落・への輸出の激減により) 暴落
- (1) 1930 年の大豊作による米価下落で農業生産が一層悪化 (豊作貧乏)
★ (1918) 後の植民地 (台湾・朝鮮) からの移入米も影響
- (2) 1931 年には大凶作による東北大飢饉などで農村困窮が深刻化
→ (食事を十分にとれない生徒) や若い女子の身売りが続出
- ④ (年) (産業合理化の一環として) 結成を助成)
- ★ (同じ産業の企業が販売価格などを統一するため結ぶ協定)
cf. (同じ産業の企業が市場支配・独占を目的に行う合同)

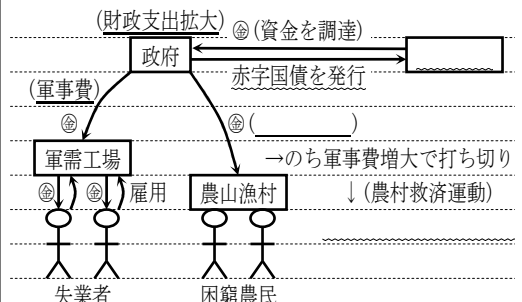
図解 NOTE ① [井上財政]

- ① 停止 (年)
第一次世界大戦の影響から欧米諸国が金本位制を停止したため
- ② 1920 年代の相次ぐ恐慌のため金本位制に復帰できず
ex. ()・()・()
★主要国は金本位制に復帰していたが、日本は関東大震災や金融恐慌のため、金本位制への復帰が実現できないでいた
- ③ 恐慌に対して政府は救済融資で対応 (不換紙幣の増発)
→ (物価高) が進行→ 不振・超過
- ④ の動揺 (金本位制・金兌換を停止したため)
(1) 円売り・ドル買いが進行し、円の信用度が低下
(2) 円安 (円為替相場の下落)・ドル高 (ドル為替相場の上昇)
- ⑤ 輸出拡大による景気回復をめざす
(1) 物価を引下げる (デフレ)→
(2) 国際競争力を強化させる→
(3) 為替相場を安定させる
→金本位制へ復帰 ()
- ⑥ but の影響と重なり、輸出不振・輸入超過
→金解禁を断行したため正貨が大量に流出=

図解 NOTE ② [高橋財政]

- ① 金本位制を停止したため、為替相場は変動する
→円売り・ドル買いが進行し、円の信用度が低下
- ② 高橋是清は意図的に円安に導く ()
↓→1 ドル=2 円から 1 ドル=5 円の急激な になる
- ③ カルテル結成による価格の引き下げと
輸出に有利な を利用して輸出を拡大
→ () の輸出が を抜いて世界一位に
- ④ この時、金輸出再禁止による円安を見込んで、日本で
などの財閥による (ドルの上昇を予測して、あらかじめ円売り・ドル買いしておくこと) が行われた
- ⑤ 巨額の利益をあげた財閥に対する批判が高まる

図解 NOTE ③ [積極(膨張)財政]



- ① (年) (金の流出が激しいため、金本位制を停止)
→ (政府が国内の紙幣流通量を管理する制度) →移行
- ② (しばらく放置して、意図的に円為替相場を低下させる)
↓→ (円為替相場の下落) →導く (1 ドル=2 円→1 ドル=5 円)
- ③ (円為替相場の下落) を利用して輸出拡大
↓→ () の輸出が世界一位に () を抜く)
- ④ 各国がこれを と非難
★ (労働者の賃金を不当に安く抑えて価格を低くする)
→ (自国と、その国の植民地との間の排他的な経済圏) →
- ⑤ 赤字国債 (公債) の発行 (日本銀行の引受けにより多額の資金を調達)
→積極(膨張)財政 (軍事費と農村救済費を中心とする財政支出の拡大)
(1) (1932 年に実施された農村救済のための公共土木事業費)
(2) (農村救済のための) と隣保共助を提唱)
- ⑥ 重化学工業の発達
(1) 製鉄大合同 (1934)
→ (八幡製鉄を中心に製鉄会社が合併した国策会社)
★金属・機械・化学工業が工業生産額の 50% 以上を占める (年)
(2) (満州事変後、国に協力し重化学工業を発展させた財閥)
★独自の金融機関を持たないことが弱点
- = コンツェルン (満州に進出→) を設立)
= コンツェルン (朝鮮に進出→) を設立)
= コンツェルン ((1925) を母体で発展)
= コンツェルン (日本曹達会社を中心に形成)
= コンツェルン (昭和電工を中心に形成)

蔵相
||
デフレ政策

蔵相
||
インフレ政策

斉藤実

岡田啓介

〔挙国一致内閣〕海軍大将



- ① 中国共産党が毛沢東を主席として
共産党政府を_____に樹立(1931)
- ② 蔣介石率いる中国国民党が瑞金を包囲
→中国共産党は本拠地を_____へ大移動
= _____(_____) (1934~36)
- ③ 長征の最中、華北分離工作に危機感を
強めた中国共産党が、内戦停止・抗日
統一戦線を呼びかける(_____)
- ④ _____(国民政府側)がこれに応じ、
_____を監禁し説得させる(_____)
- ⑤ _____(1937. 9)
→中国国民党と中国共産党が提携し、
_____を結成(1937)

①塘沽停戦協定後、非武装中立地帯の
華北5省を国民政府の統治下から分離し、
親日化する工作进行()
→ (美治郎)・ (河北省)
(賢二)・ (チャハル省)

②切り離しに成功した河北・チャハルの
2省に親日政権を樹立(日本の傀儡政権)
→ (首班=)

③ () (1937. 7) = 日中戦争勃発
→ 北京郊外で日中両軍が軍事衝突

政治・外交		経済・思想	
日中戦争（1937～1945） （ 郊外の盧溝橋付近で日中両軍が衝突）→1937年 日中戦争（北支事変）勃発→当初近衛内閣は「<u>不拡大方針</u>」を声明 ↓ 1937.8 （大山勇夫中尉射殺事件を機に上海を占領） ★戦域の拡大に伴い、国内での名称を → に変更 ↓ 1937.12 日本軍が （国民政府の首都）占領 占領の際に （ ）が起きる（ の指示） →国民政府は →へ首都を移転し抗戦を続ける but （ドイツ駐華大使）の日中和平工作が難航 ↓ 「 年 （近衛文磨首相が発表した対中国声明）」 第1次 「 を相手とせず」 国民政府を交渉相手とせず、<u>和平の可能性を自ら断ち切る</u> 第2次 「 」の建設（日中戦争の目的を発表） ・ ・ ・（ ）3国の連帯関係を築くことが目標と発表 第3次 「 」（新政権に対する日中交渉の条件を提示） 三原則＝ ・ ・ ・ ↓ 1938年 近衛声明に応じて が を脱出 → が 政府を樹立（ 年）〔 内閣〕 ↓ 「日ソ両軍の武力衝突」 1938年 （ソ連・満州国境で衝突）〔近衛文磨①内閣〕 ↓ 1939年 （満州・蒙古国境で衝突）〔平沼騏一郎内閣〕 ↓ 1939年 アメリカが の廃棄通告 年 （独ソ間の相互侵略禁止） →平沼騏一郎は「<u>欧州情勢は複雑怪奇</u>」と声明→<u>内閣総辞職</u> ↓ 年 第二次世界大戦（ の 侵攻により勃発） 阿部信行内閣は「<u>大戦不介入方針</u>」を声明（米内光政内閣も継続） ↓ ★ （ の ）が政府・軍部の日中戦争の処理方針を批判 1940年 ドイツが 占領（フランスが降伏） ★日本国内ではドイツ支持が高まり、陸軍は独・伊との接近をはかる ↓ 年～ （ ）を辞任した （ ）を中心とする運動 ナチ党やファシスト党のような一党独裁の国民組織結成をめざす → 〔陸相〕が単独辞任→軍部大臣現役武官制を利用され<u>内閣総辞職</u>		1937年 戦争遂行のための国民精神教化運動 スローガン＝「 ・ ・ ・ 」 ↓ 1937年 『 』（ 思想局が発行） ↓ (1941年 『 』（文部省教学局が発行）) ↓ 〔経済統制①〕 →1937年 （軍需産業に優先的に資金を供給） →1937年 （物資の輸出入を制限・禁止） 1938年 （電気事業を国家が管理） →半官半民の が各電力会社の経営を管理 ↓ 年 （ と ）を統合して設置 内閣直属の経済統制の調査・立案にあたる国策機関 →国家総動員法の制定、 の調査立案を担当 ↓ 年 戦時に際し、人的・物的資源の統制・運用に ついて の承認なしに で法令化できる ↓ 年 （戦争遂行に協力する労資協調の組織） ↓ 〔経済統制②（国家総動員法に基づく法令）〕 年 国民を強制的に徴発し、軍需産業に動員できる 1939年 （業種別にそれぞれ初任給を公定） 1939年 （小作料の不当な引上げを禁止） 1939年 （物価を安定させるため） すべての物資価格を 月 日の で固定 ↓ 〔経済統制③（生活統制）〕 ① （1939） → （1942） ②米の 制（1940）→ 制（1941） ③ ・ の 制（1940） ④ （1940）（ぜいたく品の製造・販売を禁止）	
（貴族院議長） ★ （外相） （陸相） （海相）		（海軍大将）	
思想弾圧事件 ① （1937）（ ）〔東大教授〕の『 』が反戦思想と攻撃され辞職 ★キリスト教徒で植民政策を批判した『 』も著す(1929) ②第1次 （1937）（ ・ ・ ・加藤勘十らを検挙→ 解散） ③第2次 （1938）（ ・ ・ ・有沢巳・美濃部亮吉ら労働派学者を検挙） ④ 筆禍事件（1938）（ ）〔東大教授〕の『 』を発禁処分 ⑤ 筆禍事件（1940）（ ）〔歴史学者〕の『 』を発禁処分		図解NOTE [供出・配給] 政府 → 配給業者 ③ 買い取り = ④ 農民 国民 = を所有	

〔A〕第二次世界大戦

第二次世界大戦		思想統制
（もと枢密院議長） ★ （外相） （陸相）	年～（を辞任したを中心とする運動） ナチ党やファシスト党のような一党の国民組織結成をめざす ↓ 年（首相を総裁、を支部長とする国民指導のための上意下達機関） （10月12日）最初に・立憲政友会・最後になどの政党が自主解散し、統合された国民組織 →のち、各種国民組織（・・）や各種連合団体を下部組織に置く ★各種連合団体（（1940）・（1942）・など） 〔南方進出〕 年（日本軍の北部領半島への進出） （9月23日～）目的＝物資確保との遮断 年（を仮想敵国とする相互援助などを定めた軍事同盟） （9月27日） 年（年間の有効期間で両国の平和友好・相互不可侵などを定める） （4月13日）全権＝〔日本外相〕・〔ソ連外相〕 年開始（ドイツが独ソ不可侵条約を破り、ソ連に奇襲攻撃） （6月22日～） 1941年「」（7月2日の御前会議で決定された日本の外交基本方針） （7月2日）①対ソ戦の準備（←独ソ戦争開始に伴う） →（対ソ戦に備え満洲に70万の兵力を集集） ②南部仏印進駐を計画 1941年（日本軍の南部フランス領インドシナ半島への進出） （7月28日～）目的＝・・・ゴムなどの資源確保 1941年「」（9月6日の御前会議で決定された日本の外交基本方針） （9月6日）日米交渉を継続するが、10月上旬までに交渉不成立の場合は開戦を辞さないことを決定 →この条件をめぐり、〔首相〕と〔陸相〕が対立→内閣総辞職 1941年 東条英機内閣（〔内大臣〕の推薦） 日米交渉を継続するが12月1日までに交渉不成立の場合は、対米英蘭戦の準備を完了させる 1941年（月日）に天皇降席の下で開かれた会議で12月8日の開戦決定	①（1940） 情報収集・情報宣伝や、言論報道の 検閲・取締りを行う思想統制の中心機関 ② 改正（1941） →を追加 政治犯・思想犯の期満後も、信条・ 思想を変えない者を引き続き拘束する ③（1941） →小学校をと改称 「皇国民」の錬成を目的に名称を変更 〔アメリカの対応〕 ①・の対日禁輸（10/16） ↓ 〔日米交渉開始〕 〔駐米大使〕 〔アメリカ國務長官〕 ②（・・・） ③在米日本資産凍結（7/26） ④の対日禁輸（8/1） 〔日米交渉決裂〕 ⑤（11.26） 中国を以前の状態に戻す ことを要求（アメリカの最後通牒）

〔NOTE〕

①第二次世界大戦勃発（がに侵攻）（1939）

→ドイツが対仏戦に勝利（ドイツがを占領）（1940）

②これまでの大戦不介入方針から大戦介入方針へ転換

（内閣）（内閣）

③参戦準備のためには

（1）物資確保のため、南方へ積極的に進出

→（年.9.23～）

（2）ドイツ・イタリアとの軍事提携を強化

→（年.9.27）

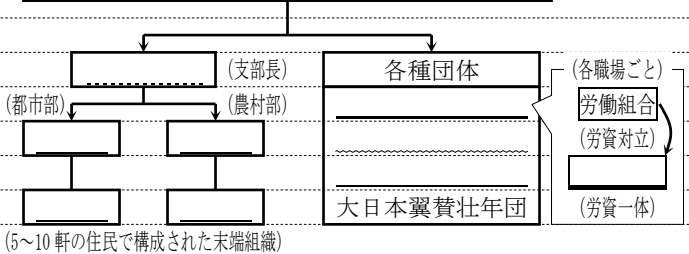
（3）ドイツ・イタリアにならって一党一党組織

→（年.10.12）

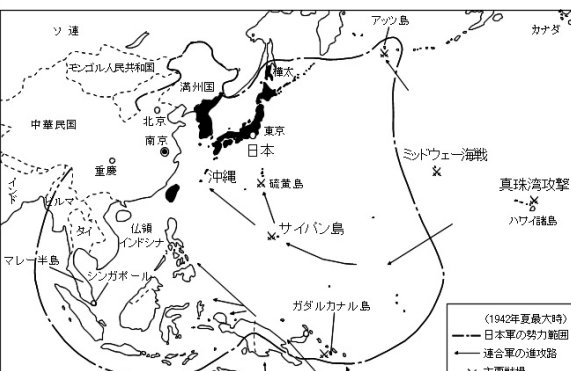
（4）そのためには、北方の防備を固める必要性

→（年.4.13）

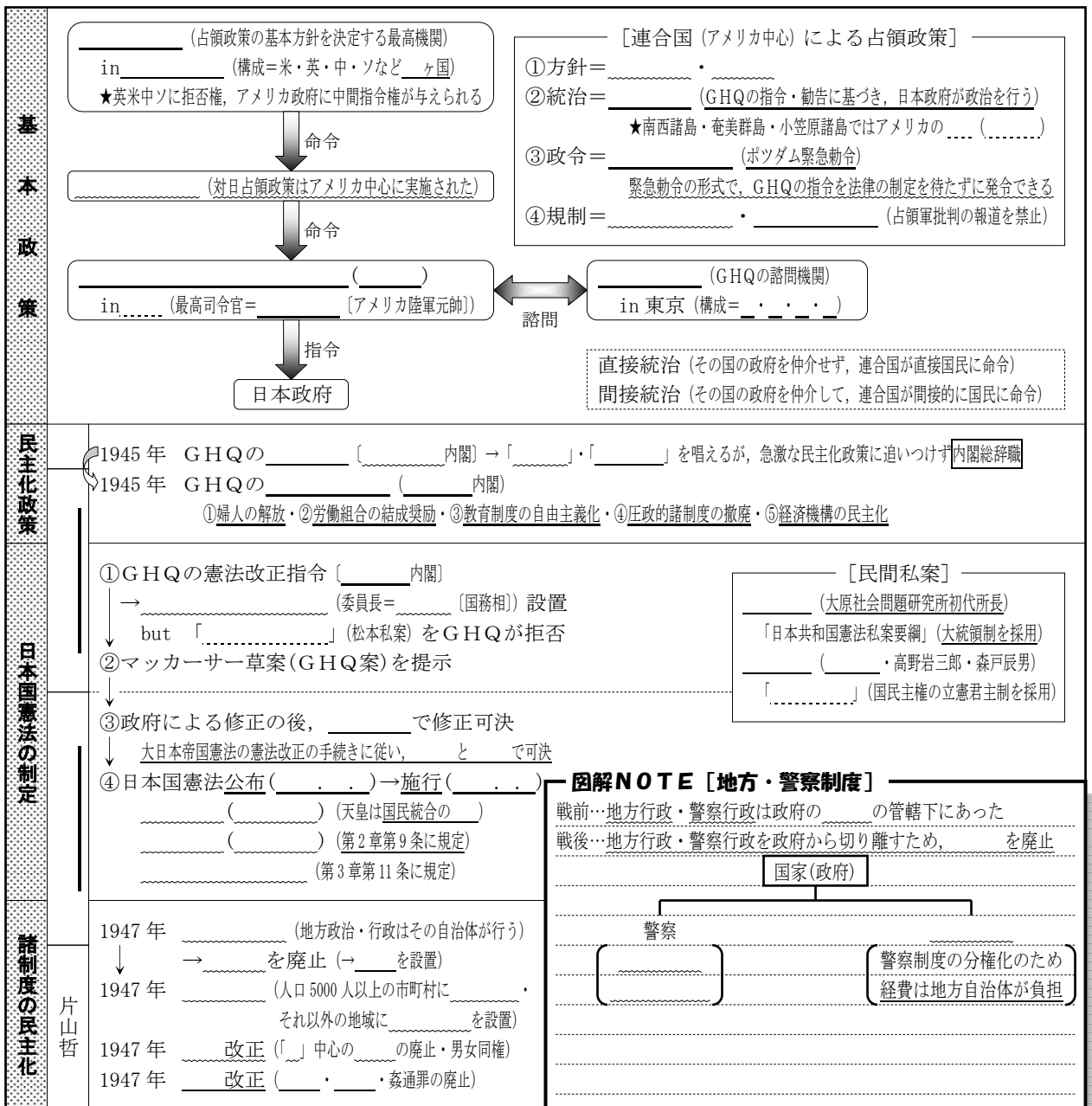
（総裁＝首相）
新体制運動の中で一党一党体制を目指したが、首相兼大政翼賛会総裁の近衛文麿に権限が集中する政治体制は、天皇主権を国体とする大日本帝国憲法に違反するおそれがあるとされた。そのため、大政翼賛会は政治運動の中心としての性格を否定し（政党ではない）、公事結社とされた。



[B] アジア・太平洋戦争

	太平洋戦争	政治・外交
〔陸軍大將〕	_____ (アメリカ太平洋艦隊の主力を壊滅) 1941. 12. 8 _____ 半島上陸 (イギリス東洋艦隊の戦艦を撃沈) 太平洋戦争勃発 (戦争中の日本では _____ と称された) ★戦争の目的として「 _____ の建設」を発表 →欧米勢力の植民地支配からアジア諸民族の解放を掲げる cf. _____ (連合国が発表した第二次大戦の戦争目的) 1942. 2 _____ 占領 (イギリス軍守備隊が降伏) → _____ . 4 _____ (第 _____ 回衆議院議員総選挙) 1942. 6 _____ 海戦 (空母などの壊滅的打撃を受け敗北) 1942. 8～ _____ 島戦 (1943年2月に日本軍が撤退) 1943. 5 _____ 島の戦い (日本軍2500人が初の玉砕) → 1943. 11 _____ (占領地域の代表者を集めた会議) _____ [戦時体制] (文系大学生を召集) (学生を軍需工場に動員) (未婚女子を軍需工場に動員) _____ (大東亜共同宣言を発表 (大東亜共栄圏の結束を強化)) (大東亜会議の開催後に連合国が会談) _____ [連合国会談] 1943. 11 _____ (大東亜会議開催後のカイロ会談で発表) _____ (米)・ _____ (英)・ _____ (中) ★ _____ の独立, _____ 諸島の _____ への返還, _____ 諸島の _____ 権利奪など日本の領土問題方針を協議	_____ [「内鮮一体」を提唱した朝鮮人への同化政策] ①神社参拝の強要 (1937) (朝鮮神社への参拝) ②日本語常用の強制 (1938) (朝鮮語教育の廃止) ③ _____ (1940) (朝鮮人を日本式氏名に改姓させる) ④徴兵制の実施 (_____ 年～) ★台湾では _____ 年から実施 ⑤朝鮮人の強制連行 ex. _____ (日本兵への性奉仕)
	1944. 7 _____ 島陥落→内閣総辞職 サイパン島がB29を中心とした米軍機の日本爆撃の基地となる ★ _____ (学童を集団で地方に避難させる) が始まる	1945. 2 _____ (_____ 半島のヤルタ会談で成立) _____ (米)・ _____ (英)・ _____ (ソ) ★秘密協定で _____ の _____ への引き渡しを条件に ドイツ降伏後から2～3ヶ月以内のソ連の対日参戦を了承 1945. 5 _____ 降伏 (無条件降伏を受諾)
	1945. 2 _____ の戦い (日本軍2万人が玉砕) 1945. 3. 10 _____ (_____ 爆撃機による焼夷弾爆撃) 1945. _____ 上陸→内閣総辞職 _____ (男子の戦闘要員)・ _____ (女子の看護要員) ex. _____ (沖縄師範女子部・県立第一高女の看護隊)	1945. 7 _____ (_____ 郊外のポツダム会談で発表) _____ (米)・チャーチル (英)・ _____ (ソ) →のち _____ (総選挙の保守党圧勝による) ★ローズヴェルトの死去 (1945. 4) により副大統領から昇格 ① _____ の除去・② _____ に基づく日本の領土制限 ③ _____ の処罰 (_____ の復活・ _____ の尊重) ④ _____ (_____)・ _____ (_____) _____ 3国の名で _____ への _____ を勧告 (→日本政府は黙殺)
	1945. _____ 占領 (→日本軍による住民への集団自決の強制) 1945. _____ 原爆投下 (ウラン型) 8. 8 _____ の対日参戦 (_____ ・ _____ ・ _____ などに侵攻) _____ に基づきソ連が侵攻 ★ _____ (日本軍兵士・民間人が収容所で強制労働) _____ (中国人の養父母に育てられた日本人孤児) _____ 原爆投下 (プルトニウム型) 8. 14 _____ 受諾 (御前会議で最終決定) →終戦の詔書 (天皇が詔書を録音し、翌日にラジオ放送) 8. 15 _____ (天皇が戦争敗北を国民へ伝える) →内閣総辞職	
〔皇族〕	1945. 9. 2 降伏文書調印 (東京湾停泊中の米戦艦 _____ 号上で調印) 全権 = _____ (外相)・ _____ [参謀総長] ★以降, サンフランシスコ平和条約 (1951) が発効される _____ 年までの _____ 年間, 連合国による占領政策が行われる _____ [戦時中の文学] _____ 『麦と兵隊』 (1938) (日中戦争に従軍した筆者の小説) _____ 『生きてゐる兵隊』 (1938) (日本軍の残虐性を描写)	 (1942年夏最大時) —— 日本軍の勢力範囲 —— 連合軍の進攻路 × 主要戦場 ソ連 モンゴル人民共和国 満州国 北京 南京 日本 中電 硫黄島 サイパン島 ガダルカナル島 ミッドウェー海戦 真珠湾攻撃 ハワイ群島 カナダ アッツ島 マレー半島 シンガポール インドネシア 英属東インド

[A] 占領政策



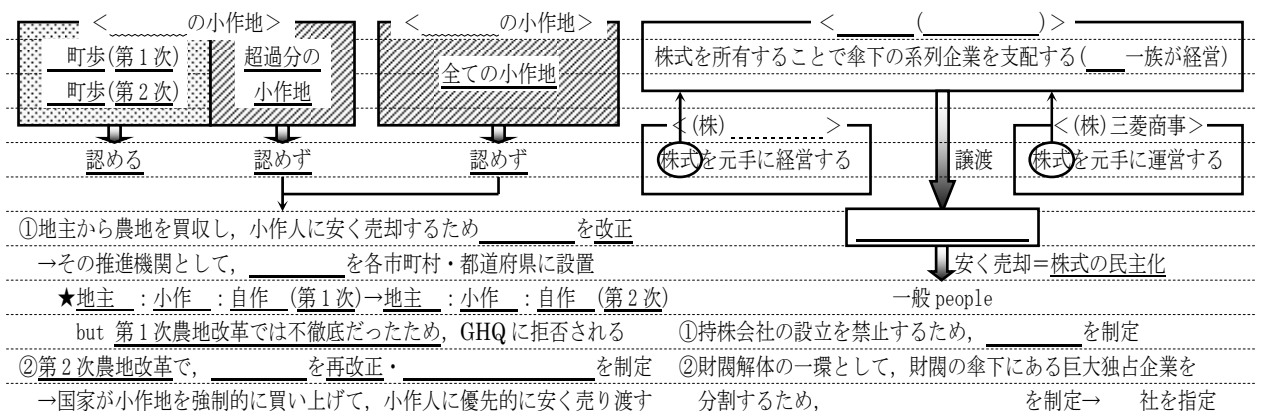
図解NOTE [地方・警察制度]

戦前…地方行政・警察行政は政府の _____ の管轄下にあった

戦後…地方行政・警察行政を政府から切り離すため, _____ を廃止



[NOTE]



[B] 五大改革指令

① _____	幣原喜重郎	_____年 衆議院議員選挙法改正 (選挙資格=満 _____歳以上の _____…全人口の _____%) _____年 戦後初の衆議院議員総選挙 (新選挙法に基づく)	
② _____ _____	吉田茂① 片山哲	労働三法 _____年 _____ (労働者の _____・ _____・ _____を保障) _____年 _____ (労働争議の制限・調停方法などを規定) _____年 _____ (時間労働制など労働条件の最低基準を規定) 1947年 _____ (労働保護行政を担当する機関)	— [労働組合の全国組織] — 右派= _____ (_____) ★日本社会党系の労働組合の全国組織 左派= _____ (_____) ★日本共産党系の労働組合の全国組織
③ _____ _____	幣原 吉田 芦田	1945年 教育改革指令 (GHQが軍国主義教育の禁止を指令) (1) _____ (軍国主義・国家主義的な教員を教職から追放) (2) _____ (道徳)・ _____ の授業停止 ★のち、日本歴史・地理は修正され、社会科として復活 ↓ 1946年 _____ の来日・勧告 _____ (_____年に失効) に代わる新しい民主主義的な教育理念を提示 _____年 _____ (義務教育9年間・男女共学・教育の機会均等など理念を規定) _____ (六・三・三・四制の _____学校系列など学校の種類を規定) _____年 _____ (各都道府県・市町村に設置) ★ _____制→地方自治体の首長による _____制(_____年)	— [戦後初期の授業形態] — ① _____ (校舎の焼失による校庭授業) ② _____ (不適当な箇所を削除) のち、文部省が『 _____』を発行
④ _____ _____		1945年 _____・ _____・ _____の廃止・政治犯の釈放 1945年 _____ (GHQが神社・神道に対する政府の援助・監督などの廃止を命じる=国家神道の消滅) _____年 _____ (1月1日に天皇自ら「 _____(_____)」としての天皇神格化を否定) _____年 _____ (職業軍人・軍国主義者・国家主義者を政・官・財・言論界などの各界から約 _____万人追放) _____年 _____ (_____) (_____28名に対する裁判→東条英機・広田弘毅ら7名に死刑判決) A級戦犯は「 _____に対する罪」・B級戦犯は「通例の戦争犯罪」・C級戦犯は「 _____に対する罪」で裁かれた ★裁判長= _____ (オーストラリア人) cf. インドの _____判事は裁判そのものを批判し、全被告の無罪を主張	
⑤ _____ (1) _____ GHQが _____の 解体・自作農創設を指令	第一次 第二次 (_____年に終了)	1945年 _____改正 (戦前の _____年に制定された農地調整法を改正) _____ (小作地の買収・譲渡を行う機関) を設置 ★農地委員会の構成=地主 人・小作 人・自作 人 ① _____の小作地所有を認めず・② _____の小作地所有の限度は 町歩 ↓ (第1次農地改革は不徹底だったため、GHQに拒否される) 1946年 _____再改正 (のち、1952年の _____施行に伴い廃止) _____ (小作地の買収・譲渡を行う機関) を再編 ★農地委員会の構成=地主 人・小作 人・自作 人 1946年 _____ ① _____の小作地所有を認めず・② _____の小作地所有の限度は 町歩 (北海道は 町歩) ★不在地主の小作地と在村地主の超過分の小作地は、国家が強制的に買収し、小作人に優先的に安く売却 →全小作地の _____%が解放され、自作地は87%・小作地は _____%になったが、山林は解放されず ②残った小作地の小作料は公定の定額金納 (小作料の最高限度は田= _____%・畑= _____%まで) 1947年 農業協同組合法 (農地改革で生まれた自作農のために _____(_____)を各地に設立)	
(2) _____ GHQが _____財閥の _____・ _____を指令	片山哲	★15財閥…四大財閥 (_____・ _____・ _____・ _____)・産業資本 (浅野・古河・川崎)・新興財閥 (日産・日室・理研・日曹) など _____年 _____ (財閥解体の実施機関→持株会社の所有する株式を一般に売却=株式の民主化) _____年 _____ (_____・ _____・ _____の禁止→ _____が不正取引を監視) ★ _____ (株式の所有によって系列企業を支配する会社) _____ (同種の企業が販売価格などの協定を結ぶこと) _____ (同種の企業が独占を目的として合同すること) _____年 _____ (巨大独占企業を分割するための法律) _____社を指定するが実際の分割は _____社のみ (財閥系 は対象外) ex. _____ (→ _____と _____に分割)・ _____ (→3社に分割)・ _____ (→3社に分割)	

[A] 占領初期の社会と政治・日本国憲法

政 治		経 済 ・ 社 会 運 動	
に所属 (非政党内閣)	—— [政党の復活] —— —— (旧立憲政友会系) 総 裁 = —— —— (旧立憲民政党系) 総 裁 = —— —— (中間的保守政党) 委員長 = —— —— (旧無産政党系) 書記長 = —— —— (合法政党として再建) 書記長 = —— 年 衆議院議員選挙法改正 (女性の参政権を認める) ↓ 選挙資格 = 満 歳以上の男女 (有権者 = 全人口の %) 年 戦後初の衆議院議員総選挙 (女性代議士 名当選) 第一党 = 日本自由党・第二党 = 日本進歩党	—— [ー] の発生] —— ①通貨流通量の増加 ②人口の増加 (→失業者の急増) (軍人の家庭帰還) (海外在留日本人の帰国) ③石炭生産の減少 (石炭・労働力不足で生産が減少) ④食糧・鉄製品の品不足 (米・ナベ・カマなどの品不足) (都市住民が食糧購入のために農村へ赴く) (公定価格を無視した闇取引を行う露店市)	
	↓ 年 衆議院議員選挙法改正 (女性の参政権を認める) ↓ 選挙資格 = 満 歳以上の男女 (有権者 = 全人口の %) 年 戦後初の衆議院議員総選挙 (女性代議士 名当選) 第一党 = 日本自由党・第二党 = 日本進歩党	(1946 年 (皇居前広場で開かれた飯米獲得人民大会)) (1946 年 (労働組合が自主的に業務を管理する争議)) 年 (インフレ抑制のため通貨収縮をはかる) ↓ 封鎖・..... 切り替えを行うが、一時的な効果に終わる	
	↓ の連立内閣 ★日本自由党の が組閣中に公職追放処分を受けたために組閣 年 日本国憲法公布 (月 日) ↓ (.....)・..... (.....)・..... 年 日本国憲法施行 (月 日) 年 戦後 2 度目の総選挙 (新憲法下で初の選挙) 第一党 =・第二党 = 日本自由党 → 内閣総辞職	↓ 1946 年 ~ (経済政策に関する企画・調整機関) (建議 = (経済学者)) 業・..... 業など重要産業の生産拡大のために が重点的に資金を供給→更にインフレが進行 ★..... [蔵相] が積極的に推進 (石橋財政) 年 (→決行直前にGHQが中止命令) (中心 =) を中心に 官公庁労働者(公務員)が一斉ストライキを計画するが中止	
	↓ の連立内閣 (最初の社会党内閣) ↓ 1947 年 (労働保護行政を担当する機関) 設置 ★炭鉱国家管理問題などで党内左派から攻撃される → 内閣総辞職	↓ 1948 年 (公務員の争議権・団体交渉権を否認) GHQからの指令で出されるポツダム(緊急)命令が 憲法制定(1947)によりポツダム政令へと変わったため	
	↓ の連立内閣 1948 年 (復興金融庫融資をめぐる贈賄事件) 日本社会党の西尾末広 (前副総理) らを逮捕 → 内閣総辞職	↓ 1948 年 改正 (公務員の争議権・団体交渉権を否認) 年 (日本経済自立のためGHQが指示) 予算均衡・徴税強化・賃金安定・物価統制・増産 融資制限・貿易の改善・物資割当の改善・食糧集荷の改善	
	↓ 単独内閣 (日本自由党に民主党脱党派が合流) 1948 年 馴れ合い解散 (第2次吉田内閣が少数与党であったため) 1949 年 戦後 3 度目の総選挙 (→民主自由党が過半数超えの圧勝)		

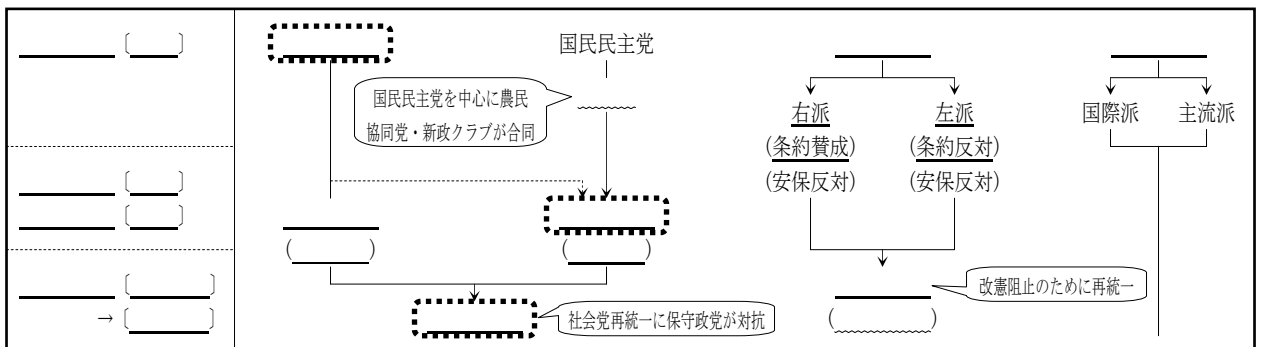
[NOTE]

- ①戦後 の原因 = 紙幣流通量の増大・人口の増加・品不足
- ②インフレ抑制のため、..... を公布 (紙幣流通量の減少をはかる)
- ③品不足を解消するため、..... を採用 (生産量の増加をはかる)
- 業・..... 業などの重要産業へ が資金を重点的に投入
- ④生産量は増加するが、紙幣流通量が増大しインフレが進行 (復興インフレ)
- ⑤ (官公庁労働者が2月1日に一斉ストを計画)
- 経済の混乱を恐れたGHQから中止命令が出されたためストは中止

[A] 日本の主権回復

政 治 ・ 経 済		外 交	
年 _____ (日本経済自立のためGHQが指示) 予算均衡・徴税強化・賃金安定・物価統制・増産 融資制限・貿易の改善・物資割当の改善・食糧集荷の改善 (_____ の来日 (1948) (→日本の「竹馬経済」を批判)) ↓ 年 _____ [デトロイト銀行頭取] ①超均衡予算 (赤字を出さない予算案) ② _____ (1ドル= _____ 円) の設定 年 _____ [コロンビア大学教授] ① _____ を主とする直接税中心主義への転換 ②平衡交付金制度の導入 (のちの _____) ↓ [怪事件の発生 (国鉄による人員整理発表後に発生)] _____ (1949) (国鉄総裁の _____ が轢死) _____ (1949) (中央線三鷹駅で無人電車が暴走) _____ (1949) (東北線松川駅付近で列車が転覆) ★政府は国鉄労組員・共産党員の犯行と発表 (真相は未だ不明) ↓ 年 _____ (朝鮮戦争勃発の直前にGHQが指令) ↓ 1950年 _____ 幹部を公職追放・各職場の共産主義者を追放 _____ (_____) 反共産・民主労働組合の全国組織として結成 1950年～ _____ の解除 1950年～ _____ (_____ 業と _____ 業を中心とした特殊需要) ← _____ 年 _____ が戦前水準を回復 ★ _____ (鉱業・製造業の生産量を示す指数) ↓ [_____ への参入] _____ 年 _____ (_____) に加盟 _____ 年 _____ (_____) に加盟 ↓ [講和会議をめぐる国内対立] ① _____ 論 (資本主義陣営の交戦国とだけ講和を結ぶ) ② _____ 論 (中・ソを含む全ての交戦国と講和を結ぶ) ex. _____ (東大総長)・平和問題談話会 (発起人= _____) ③日本社会党の分裂 →右派 (_____ =賛成・安保条約=反対) →左派 (_____ =反対・安保条約=反対) ↓ 年 _____ (_____) ← ↓ _____ 月 _____ 日のメーデーで条約に不満なデモ隊と警官隊が衝突 _____ 年 _____ (暴力的破壊活動を行った団体禁止) 占領中の _____ (1949) を継承した法令 ★調査機関として _____ (1952) を設置 1952年～基地反対闘争 (米軍基地の増強をめぐる住民反対運動) ← 石川県= _____ (1952)・東京都= _____ (1955)		図解NOTE [ドッジ=ライン] ①紙幣流通量の増大によるインフレ(物価高)→輸出不振・輸入超過 →ドッジはアメリカ政府の補助金(_____)・ 政府の国内補助金(復興金融庫の融資など)を「竹馬経済」と批判 ↓ ②日本政府の補助金・アメリカ政府の援助金を打ち切り ↓ ③デフレ(物価安)にすることで物価を下落させ輸出拡大をはかる (1)紙幣流通量を減少させるため超均衡予算を設定 (2)輸出促進のため貿易形態を統一(複数為替レート→単一為替レート) 従来= _____ (商品ごとに為替相場が異なる) 以降= _____ (全ての商品の為替相場が同じ) →全ての輸出入品の為替相場を1ドル= _____ 円に統一 ↓ ④一連のデフレ政策によりインフレは終息するがデフレ不況が深刻化 → _____ (中小企業の倒産と大量の人員整理による失業者が増大) ⑤失業者の増大により、労働運動が激化(労働組合・共産党員が中心) →労働運動が激化する中で、国鉄のリストラをめぐる怪事件が発生 ↓ _____ 年 _____ (_____ 度線をめぐる北朝鮮と韓国の武力衝突) ↓ 1951年 _____ [講和特使] の来日 (→対日講和交渉を推進) →サンフランシスコ講和会議の全権として _____ 首相が渡米 ↓ [_____ (_____ 年)] ★会議に招致されず…… _____ (英支持)・ _____ (米支持) ★会議への参加を拒否…… _____ ★参加したが調印拒否…… _____ ① _____ (_____ 年) ①日本の主権回復 (連合国軍の占領解除) ②賠償請求権の放棄 (連合国の多くが賠償請求を放棄) ★フィリピン・ビルマなどの東南アジア諸国とは賠償協定を締結 ③領土の放棄 (_____ など) ④南西諸島 (_____)・ _____ は米国による _____ → _____ は1953年に返還 ★条約発効は _____ 年 _____ 月28日 (日本の占領期間は _____ 年間) ② _____ (_____ 年) (平和条約と共に締結) 在日米軍が駐留を続け、「 _____ 」の平和と安全のために「 _____ 」する ★在日米軍の日本防衛義務と条約の期限は明記されず (不平等条約) →経済復興を優先するため再軍備による経済的負担を避けて、 基地を提供する見返りに独立後の安全保障を米国に依存した → _____ (_____ 年) (在日米軍の駐留に関する細目規定) 米軍人の治外法権・米軍基地の無償提供・防衛費の日米分担	

政治・経済		外 交
特需	1953 年 _____ 解散 (吉田茂のパカヤロー発言→ <u>内閣総辞職</u>)	_____ 年 _____ (北緯 38 度線の _____ で結ばれる)
54 年 不況	占領初期の占領政策の方針「非軍事化」・「民主化」から、警察予備隊・保安隊・自衛隊の創設などの「再軍備」、新警察法・新教育委員会法などの「中央集権化」といった戦前・戦中への復古的な政策を「逆コース」という 1954 年 _____ (→ _____ [自由党幹事長] を逮捕) ↓ _____ [法相] の指揮権発動で佐藤栄作を釈放→<u>内閣総辞職</u> 1954 年 _____ 結成 (自由党の反吉田派と _____ が合同) 総裁 = _____	_____ 年 _____ [_____ (戦前・戦中への復古政策)] _____ _____ 年 _____ (_____) ↓ 経済援助を受ける代わりに日本の防衛力を強化 _____ 年 _____ (保安隊・海上警備隊を統合→ _____ の管轄) _____ 年 _____ (_____ ・ _____ を廃止) → _____ を設置 (_____ が統括) 1954 年 _____ (教職員政治活動・政治教育禁止)
(1955~57)	「再軍備・憲法改正」方針 ↓ [_____ (国防に関する事項を審議する機関) 設置] ↓ [_____ (憲法改正を審議するための機関) 設置] _____ 年 <u>社会党再統一</u> (改憲阻止のために右派と左派が合同) ↓ 委員長 = _____ _____ 年 <u>保守合同</u> (_____ と _____ [総裁 = _____] が合同) → _____ (総裁 = _____) 結成 [高度経済成長 (1955~1973)] ① _____ (ハイテク技術などのオートメーション化への変革) ② _____ (企業による工場や機械の設備の近代化のための投資) ★ _____ などの部門が先進技術を導入 → ③ <u>産業構造の高度化</u> (高度経済成長の過程で進展) ↓ → <u>第 1 次産業</u> < <u>第 2 次産業</u> < <u>第 3 次産業</u> (農林水産業) (鉱業・建設業) (商業・サービス業) ④ 重化学工業の発達 (工業生産額の 3 分の 2 を占める) ⑤ _____ (_____ → _____) (石油価格の低下が背景) ★ _____ (1960) (大量解雇に反対して労働組合が全面スト) _____ 年 _____ (関税と貿易に関する一般協定) 加盟 1955 年 _____ (各労働組合が春に行う一斉賃上げ交渉) 開始 _____ 年 _____ (_____) による指導 _____ 年 『 _____ 』 (_____ が発行する年次経済報告書) 「もはや戦後ではない」と戦後復興の終了を宣言 [_____ (電化製品・自動車などの _____ が普及)] <u>三種の神器</u> (_____ ・ _____ ・ _____) ★ <u>登場</u> (1950 年代後半) → 普及 (1960 年代後半~1970 年代初め)	_____ 年 _____ (東西冷戦の緊張緩和) 1953 年 _____ 書記長 (スターリン死去) → フルシチョフによる <u>東西平和共存路線</u> ★ スターリン批判 (1956) → 中ソ関係悪化 (中ソ論争) 1954 年 _____ (中国) ・ _____ (インド) 会談 <u>平和五原則</u> (→ 第三勢力に大きな影響を与える) ↓ 1955 年 _____ 会議 (_____ 会議) 中国・インドを中心に開催 → 「平和十原則」を決議 _____ 年 _____ 四巨頭会談 (米・英・仏・ソ連) [<u>原子爆禁止運動</u>] 1954 年 アメリカの <u>ビキニ水爆実験</u> ↓ _____ (日本漁船) が被爆 _____ 年 第 1 回 _____ at _____ 「<u>自主外交</u>」方針 _____ 年 _____ (日ソ国交正常化) 全権 = _____ ・ _____ (ソ連) ① <u>日本の国際連合加盟を支持</u> ② <u>平和条約締結後に _____ 群島・ _____ 島の返還を約束</u> _____ 年 _____ 加盟 (外相 = _____)



[A] 高度経済成長(1)

政 治 ・ 経 済		外 交	
〔自由民主党〕	(1958~61)	1956年 ハンガリー事件(ハンガリー動乱) ハンガリーで起きた改革要求運動をソ連軍が鎮圧 ↓ 「日米新時代」方針 年 _____ ①アメリカの日本防衛義務を明記 ②条約期限は10年(それ以降は自動延長) →1970年に安保条約の自動延長(_____ 内閣) ③在日米軍の _____ での軍事行動に関する _____ →米国が発議の主導権を持つ(日本の拒否権がない) ★ _____ (米軍駐留に関する細目規定)	
	(1962~64)	「政経分離」方針 1962年 _____ (日中準政府間貿易) 調印 = _____ (中国)・ _____ 図解NOTE①〔国際競争力の強化〕 ①大型合併(国際競争の激化に備えて大型企業が合併) ex. _____ の再合併(1964)(分割された三菱3社が合併) _____ の創立(1970)(_____ ・ _____ が合併) ② _____ (三井・三菱などの旧財閥が銀行・商社を中心に形成)  図解NOTE③〔ベトナム戦争の影響〕 ①ベトナム戦争による米軍からの特別需要→ _____ 景気 ②アメリカの要求により韓国がベトナム戦争に参加 →米国の要請で日韓国交樹立 = _____ (_____ 年) ③ベトナム反戦運動(_____ が結成した _____ が中心) →東大の安田講堂攻防戦など大学紛争に波及(1968~69) ④ベトナム戦争に伴う沖縄の米軍基地が問題化 →祖国復帰運動が本格化(_____ が中心) ⑤ベトナム戦争の長期化(アメリカの敗戦が濃厚) →名誉ある撤退のためアメリカが中華人民共和国へ接近 ⑥アメリカの国際収支の悪化(軍事費・輸入額が増大) →アメリカの _____ (金保有量)が減少 =	
〔自由民主党〕	(1958~61)	[保守・革新の対立(安保改定に先駆けて実施)] 1957年 第一次 _____ (自衛隊装備の近代化を図る) 1958年 _____ (_____)改正案 「デートもできない警職法」と呼ばれ、世論の反対で失敗 1958年 教員の勤務評定制度(日教組を中心に反対闘争が激化) 年 _____ (安保条約改定反対運動) ← 原因 = 新安保条約の国内批准案を _____ で強行採決 経過 = ①日本社会党(委員長 = _____)・ _____ (学生団体)らが 結成した _____ を中心に国会を取り巻き連日デモ ★日本社会党の右派が脱党 → _____ (委員長 = _____) ②予定されていた _____ 大統領の来日中止 結果 = 国内批准案は _____ の議決を経ずに自然成立 → 内閣総辞職	
	(1962~64)	「寛容と忍耐」方針(_____ 政策) 年 _____ (10年間で国民所得を2倍にする) 年 _____ (農業所得の安定のため農業の近代・合理化をはかる) ★戦前から続く _____ (政府が米を強制買上げ)のもと、 補助金を投入して生産者米価を引き上げ → 農業所得水準は上昇 but 第二種兼業農家が増加(農業より副業の収入が多い農家) → _____ (じい・ばあ・かあちゃん)の現象が広がる ★のち、米の供給過剰を解消するため _____ 政策開始(_____ 年~) 1962年 _____ ・ _____ 計画 大都市への人口・産業の集中を緩和し、地域格差の是正を図る [開放経済体制への移行(←欧米諸国の圧力)] 年 _____ →移行(→ _____ の自由化) 国際収支を理由に輸入制限ができない 年 _____ →移行(→ _____ の自由化) 国際収支を理由に _____ ができない 年 _____ (_____)に加盟(→ _____ の自由化) ODA(政府開発援助)の本格化・外国資本の流出入の自由化 年 _____ 開催(_____ が開幕直前に開通) ★ _____ (日本初の高速自動車道)が全線開通(1965)	
図解NOTE②〔ドル＝ショック〕		①アメリカの国際収支の悪化(アメリカの軍事費・輸入額が増大) (1) アメリカのベトナム戦争介入(1965~1973) → アメリカの軍事費が増大 (2) ヨーロッパ(EC)諸国・日本の経済成長 → アメリカの輸入額が増大 ②ドルの信用度が低下し、ドルと金を交換する人が増加 ↓ ③ _____ (アメリカが金・ドル交換を一時停止)(1971) → _____ ④ _____ 会議(_____ 会議)(1971) → _____ 協定(1ドル = _____ 円 → 1ドル = _____ 円) 日本通貨(円)を切り上げ ↓ アメリカ通貨(ドル)を切り下げ ↓ ⑤その後もアメリカの財政悪化は変わらず → _____ へ(_____ 年)	

[B] 高度経済成長(2)

政 治 ・ 経 済		外 交	
証券不況 			

[A] 現代の情勢(1)

内 閣	政 治 ・ 外 交	経 済
衆参両院同日選挙中に急死 (総裁選に出馬せず)	1979 年 _____ (一世一元の制を法制化) 1979 年 _____ (国連総会で採択される) (日本は1980年に署名し、1985年に国内批准) _____ 年 _____ (男女差別禁止を努力義務) 1985 年 _____ 首相初の靖国神社公式参拝 (批判を受ける) 1986 年 _____ のGNP1%枠を突破 図解NOTE① [貿易摩擦(1980年代)] ①アメリカの高金利政策によるドル高と消費拡大を背景に技術革新とME化を推進してハイテク分野の輸出が拡大 ex. 自動車・電気機械・半導体・IC(集積回路)・コンピュータ ②日本の対米貿易黒字が拡大→日米貿易摩擦が激化 ex. アメリカの「_____」(_____・_____) ③アメリカが日本市場の開放・内需拡大などを求める (1) 鉄鋼・自動車などの輸出を自主規制(1977・1981) (2) _____ (1986) (外国製半導体の市場参入を保障) (3) 農産物(_____・_____)の輸入自由化(1988) cf. _____ → _____ の部分開放(1993) (4) _____ 開始(1989～) →アメリカが日本の経済構造の改造などを求める 竹下を後継に指名して退陣	1979 年 _____ (_____ が背景) 1979 年 _____ ソ連のアフガニスタン侵攻 1979 年 _____ 一般消費税導入案失敗 (総選挙の自民党敗北で撤回) 「増税なき財政再建」方針 (支出削減・公共部門縮小を推進) 1981 年 _____ 発足 (中心=_____) 「戦後政治の総決算」方針 (行財政改革・教育改革を推進) 1985 年～民営化政策 (第2次臨時行政調査会の答申に基づく) _____ → _____ (_____ 年) _____ → _____ 発足(_____ 年) _____ → _____ 発足(_____ 年) [円高傾向の加速 (貿易摩擦の解消のため)] _____ 年 5 カ国蔵相会議 (G5) → _____ (米・日・独・仏・英) ドル高是正のための協調介入に合意 →これ以降、円高・ドル安が急速に進行 _____ 年 7 カ国蔵相会議 (G7) → _____ (G5+加・伊) 円高・ドル安の行き過ぎの調整に合意 1987 年 売上税導入案失敗 (世論が反発したため撤回) 1989 年 _____ 3%実施 (財政再建のため大型間接税導入) 1989 年 _____ (_____) 世界第 1 位 図解NOTE② [バブル経済] ①ブラザ合意後の円高で輸出が減少= _____ (1985～) ②経済活性のため _____ を 2.5%に引下げ(1986) ★ _____ (日本銀行が市中銀行に貸し出す際の金利) ③企業などが余剰資金を不動産市場や株式市場に投資 ↓地価・株価が異常に高騰= _____ 景気(_____ 経済) ④高騰抑制のため _____ を 6%に引上げ(1990) ⑤地価・株価が暴落=バブル崩壊(1991 頃～) (1) 民間企業の倒産・リストラによる失業者が増大 (2) 土地を担保に資金を融資していた銀行も資金を回収できず、回収困難な債権(_____)が拡大 ⑥金融機関の破綻の処理に政府は公的資金を投入 ↓★ _____ (1998)→ _____ (2000) が金融機関を監督 ⑦政府は歳出増加と税収不足から _____ を発行 ↓→国内的には赤字国債を抱える債務国(約 1000 兆円) ⑧財政赤字を補うため消費税を _____ %に引き上げ(1997) 1995 年 村山談話 (終戦記念日の戦後 50 年記念式典で発表) アジア諸国に対する植民地支配と侵略の謝罪を表明
政治改革の党内反発を受け退陣	1989 年 昭和天皇崩御 (「昭和」→「平成」に改元) 1989 年 _____ 事件 (事件に関連して内閣総辞職) 1989 年 参院選で自民党大敗 (→敗北責任で内閣総辞職) 1991 年 _____ 勃発 (→多国籍軍へ 130 億ドルを支援) 「_____ (_____ 年) (米ソ首脳が冷戦終結宣言)」 _____ 年 ドイツの統一 (ベルリンの壁が崩壊) _____ 年 ソ連の崩壊 (ゴルバチョフ大統領が辞任) 1992 年 _____ (_____) 自衛隊の海外派遣を可能にする→ _____ に派遣 _____ 年 _____ 事件 1993 年 _____ 事件 (→総選挙で自民党敗北後に総辞職) _____ など 8 党派連立内閣 (自民党・共産党を除く)← _____ 年 55 年体制の終焉 (自民党長期政権の崩壊) _____ 年 政治改革関連連法 (_____ 制を導入) _____ など 5 党派連立内閣 (→日本社会党が連立を離脱し少数与党) _____ の三党派連立内閣 1994 年 _____ (日本新党・新生党・公明党・民社党が合同) _____ 年 阪神・淡路大震災 (1/17) _____ 年 地下鉄サリン事件 (オウム真理教による事件)	景気 (1986～1991) 経済 (1986～1991) (1991～2002)
社会党が消費税 安部・自衛隊の 容認などへ転換		

[B] 現代の情勢(2)

内 閣	政 治 ・ 経 済	外 交	
「行財政改革」	・社会民主党・新党さきがけの三党連立内閣 1996年 (社会民主党・新党さきがけを中心に結成) 1997年 5%実施 (バブル後の財政赤字を補うため) 1997年 財政構造改革法 (歳出削減による財政健全化目標) 1998年 中央省庁等改革基本法 (省庁再編改革の案)	1996年 ↓ 橋本龍太郎・クリントン [大統領] の会談で発表 年 (日米防衛協力のための指針の見直し) ↓ 日本の「周辺有事」における日米相互協力に合意	
(脳梗塞で急死) ↓	自由民主党・公明党・自由党の三党連立内閣 1999年 中央省庁等改革関連法 (改革案を具体化) 1999年 (日章旗・君が代を国旗・国歌とする) 2000年 (衆参両院に設置した調査・研究機関)	1999年 (周辺事態法など3つの法律) → () 日本周辺地域で武力紛争など有事が発生した場合、 日本がアメリカ軍の支援にあたる枠組みを整える	(1991~2002)
(支持率低下で退陣) ↓	自由民主党・公明党・保守党(保守新党)の三党連立内閣 2000年 サミット開催 年 中央省庁再編 (1府22省庁→1府12省庁に再編)		
「聖域なき 構造改革」 (総裁選に出馬せず) ↓	2001年 テロ対策特別措置法← アメリカ同時多発テロに対する積極支援姿勢を示す 2003年 イラク人道復興支援特別措置法← →戦後の復興支援のため自衛隊をイラクに派遣(2004) 年 (日本郵政公社を日本郵政に民営化)	2001年 アメリカ同時多発テロ(9/11) ↓ 航空機2機が世界貿易センタービルに激突・崩壊 年 (アメリカ軍などがイラクに侵攻) 2002年 (日朝国交正常化交渉が再開) [首相]・[総書記] が平壤で署名	いざなみ景気(2002~2007)
① (岸信介の孫) ↓	自由民主党・公明党の連立内閣 2006年 教育基本法改正 (「愛国心」条項を盛り込む) 2007年 発足 (防衛庁を防衛省に昇格して設置) 2007年 国民投票法 (憲法改正を18歳以上の国民投票とする)	54年 () で () が被曝 → (第五福龍丸無線長) が死亡 55年 (第1回大会を) で開催 ★東京都 区の婦人達による 運動が契機 55年 (原子力の研究・開発を平和利用を限定) 56年 原子力研究所 (県 に設立された研究所) 63年 原子力発電所 (県 で初めて発電に成功) 86年 原発事故 (ソ連で原発事故) 95年 事故 (福井県の高速増殖炉でナトリウム漏れ) 99年 臨界事故 (茨城県の 事業所で臨界事故) 2011年 原発事故 (東日本大震災の影響により発生)	(2007~2011)
(福田赳夫の子) (吉田茂の孫) (鳩山一郎の孫) 菅 直人	2008年 北海道洞爺湖サミット開催 2009年 衆院選で自民党大敗 (→民主党が過半数を獲得) ・国民新党・社民党の連立内閣 ← 2010年 移設問題 (移転交渉に失敗し辞職) 民主党・国民新党の連立内閣 (社民党が連立を離脱) ← 年 東日本大震災(3/11)	2012年 の国有化 (中国との領有権問題が背景)	
② " ③ " ④ (岸信介の孫) (持病の再発で辞意) ↓ 菅 義偉	自由民主党・公明党の連立内閣 (史上最長首相在職日数) ← 2014年 消費税8%実施 (社会保障財源の税収不足のため) 年 公職選挙法改正 (選挙資格を満18歳に引き下げ) 2017年 衆院選で自民党圧勝 (自公で3分の2を獲得) 2019年 平成天皇退位 (「平成」→「令和」に改元) 2019年 消費税10%実施 (社会保障財源の税収不足のため) 2021年 東京オリンピック (コロナ禍で2020年から延期)	2014年 集団的自衛権の行使容認を閣議決定 年 (新しい日米防衛協力のための指針) 年 (集団的自衛権の限定行使を可能) 年 慰安婦問題日韓合意 (不可逆的な解決を確認?) 2018年 TPP (環太平洋経済連携協定) 発効 (米国は離脱) 2019年~新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行	(2011~2020)
岸田文雄 (石破 茂) (2024~)	年 改正 (成年年齢を満20歳から満18歳に引き下げ) 2022年 安倍晋三銃撃事件 (選挙演説中に銃撃され死亡)	2022年~ロシアのウクライナ侵攻	コロナ不況

[1] 授業形式

講義では授業内で使用する前半部(P2～P93)の「通年テキスト」に、**蛍光ペン**や**アンダーライン**で**チェック**を入れていく。その際の色分けの違いについては以下のようなルールがある。

記述問題・選択問題で問われる語句	正誤問題・論述問題で問われる内容
赤色の蛍光ペン＝出題頻度が多い最重要語句	赤色のアンダーライン＝出題頻度が多い最重要内容
青色の蛍光ペン＝出題頻度が多い重要語句	青色のアンダーライン＝出題頻度が多い重要内容
緑色の蛍光ペン＝出題頻度が少ない語句	緑色のアンダーライン＝出題頻度が少ない内容
黄色の蛍光ペン＝出題頻度が非常に少ない語句	黄色のアンダーライン＝出題頻度が非常に少ない内容

上記のものは頻度にあたるが、生徒によって志望校は異なってくるので、蛍光ペン・アンダーラインによる色分けの目安は以下のように考えてくれるとよい。

赤色の蛍光ペン・赤色のアンダーライン	→一般大学(目安の大学…共通テスト・日東駒専・産近甲龍など)
青色の蛍光ペン・青色のアンダーライン	→難関大学(目安の大学…明青立法中・関関同立など)
緑色の蛍光ペン・緑色のアンダーライン	→超難関大学(目安の大学…早慶上智)
黄色の蛍光ペン・黄色のアンダーライン	→マニアックな難関

それぞれの対応箇所まで押さえていけば、入試の合格ラインである7～8割を達成することができるが、**日本史**を得点源にして9割近く得点したい者は、一つ上のランクまで押さえおくとよい。つまり、共通テスト・日東駒専・産近甲龍で9割近く得点したいのならば青色まで、明青立法中・関関同立で9割近く得点したいのならば緑色まで、早慶上智で9割近く得点したいのならば黄色まで、ということである。

ゆえに、共通テスト・日東駒専・産近甲龍を第一志望として考えている場合は、赤色・青色までを予習し、緑色・黄色までは予習しなくてよい(同じように、明青立法中・関関同立を第一志望としている場合は、赤色・青色・緑色までを予習し、黄色までは予習しなくてよい)。あくまでも日本史は受験科目の一つにすぎないので、難関にこだわるのではなく、その時間を英語などの他科目に回した方が、より効率的な学習ができるはずである。そして、どの大学を第一志望としていようが、出題頻度は「赤色」→「青色」→「緑色」→「黄色」の順なので、まずは「赤色」を押さえることに重点を置いてもらいたい。

[2] 予習

授業内で、頻度についてマーカーでチェックする指示を出すと、チェックをするに時間をとられたり、蛍光ペンの色分けなどに躍起になって、説明を聞くことが疎かになる可能性が高い。そこで、「頻度」に関する色分けについては、授業前に予習をしてきてほしい。このテキストの後半部(P102～P193)は、前半部に対応する形で予習・復習に使えるように、授業内でチェックする語句を空欄にした「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」になっている。君たちはその「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」を参照しながら、前半部(P2～P93)の「通年テキスト」に蛍光ペンやアンダーラインであらかじめ引いてきてほしい。

記述問題・選択問題で問われる語句	正誤問題・論述問題で問われる内容
_____＝赤色の蛍光ペンにあたる	語句・文章＝赤色のアンダーラインにあたる
_____＝青色の蛍光ペンにあたる	語句・文章＝青色のアンダーラインにあたる
_____＝緑色の蛍光ペンにあたる	語句・文章＝緑色のアンダーラインにあたる
_____＝黄色の蛍光ペンにあたる	語句・文章＝黄色のアンダーラインにあたる

上記は頻度に関するルールであるが、P2を例としてあげるならば、通年テキストの「旧石器時代」・「新石器時代(縄文時代)」・「更新世」・「完新世」(1行目・2行目)の箇所は、穴埋め版テキストでは「_____時代」・「_____時代(_____時代)」・「_____」・「_____」になっているので、いずれも赤色の蛍光ペンになる。また、通年テキストの「考古学」・「地質学」(1行目・2行目)の箇所は、穴埋め版テキストでは「考古学」・「地質学」と語句・文章付きの太字下線になっているので、赤色のアンダーラインになる。具体的な例をあげるならば、右のようになるので、これを参考にして色分けをしておいてほしい。

なお、「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」は予習だけではなく、復習用のアウトプットにも使えるようにしてある。そのため、語句を覚えられたかアウトプットする時のヒントになるように、「_____時代」・「_____遺跡」・「_____年」など「時代」・「遺跡」・「年」などの部分はあえて消さずに残しておいているが、予習する際には「時代」・「遺跡」・「年」の部分も丸ごと蛍光ペンなどを引いて構わない。

「通年テキスト」の箇所	「穴埋め版(予習・復習用)」の箇所	「通年テキスト」に引く色
「旧石器時代」(1行目)	「 <u> </u> 時代」(1行目)	→赤色の蛍光ペン
「新石器時代(縄文時代)」(1行目)	「 <u> </u> 時代(<u> </u> 時代)」(1行目)	→赤色の蛍光ペン
「更新世」・「完新世」(2行目)	「 <u> </u> 」・「 <u> </u> 」(2行目)	→赤色の蛍光ペン
「考古学」(1行目)	「 <u>考古学</u> 」(1行目)	→赤色のアンダーライン
「地質学」(2行目)	「 <u>地質学</u> 」(2行目)	→赤色のアンダーライン
「先土器時代・無土器時代」(1行目)	「 <u> </u> 時代・ <u> </u> 時代」(1行目)	→青色の蛍光ペン
「約1万3000年前」(1行目)	「 <u>約1万3000年前</u> 」(1行目)	→青色のアンダーライン
「縄文海進」(3行目)	「 <u> </u> 」(3行目)	→緑色の蛍光ペン
「海面が上昇する」(3行目)	「 <u>海面が上昇する</u> 」(3行目)	→緑色のアンダーライン
「洪積世」・「沖積世」(2行目)	「 <u> </u> 」・「 <u> </u> 」(2行目)	→黄色の蛍光ペン
「針葉樹林」(4行目)	「 <u>針葉樹林</u> 」(4行目)	→黄色のアンダーライン
「落葉広葉樹林」・「照葉樹林」(4行目)	「 <u>落葉広葉樹林</u> 」・「 <u>照葉樹林</u> 」(4行目)	→黄色のアンダーライン

[3] テキストの構成について

これまでの「通年テキスト(通常版)」(テキスト前半部のP2～99)・「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」(テキスト後半部のP102～199)と2種類の冊子に分けて配布していたが、近年当予備校のテキスト規定が変更され、「通年テキスト」の場合は年間1冊まで、「1学期テキスト」・「2学期テキスト」に分冊する場合はそれぞれ年間1冊ずつ(計2冊)までとなった。どちらを採用するかはそれぞれの講師の考えによるが、これはあくまでも私見にすぎないが、地歴系科目のテキストは1冊で全てに対応できるようにした方が学習しやすい環境になると思っている。そこで、今回は「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」をテキスト後半部に収録させていただいた。

本音を言うと合計するとページ数が200ページ分になってしまうので(普通の予備校テキストは200ページ以上だろうが…)、ページ数が多いし…分厚いし…重いし…かさばるし…開きづらいし…~~テキスト角で殴る時には殺傷力は増すから好都合~~だけど、持ち運びが不便になってしまうのが懸念材料である。そこで、付録も含めた部分も残した「通年テキスト(通常版)」のP100までの箇所と、P101も含めた「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」のところで、**カッターなどを用いて生徒自ら分冊化して、前者の「通年テキスト(通常版)」をいつでも持ち運びできるように軽量化しておくことをお奨めする。**もちろん、後者の「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」も授業の頻度や復習用に必要になるので、紛失などには気をつけてほしいが、用途用途に合わせて持ち運べばよいだろう。また、綺麗に分冊し終わったら、2月の試験本番までにはテキストがボロボロになってしまうので、100均などでカバー表紙を購入しておくとういと思う(やっておいた方が予習・復習時の頻度チェックも便利になる)。

[4] 授業

頻度については、あらかじめ君たちが予習の形でチェックをしてくる。授業では、それら「点」と「点」に過ぎない語句を解説し、「線」でつなげていく。さらに講義内では、それぞれの事項の「背景・原因」・「経過・内容」・「結果・影響」などを図解したり、新たに書き込ませていく。ゆえに、君たちが行う「予習」と僕が行う「授業」によって、一つのテキストが完成していくになる。

[5] 復習(インプットの作業とアウトプットの作業)

講義によってテキストが出来上がったら、次は覚える作業である。人間が物事を記憶する方法には、僕は3通りあると考えている。それは「聞く」・「見る」・「書く」ことである。

まず、「聞く」ことに関しては、授業で説明を「聞く」ことがそれに当たる。講義の中で「流れ」の「理解」を定着させてほしい。さらに、付録ページ(P94～P96)を見るとわかりやすいが、政権担当者(天皇・将軍・執権・内閣)などを授業内では覚え歌を歌って覚えさせる(元ボーカルを活かしてワタシは歌う)。それ以外にも文化史なども含めて覚え方が大変な部分でも、掲載されていない別の覚え歌を授業内で披露することになる(ワタシは疲労する)。なので、授業を欠席する場合はその可能性を覚悟した上で欠席してください(単純に授業を1回休むだけで、時代は一挙に進むのとその内容を独学しなければならなくなるので、よっぽどの事情がない限り欠席はしないように)。また、授業を聞き直しながら復習したい場合は、授業を録音するのもよいだろう(授業の録音に関してはボイスレコーダーやスマホのボイスメモなどの録音機能などを使うとよい)。

続いて「見る」に関しては、何度も「見る」ことによって、テキストの構成が映像記憶として残っていく。そして、テキストの構成を活用して効率よく学習してほしい。例えば、右はP6の「古墳時代」の＜ヤマト政権＞に関する範囲であるが、左側が「国内・対外関係」、右側が「古墳文化」としてまとまっている。これによって「国内・対外関係」と「古墳文化」を一緒に学習することができる。そして、このページでは、上部が4世紀の事項、中央部が5世紀の事項、下部が6世紀以降の事項としてまとまっている。この構成によって、「ヤマト政権の朝鮮出兵」は上部にあったから4世紀の出来事、「倭の五王の南朝の宋への遣使」・「熊本県江田船山古墳出土鉄刀」・「埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣」は中央部にあったから5世紀の出来事、「大伴金村が任那4県を百済に割譲」・「磐井の乱」・「仏教伝来」は下部にあったから6世紀の出来事、というように、**語句の位置でも覚えらるるようにテキストは構成されている**。そういったテキストの構成を活用して、覚える作業を効率化してほしい。

もちろん、その「見る」だけではなく、授業では僕はほぼ全ての出来事について「歴史の流れ」と因果関係を説明していく。なので、例えば授業終了後に復習する時に

「4世紀に鉄が欲しいヤマト政権が朝鮮に出兵したけど高句麗好太王に負けてもうて…(以上左側)」、「朝鮮半島が戦乱状態になって危険だから、名前めんどい3人の渡来人が日本にやってきたんよな(以上右側)」、その後「5世紀には日本に再び出兵できる余力はないから、中国の皇帝の威を借りるために倭の五王が朝貢して…それが讃珍済興武や！(以上左側)」、「…そしたら、その中の武(づ)って奴は雄略天皇だったらしくて、なんか国内でも人気者で、同時期にクマモン(熊本県民)とサイタマン(埼玉県民)が刀剣にこの人の名前書いとるねん！(以上右側)」

まあ、こんな感じでも友達に説明する形でいいから復習していくと流れも映像記憶も頭に入ってくるだろう。最も良い勉強法は人に教えることと言われるけど、僕自身も受験生の頃にはよく世界史受験生の親友に無理やり日本史を教えていた記憶がある(その親友は僕にナポレオンについて教えてくれた人物でもある)。

流れを確認しながらテキストを「見る」ことで、ある程度の内容は暗記できるが、それは完全ではない。「見る」だけだと、覚えたつもりになっているだけの語句もあるし、語句は知っているが漢字になると書けなかったりする場合がある。ここまでは僕はインプットの作業と考えている。この後にアウトプットが出来なければ、定着したことになる。そこで、そうした語句をアウトプットするための「書く」作業として、予習で用いた「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」を用いてほしい。復習する時にそれをコピーしておけば何度も活用できるはずだ。

そして、復習の際のポイントはリピーター学習をすること。例えば、君たちは高校の定期試験で覚えた語句を、現在はほとんど忘れてしまっていることだろう。月日が経つと、人間の記憶は色あせてしまうもの。しかし、何度も見たりした光景や印象深い思い出は残っている。だから、一日だけの学習ではなく、同じ内容を少なくとも5日は繰り返して欲しい。そして、未習範囲まで学習が進んだら、また初めの箇所から戻って学習しよう。詰まるところ、リピーター学習とは何度も戻って学習すること。例えば、以下のようにだ。

	60分学習(全範囲)	15分学習(未定着)	10分学習(未定着)	5分学習(未定着)	30分学習(全範囲)
1日目	旧石器・縄文時代				
2日目	弥生・小国の分立	旧石器・縄文時代			
3日目	古墳時代	弥生・小国の分立	旧石器・縄文時代		
4日目	飛鳥時代	古墳時代	弥生・小国の分立	旧石器・縄文時代	
5日目	律令制度	飛鳥時代	古墳時代	弥生・小国の分立	旧石器・縄文時代
6日目	奈良時代	律令制度	飛鳥時代	古墳時代	弥生・小国の分立
7日目	平安時代前期	奈良時代	律令制度	飛鳥時代	古墳時代



- (1) 1 日目に「旧石器・縄文時代」の穴埋め版テキスト(予習・復習用)をコピーして語句を書き込んでいき、60 分費やす。出来なかった箇所に蛍光ペンなどを引く。
- (2) 2 日目に「弥生時代・小国の分立と統合」に 60 分費やしたら、1 日目に学習した「旧石器・縄文時代」の蛍光ペンを引いた箇所に 15 分費やす。それでも出来なかった箇所には「穴埋め版テキスト」にアンダーラインなどを引く。
- (3) 3 日目に「古墳時代」に 60 分費やしたら、1 日目に学習した「旧石器時代・縄文時代」のアンダーラインを引いた箇所に 10 分費す。それでも覚えられなかった箇所には「穴埋め版テキスト」に○印などで目立つようにしておく。また、2 日目に学習した「弥生時代・小国との分立と統合」の蛍光ペンを引いた箇所に 15 分費やし、同じようにアンダーラインなどを引く。
- (4) 4 日目に「飛鳥時代」に 60 分費やしたら、1 日目に学習した「旧石器・縄文時代」の○印を付けた箇所に 5 分費す。また、2 日目に学習した「弥生時代・小国の分立と統合」のアンダーラインを引いた箇所に 10 分、3 日目に学習した「古墳時代」の蛍光ペンを引いた箇所に 15 分費す。
- (5) 5 日目に「律令制度」に 60 分費やしたら、1 日目に学習した旧石器・縄文時代が定着できているかを図るため、30 分費やして全ての語句を確認する。

※なお、～～分などの時間は目安なので、自分の力量に則して調整するように。

しかし、(1)～(5)まで進めていっても、どうしても覚えられない語句が出てくるのは必然のことであろう。そこで、最後の作業として、どうしても覚えられない語句を集めた「最終確認NOTE」を自分で作ってみるとよいだろう。つまり、自分があやふやな語句、どうしても覚えられない語句を集めたNOTEを作るのである。これを作れば、出来ない語句の知識の定着も進む上、入試の直前にそのNOTEを確認することで最終確認が行えるようになる。これは受験会場の直前に見直すだけで相当な効果が出るので必ず作るようにしてほしい。「どうしても出来なかった語句」が試験本番だけ「出来る語句」に変わることになるのだから。

[6] 史料について

「通年テキスト」には史料を掲載していない。「通年テキスト」の巻末に掲載することも可能であるが、あえて掲載しないようにしている。その理由は、史料を別冊として配布したり、テキストの巻末などに掲載したとしても、受験生は「通年テキスト」の時代ごとのページを中心に学習していくので、史料のページまで参照しない可能性が高いからである。さらに、受験生の多くは史料対策を後回しにしたり、史料参考書などを購入しても、「通年テキスト」とは別冊であるがために常に持ち歩くとは限らない。

そこで、史料は「通年テキスト」に対応したプリントの形で、「史料(原文)」・「史料(予習・復習用)」の2種類を配布する(なお、「史料(原文)」は下記に述べる理由から片面印刷で配布する)。本来、史料は夏期講習や冬期講習(予備校によっては、通年授業内の「日本史史料」という別講座で解説していることもある)などの「日本史史料」で扱うものであるが、夏期講習・冬期講習の時期に史料を配布されても、学習時期が遅くなり非効率な学習になってしまう。そのため、授業では付録として「史料(原文)」・「史料(予習・復習用)」を配布している。

なお、「史料(原文)」は「通年テキスト」にあたるもの、「史料(予習・復習用)」は「穴埋め版テキスト(予習・復習用)」にあたるものであり、「史料(予習・復習用)」を参照しながら、「史料(原文)」に頻度を各自書き込んでほしい。また、その史料の題名についている㊦・㊧・㊨は史料の出題頻度を表しており、[1]授業形式の色分けで説明したように、㊦ランクは赤色、㊧ランクは青色、㊨ランクは緑色に対応した出題頻度であると考えてほしい。

史料の出典名の左についている㊦…赤色に相当する超必須史料

史料の出典名の左についている㊧…青色に相当する必須史料

史料の出典名の左についている㊨…緑色に相当する史料

そして、その史料プリントには、それぞれの史料が「通年テキスト」の何ページに対応したものを記してあるので、受講生はその対応する箇所をハサミなどで切り取った上で(史料の枠内以外の部分は不必要なスペースになるので、史料文以外の部分は切れ取って、少し小さめのサイズにするとよいだろう)、「通年テキスト」の下部や横部などにセロハンテープなどで貼り付けを行ってほしい。具体的には、「通年テキスト」のP4の下部または横部に「漢書地理志」～「魏志倭人伝」の史料プリントを、「通年テキスト」のP6の下部または横部に「石上神宮七支刀」～「宋書倭国伝」などの史料プリントを、切り貼りしていくといった具合にである。

上記のことは面倒くさい作業ではあるが、切り貼りをしておけば、「通年テキスト」を開く際に、一緒に史料を目にすることになるはずだ。さらに、切り貼りする史料は片面印刷で配布するので、切り貼りをした後の「史料(原文)」の裏面は白紙となるから、授業内で解説する図解やゴロや、口頭で述べたものでメモしたい内容なども裏面にまとめておくことができるし、「通年テキスト」の1冊のみで年間を通した学習を完結させることができる。

なお、史料の解説は授業内で触れることもあるし、夏期講習・冬期講習(予備校によっては、通年授業内の「日本史史料」という別講座で解説することもある)などで扱う。「日本史史料」講座では現代語訳もつけて解説をしていくが、金銭的に余裕がある場合は受講してもらうとよい。もし、金銭的に講座をとる余裕がないのであれば、市販の史料参考書などで解説の充実したものを購入して自主的な学習を進めるとよいだろう。

[7] Web Site について

それぞれの予備校や、現役生・高卒生コースによって授業時間数が異なるため、難関私大・国公立受験レベルまでの内容を講義すると、カリキュラムを消化することが難しいこともある。そこで、自学できるような簡単な分野や、授業時間が間に合わない場合の補填、また途中から受講した生徒に対するフォローとして、授業で解説する内容を文章化した「授業解説プリント」を作成してある(全ての箇所を作成しているわけではなく、土地制度・金融政策など難解な箇所は、授業で扱うため作成していない)。

その「授業解説プリント」は、自身が運営している Web Site「日本史小劇場」のページ上に掲載しており、無料でプリントアウトできるようにしている。パソコンからもスマートフォンからも閲覧できるので、「日本史小劇場」で検索して、menuの「日本史授業解説」のページで確認してもらいたい。「日本史授業解説」のページには「〇〇時代(テキスト編)」・「〇〇時代(授業解説)」の2つがあり、「〇〇時代(テキスト編)」は通年テキストの完成版、「〇〇時代(授業解説)」は授業で説明する解説編と考えてくれるとよい。授業進捗の関係上、生徒自身で進めてほしい箇所がある場合、授業内でそれぞれ指示を出すので各自で進めてもらいたい。

なお、「〇〇時代(テキスト編)」は頻度の色分けだけでなく、授業内に書き込みをするべき箇所を「教科書の字体」で追加しているのので、「教科書の字体」で記されている部分も通年テキストに書き込んでほしい。それを行った後に「〇〇時代(授業解説)」を読み進めていくと、授業と同じように内容が理解できるはずである。

なお、無制限で閲覧できる状態を防ぐため(受講している生徒以外にも閲覧できる状態になってしまうため)にアクセス制限をかける場合があるので、その場合は以下のログイン用の ID(メールアドレス)とパスワードを入力すれば閲覧できるようになる(個人的なメールアドレスは入力しないでください)。

Web site:「日本史小劇場」(<http://shidenkai-jp.com>) ※全て小文字半角
ログイン用 ID アドレス: nihonshi@shidenkai-jp.com ※全て小文字半角
パスワード: _____

上記のログイン用の ID(メールアドレス)とパスワードを入力すれば、ログインできるので参照しておいてもらいたい。この Web site に掲載されている内容で、授業進捗の都合上、生徒に学習を進めておくようにと指示することがあるので、繰り返しになるが、「〇〇時代(テキスト編)」の「教科書の字体」で記されている部分も通年テキストに書き込んでほしい。そして、「〇〇時代(授業解説編)」は、できれば通常授業で説明したい箇所を口語体でわかりやすく文書化したものであり、国公立・私立最難関大どこでも対応できるようになっている。

なお、「〇〇時代(授業解説編)」は、スマホなどでみると見づらい可能性もあり、紙媒体を好む者も多いので、まったく同じものを「〇〇時代(授業解説編)モノクロ版」としてプリントで配布もする。もしも、授業を欠席した者や途中から入塾した者で、プリントをもらっていない場合があったら、Web site 上にある「〇〇時代(授業解説編)カラー版」を自宅などでプリントアウトしてもらいたい。授業を欠席するのは余程の事情がない限り自己責任であると思っているので、それは自分自身で対応してもらいたい。

また、Web site でログイン用の ID(メールアドレス)とパスワードを入力するのは面倒であると思うので、必要なページを開いたら、スマホなどの初期設定に入っている[Book(ブック)]アプリを利用して保存しておくといだろう。簡単にいえば、Web site で開いたページをスマホにダウンロードして電子書籍化することができるアプリである。これを利用すれば、いちいち毎回ログインする必要もなくなり面倒な手間も省けると思う。

また、前述の「[6]史料」の「史料(予習・復習用)」を用いて「史料(原文)」に頻度を書き込んでいく作業が非常に面倒くさい。なので、Web Site にログインできるようになると、「日本史授業解説」ページの最後に「史料(頻度付オールカラー版)」がプリントアウトできるようになっている。自宅にプリンターがあり、効率化を図りたい生徒は全時代の「史料(頻度付オールカラー版)」をプリントアウトして、「通年テキスト」の横 or 下に貼り付けておくと負担が圧倒的に減少するだろう(タイムパフォーマンスを考えるとプリントアウトすることを推奨)。

[8] 年間カリキュラムについて

年間を通しての予備校のカリキュラムは高卒生・現役生はそれぞれ異なり主に以下のようになっている。特にカリキュラムがやや異なる文化史や戦後史など変則的な部分は太字にしてある。

	1 学期(全 10 回) (4 月中旬～6 月末)	夏期講習 (7 月初旬～8 月末)	2 学期(全 12 回) (9 月初旬～11 月末)	冬期・直前講習 (12 月初旬～1 月末)
高卒生	原始時代～江戸前期	文化史 (基本必修) 前近代史料(選択講座) etc	江戸中後期～ 戦後史	テーマ史(選択講座) 近現代史料(選択講座) 問題演習(選択講座) etc
	1 学期(全 13 回) (4 月中旬～7 月中旬)	夏期講習 (7 月初旬～8 月末)	2 学期(全 14 回) (9 月初旬～12 月中旬)	冬期・直前講習 (12 月初旬～1 月末)
現役生	原始時代～江戸前期	文化史 (必修講座) 戦後史 (必修講座) 前近代史料(選択講座) etc	江戸中後期～ 太平洋戦争	テーマ史(選択講座) 近現代史料(選択講座) 問題演習(選択講座) etc

(1) 年間を通したカリキュラムについて

高卒生の授業時間は 80 分×3 コマで全 22 回(授業時間 5280 分)で、**高卒生は 11 月 3 週目には全範囲が終了し**、現役生は 60 分×2 コマで全 27 回(授業時間 3240 分)＋夏期講習の戦後史 80 分×6 コマ(授業時間 480 分)で、**現役生は 12 月 2 週目には全範囲が終了する**。

上記のことでわかるのは、高卒生は全授業時間(5280 分)が十分に確保されているが、現役生の全授業時間(3720 分)は高卒生の約 3 分の 2 ということである。現役生の通年授業の開始時間は学校や部活生を考慮して 19:00～20:00 と 20:15～21:15 に設定されているが、もちろん国公立大や早慶上智などの超難関私大を目指す生徒もいるので、僕は現役生にも高卒生と同じレベルの内容を教えたいと考えている。ただ、授業時間数の違いという物理的な問題はさすがに解決しようがないので、**現役生には[7]で紹介した「日本史授業解説」の「解説プリント」を自分で読み進めてもらう箇所の指示が多くなることをご了承いただきたい**。どの章でも構わないが一度読んでもらえばわかるように、通常授業と同じレベルで詳しい内容まで取り扱っているの、通常授業＋解説プリントを消化してくれば、東大・京大だろうが早慶上智だろうがどこの大学でも日本史を得点源にすることができるようになっている。

(2) 1 学期・夏期講習・2 学期に何をすればよいか

通常授業のない夏期講習中(高卒生は 60 日・現役生は 40 日)に通史(通常授業で説明する時代ごとの歴史)の学習を進めておいた方が効率が良いと考えている。そのため 2 学期が始まるまでに、「**1 学期の復習を 8 割方は完成させておくこと**」・「**江戸時代前半(テキスト P38～P47)までを解説プリント(Web Site に up 済み)を読んで学習を進めておくこと**」を指示している。もしも、1 学期中に日本史の学習を進めたいのであれば夏期講習中の課題的に進めさせる「江戸時代前半(テキスト P38～P47)」までを解説プリントで先取り学習しておくのがよいだろう。また、文化史については夏期講習で案内するが、**1 学期中の学習はお薦めしない**。その理由は、文化史は内容理解よりも単純暗記になる箇所が多いため、1 学期に学習しても 2 学期中に忘れてしまい、2 学期になって再度復習するという非効率な学習になってしまうからである。文化史については夏期講習の「**日本史文化史**」を受講した生徒に、『文化史講義録』(授業解説プリントの文化史版)という補助教材を配布するので、その『文化史講義録』を用いて 10 月後半 or 11 月頃から試験本番までの間に学習を進めていくとよい。特に文化史は、因果関係のしっかりしている通史に比べて忘れやすい。なので、**文化史は 10 月後半 or 11 月頃から 1 月中旬の共通テスト・2 月の入試試験本番までに詰め込んで**、入試本番でしっかりと点数を取ったら受験後には忘れ、興味を持ったなら京都・奈良などに旅行に行ってみる、ぐらいの感覚でよいだろう(もしも文化史が好きなら早めに学習してよいが、大半の受験生は文化史が嫌いな傾向にあるので)。

※途中から講座を追加した生徒へ

前項の「[2] 予習」に書いてあるように、**通年授業を受講している生徒は、語句の頻度に関する予習をしてきて**いる。初めて僕の授業を受ける場合、予習は当然していないので、語句の頻度に関しては**授業後に「穴埋めテキスト」**を参照して頻度をチェックしておいてほしい。あくまでも、授業内では説明を聞くことに集中してもらいたい。また、web ログイン用のパスワードは授業内で伝えているので、追加受講生は個別に聞きにきてほしい。

© (株)shidenkai 2025

[本テキストを著作権者の許諾なく無断複写・複製・転載・転売することは著作権法上での例外を除き禁じられています]